

地方史情報

125
2015年8月

近世の伊勢神宮と地域社会

上野 秀治

(前略) 近年の皇學館大学は一地方大学の教養的・実学的な教育が重視される大学になりつつある中、『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成事業が、平成26年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択されるなど、地域に根ざした特色ある大学として、全国に発信しようと鋭意努力しているところである。私も以前から、大学院博士後期課程を持ち、伊勢神宮鎮座の地伊勢で、神宮皇學館以来、日本の歴史や文化を神道の精神に基づきながら実証的に研究を深めた多くの研究者を出してきた大学であるから、この伝統を継承、さらに発展させていきたいとの念を深く持つようになった。(中略) 私の定年退職の時期が近づくなか、大学院生から記念に論文集を出せないか、との話が持ち出されてきた。そこで種々検討したうえで、私が退職するまでに「教員と大学院生との共同研究」として本を出してみようとの結論に達したのである。

さて、一冊の論集を出すために現役の大学院生だけでは、時代も研究テーマもそれぞれ相違すること、出版するのであるなら、統一テーマを設け、それに沿った論文を集めるのが出版社側の希望であろうことから、統一テーマを設定して原稿を集める方針にした。私が今まで大学院で指導した学生のうち、伊勢神宮に関して修士論文をまとめた人が比較的多く、現役大学院生でも二人が神宮関係を研究テーマにしているところから、近世の伊勢神宮や神宮領、伊勢御師などを専門分野とした現役大学院生を始め、修了生や卒業生にも声をかけ、「近世神宮地域史研究会」を立ち上げ、「近世伊勢神宮地域社会の研究」を統一テーマに掲げたのは、平成25年春のことであった。爾来研究会を毎月開催、遠方からこの研究会のために駆けつけてくれた修了生や卒業生もあり、少数ながらも充実した討論を積み重ねることができた。この研究会を通してそれぞれが自分のテーマの問題点を認識し、同年12月14日には、皇學館大学において公開で研究集会「近世伊勢神宮地域社会の特質」を開催することができ、私も含め7名が報告をした。その後も研究会を継続し、研究会参加者に原稿執筆を依頼した。執筆を依頼した人全員が論文を書き上げたわけではないが、ここに12本の論文が集まったことは予想外のことで、内容的にも力の入ったものとなり、喜ばしいことであった。

(上野編『近世の伊勢神宮と地域社会』2015.3、小社刊より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 TEL011-299-6834 年5000円

◇55 2015.3 B5 20p

研究報告-4 本州以南のアイヌ語
同源地名の研究の歩み年表（未
完） 加藤 昌彦
現地探訪 実施報告
アイヌ語地名サロン 開催状況 三好 勲
「おもしろアイヌ語地名かるた」
の動向

部会 開催報告「アイヌ文化を
読む会」「古文書を読む会」

新聞記事紹介「十勝毎日新聞」
早田国光さんの論文が紹介され
る

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
hokkaido-bunkazai.jp

◇347 2015.1 B4 8p

新春ご挨拶 世界無形文化遺産に
「和紙」登録に思う 舟山 廣治
北海道の羊とジンギスカン 高石 啓一
第50回北海道文化財保護功労者表
彰を受賞して
塵に埋もれゆく文化財
古代から続く息吹 岡田 齊
謝辞に代えて 手塚 賢
“ひとつの市民運動 26年目の

表彰・感謝” 旭川の歴史的建
物の保存を考える会会員一同
旧国鉄士幌線・鉄道遺産の保存
と活用 NPO法人ひがし
大雪アーチ橋友の会 那須襄太郎
上藻別駅通保存会 小玉 勝信
「蓄えた…」 たかやまじゅん

食文化シリーズ2

昔のくらしと食文化 黒川 郁
北海道文化遺産活用活性化事業の
進捗状況について(2) 歴史遺
産の調査に係る地域モデルの抽
出及び現況調査報告 渡辺 一幸

第49回全道高等学校郷土研究発表
大会 北海道高等学校文化連盟
郷土専門部 本間愛之
文化財を守る

福島県の宿場町大内宿について 三田村昭吾
サッポロビール(株)協賛 第二回文
化財保護活動支援講演会&交流
の夕べを開催「久々に思い出さ
れた名画と銀幕のスターたち!!」

◇348 2015.3 B4 4p

4月18日(土) オープン
北海道博物館 出利葉浩司
食文化シリーズ まとめ 和食・
無形文化遺産と北海道の食文化
和食が日本文化である理由 小田嶋政子
松前藩の能楽 舟山 廣治
企画展「阿寒国立公園と硫黄鉱山」
の開催
北海道文化遺産活用活性化事業の
進捗状況について(3) 高久 忠明

根室半島チャン跡群の観光活用 猪熊 樹人
第18回イコモス国際会議に出席し
て 山田 大隆
トークショー「八犬伝の魅力を語
る」 たかやまじゅん

特別ルポ記事「弥永北海道博物館
の去就」(弥永芳子館長訪問記)
山田 大隆
「十勝史」復刻本を完成
一管内最初の歴史書 新川 寛

◆北海道地域文化研究

北海道地域文化研究会
〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1
北星学園大学 高橋克依研究室気付
TEL011-891-2731 2009年創刊

◇7 2015.3 A4 133p

感謝 無いものねだり 阿部 敏夫
講演報告 近代の公文書から何を
読み取るか—近現代史料(認識)
論の試み 鈴江 英一
三笠市の炭鉱労働者の友子の墓に
おける墓石情報の変化について

高橋 史弥
賀川豊彦の来島と転換期の樺太 鈴木 仁
北海道・建設業者の群像
小矢部からの移民 小泉 昌弘
旭川における芝居小屋の形成 高橋 克依
雨竜原野の草創のころ 卜部 信臣

地域形成と宗教(2)—北海道移住
者のキリスト教受容の相貌 阿部 敏夫
志摩海女のテングサ採り利尻・礼
文島への出稼ぎについて 西谷 榮治
校木にみる学校文化と文化風土の
形成 岡田 祐一
農業開拓史料展示施設の生い立ち
と現状、その課題 高尾 英男

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
1961年創刊

◇87 2015.2 A5 82p

表紙写真および解説 開拓使葡萄
酒醸造所(明治9年9月)の開業記
念写真 山田 大隆
巻頭言 視れども見えず 渡部 英昭
三笠市幌内地区の炭鉱街における
葬送習俗について 高橋 史弥
コタンを訪ねて(10)—四コタンの
葬送のアイヌ風から日本風へ 山本 融定
炭素年代測定法—弥生時代は紀元
前10世紀から 新川 寛
北海道水産発達史(1) 山田 雅也
松前町西館稲荷神社への正一位の
神階の授与 青木 伸剛
考古学者 峰山巖 論
一貝塚調査とその学際的研究 竹田 輝雄
「重要伝統的建造物保存地区」成
果の条件—福島県南会津郡下郷
町の『大内宿』の事例 田山 修三
滝川丸井今井支店の周辺 卜部 信臣
講演記録 『北海道のワインにつ
いて』—北海道の歴史と風土を
生かしたワインの誕生 小野寺哲也

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 1991年創刊
http://hoppohm.org
◇96 2015.3 A4 6p
平成26年度企画展 白い食べ物・
赤い食べ物—北方狩猟・牧畜民
の食文化 中田 篤
ほっぽうサロン 生きている食料

庫としてのトナカイ 講師：中田篤 中田篤
 講座 現代モンゴルの食事：草原と都市 講師：風間真理氏 中田篤
 講座 ウイルタの語りもの—英雄シーゲーニの冒険と北方世界 講師：山田祥子氏 山田祥子
 講座 南極での雪氷研究—知られざるマイナス70℃の雪と氷の世界 講師：亀田貴雄氏 種石悠
 ロビー展 北方のナイフ—暮らしを支える道具 種石悠
 ロビー展 東京農業大学学芸員課程展示実習 渡部裕
 平成27年度 春のロビー展 こだまみわこ作品展 木版画 北の自然と暮らし、進藤冬華作品展 鮭のウロコを取りながら

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会
 〒051-0003北海道室蘭市母恋南町3-48-144 駒木佐助方 TEL0143-24-1596 年3000円
 ◇49 2015.3 A5 122p 1000円
 表紙解説
 プロヴィデンス・ブルワリーについて 寄稿 株式会社カナモト社長 金本寛中氏
 室蘭市港の文学館 三村美代子
 巻頭言 設立六十周年に向けて 本野里志
 室蘭市内の遺跡について(5) 松田宏介
 室蘭の市指定文化財について(5) 谷中聖治
 英国婦人の日本道中記(イザベラ・バードの旅) 福田隆三
 明治14年の交差点
 —旅人たちの出会い 久末進一
 御雇医師 野村周甫(完) —伴周益は新政府の役人になっていた 小田島洋

むろらん開拓の祖(前) 添田龍吉 翁、泉麟太郎翁、泉忠廣翁 伏木晃
 添田家文書を読む(2) 野尻和朗
 資料紹介 むろらん事始め(1) 編集 成田弘・伏木晃
 一泊研修会記 カルルス温泉 森君江

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会
 〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583
 2005年創刊
 ◇11 2015.3 B5 144p 1000円
 創立10周年記念
 平成26年度総会記録
 私の昭和史
 —ある終戦記念日に憶う 米田清蔵
 思い出の記(6) 「米内山木・若き日の体験記」(2) 満蒙開拓青少年義勇軍応募から関東軍召集兵となった足跡 馬場操
 馬のことなど 皆川勝信
 三沢の方言(な行にかかわる方言) 馬場操/地名方言研究会
 北辺の大地で苦難の時を生き抜いた人達 傅法穎司
 現代文「北奥路程記」(抄) 及川光男/古文書を読む会
 苗字「小比類巻」を考える 小比類巻みつる
 「三沢のむかしを語る会」(その4)
 開催要項
 開会行事ご挨拶
 記録「三沢のむかしを語る会」
 昔の子供の遊び・家の手伝い
 閉会行事ご挨拶
 感想文「三沢のむかしを語る会」に参加して 川守田エン/李沢健一/坂本和子/沼田石/一戸実
 会報(第101号~第110号)

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会
 〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊
 ◇138 2015.3 B5 90p
 日本倉庫令復原研究の現在 武井紀子
 弘前・黒石津軽家の両敬について 篠村正雄
 資料紹介
 江差町鷗島沖の海揚がり遺物 佐藤雄生
 書評と紹介
 長谷川成一編『北奥地域史の新地平』 千葉一大
 関根達人著『中近世の蝦夷地と北方交易—アイヌ文化と内国化—』 浪川健治
 『新青森市史 通史編第四巻 現代』 高瀬雅弘
 『青森県史 民俗編 資料 津軽』 入江英弥

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 1970年創刊
 ◇261 2015.1 A4 12p
 《特集 御所野縄文遺跡 世界遺産に向けて》
 保存へのこだわり 稲葉暉
 自然と共生した縄文文化と世界遺産—北海道・北東北の縄文遺跡群 高田和徳
 無理せず、楽しく、コツコツと 上田敏雄
 御所野愛護少年団
 御所野縄文人のすごさ 鳥海真歩
 PR活動を振り返って 地切一晃
 縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて 細越健志
 伽羅之御所跡 調査の成果と課題 杉沢昭太郎

埋文派遣職員のチカラ
 —宮古市津軽石大森遺跡 長谷川真
 安倍氏一族の歴史文化を現代に活かす 浅利英克
 『鳥海柵』でのつぶやき 藤原更正
 笛の魅力を広めて 藤沢清美
 続平泉志(25) 金色堂の新サヤ堂 /毛越寺史跡の危機/世界遺産への道 及川和哉
 ◇262 2015.3 A4 12p
 遺物が語る郷土の歴史 「山屋館経塚 波状文四耳壺」(県指定有形文化財) 鎌田勉
 27年度の文化財保護と伝承 八重樫勝
 “橋野鉄鉦山”世界遺産登録を目指して—明治日本の産業革命遺産群 森一欽
 “魅力と活力あるまち釜石”を目指して—日本の“鉄のふるさと”を発信 大瀧糸夫
 来訪神行事「吉浜のスネカ」の無形文化遺産登録に向けて 村田匠
 雫石町の「お宝」最新情報 縄文のムラ~小日谷地I B遺跡 柴田慈幸
 「平泉の文化遺産」は身近な存在! 相原康二
 日帰り研修も又楽し 齋藤祥三
 岩手県立博物館考古学セミナー 現地見学会について 羽柴直人
 「東北三名城」の一つ 盛岡城の価値とは何か 神山仁
 被災地の発掘調査現場から(1) 岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター調査課

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 TEL022-795-6022

2005年創刊
 ◇10 2014.12 A5 140p
 心のケア・ワーカーとしての宗教者「臨床宗教師」とは何か？
 臨床心理士との比較から 大村 哲夫
 「筆仙」とは何か
 中国の流行現象に注目して 黄 緑萍
 『恍惚の人』にみるポックリ信仰の流行 陳 甜
 台湾における嬰霊慰霊について 陳 宣聿
 日本仏教史の一水脈―「願作心師不師於心」(『大般涅槃經』)の軌跡を辿る 華園 聰磨
 ネパール現地報告 Rangjung Yeshe Institute と2つの文化圏について 工藤さくら
 思い出の場所 No.80, Owen Road, SINGAPORE 鈴木 岩弓

◆秋田県公文書館研究紀要

〒010-0952秋田市山王新町14-31
 Tel.018-866-8301 1995年創刊
 www.pref.akita.jp/koubunsho/
 ◇21 2015.3 B5 70p
 講演録 新たな公文書管理の確立へ―小布施町の公文書管理と公文書館 山岸 正男
 「佐竹家中家蔵文書」と文書改関係文書 鈴木 満
 史料紹介
 「佐竹家中家蔵文書」(樋口本) 鈴木 満
 湊八九「日記」(郡方見回役加勢勤中日記) 文政八年乙酉正月 国季

◆秋田県公文書館だより

〒010-0952秋田市山王新町14-31
 Tel.018-866-8301 1995年創刊

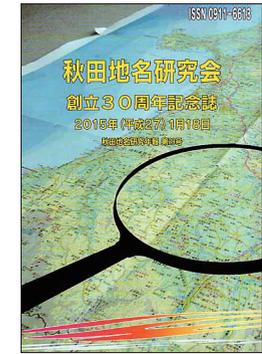
www.pref.akita.jp/koubunsho/
 ◇30 2015.3 A4 8p
 刊行物紹介
 「岡本元朝日記」第一巻
 平成26年度 秋田県公文書館企画展「アーカイブズで秋田の文化を探れ！」
 企画展の展示資料より 昭和35年「県民の歌・県旗・県章関係綴」―「県民の歌」誕生秘話を伝える公文書
 平成26年度 公文書館講座／県政映画上映会―懐かしき昭和三十年代の我が秋田―／初公開！原寸大複製絵図―「羽羽一国御絵図」(正保国絵図控)
 平成26年度 市町村公文書・歴史資料保存利用推進会議／公文書の引渡し・公開状況
 「大仙市公文書館設置シンポジウム」に参加して

◆秋田地名研究年報 秋田地名研究会

〒019-2112秋田県大仙市刈和野愛宕下167
 新谷正隆方 Tel.0187-75-2717
 年2500円 1985年創刊
 ◇29 2015.1 A4 101p
 《秋田地名研究会 創立30周年記念誌》
 発刊のことば 渡部 景俊
 秋田地名研究会の結成総会 1984(昭和59)8月26日、「秋田さきがけ新聞」より
 秋田地名研究年報の発行 三浦 鉄郎
 秋田地名研究年報 総目次
 創刊号から28号まで
 独立科学としての「地名学」を
 会報創刊の辞 三浦 鉄郎
 会報秋田の地名 総目次

創刊号から41号まで
 『秋田市の歴史地名(一)』
 はしがき 三浦 鉄郎
 あとがき 斎藤 廣志
 『秋田市の歴史地名(二)』
 はしがき 斎藤 廣志
 あとがき 門間 光夫
 『秋田市の歴史地名(三)』
 はしがき(一) 三浦 鉄郎
 はしがき(二) 斎藤 廣志
 あとがき 門間 光夫
 編集後記 石川 雄造
 『秋田市における地名の分類(上)』
 はしがき 三浦 鉄郎
 あとがき 門間 光夫
 編集後記 石川 雄造
 『秋田市における地名の分類(下)』
 はしがき 門間 光夫
 あとがき 斎藤 廣志
 編集後記 石川 雄造
 研究発表大会、例会発表テーマ
 「秋田の地名講座」の開催
 会員随想
 私の地名研究小史 小野 努
 地名との縁 斎藤 廣志
 座右の銘「地名研究 十ヶ条」 木村 清幸
 研究書の発行について 石川 雄造
 地名から中世の歴史を探る 土肥 稔
 故 斎藤廣志、前会長が生きた道 渡部 耕輝
 〈秋田地名研究年報〉
 秋田県における「庚申・道祖神信仰」地名の考察 小野 努
 なぜ「隠し地名」は発生したのか―『秋田県町村字地名調』以前を探る 木村 清幸
 秋田市手形地区の移りかわり 渡部 景俊
 鶴木(うのき)と昼寝(ひるね)とラ

ンチェスター―地名から探る秋田の古代史 渡部 耕輝
 秋田県におけるサンナイ地名 土肥 稔



* 秋田地名研究会は1984年に発足し、30周年を迎えた。初代会長の三浦鉄郎氏は、1985年5月、会報創刊の辞「独立科学としての『地名学』を」で、地名は歴史、地理、経済、民俗芸術、国語、伝承などの要素を含む総合科学であるとし、地名のもつエリアの性格を明らかにした比較地名研究を提唱、「全国的視野に立脚して郷土の地名を考究し、一独立科学としての『地名学』の樹立に向かって、一步一步前進したい」と述べた。この間、研究発表大会、シンポジウム、地名講座などを開催し、「年報」29号、「会報秋田の地名」41号、『秋田市の歴史地名』(1~3)、『秋田市における地名の分類』(上、下)の刊行など多くの成果を残している。ただ、本号発刊のことばで、現会長渡部景俊氏が、会員110名により発足したと記しているが、巻末の2014年末現在の会員名簿では20名になっていることが大変に気になる。30年の実績を財産として、更に継続、発展させて欲しいと願う次第である。

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 Tel.0187-85-4027

1980年創刊
 ◇69 2015.1 A5 131p 2000円
 雪とうた 稲 雄次
 わらべうたの発生と展開 本城屋 勝
 藩政期・新開村の謎 石山 憲二
 なぜ、いつから「北」「南」楯岡村
 カ 神宮 滋
 南部氏の双鶴紋成立の疑惑―「月
 山神社」と「癩病」と「コト八
 日」 松橋 由雄
 「奥羽永慶軍記」佐竹(東)義久郎
 党 布施久左衛門の系譜 那珂 通義
 江戸時代の名前と社会構造
 一農民の名前と身分の上下 松橋 由雄
 百家風発 修験道とは何か 石山 憲二
 史料編 進藤貞吉著『道中記』(3)
 (解説・翻刻・注記・編集) 相馬 登
 史料編 我が村の歴史 第三号
 深澤多市著 翻刻 森本 彌吉

◆東北学
 東北芸術工科大学東北文化研究センター
 (発売:はる書房)
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168 年10000円 2013年創刊
 blog.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇5 2015.1 A5 237p 1852円
 旅スケッチ(5)
 「食べて保全」のむらから 田口 洋美
 巻頭対談 自然とかかわる人間の
 あり方―フィールドワークの現
 場に生きる者として
 C.W.ニコル/田口洋美
 《特集 縄文の至宝》
 特集解説 縄文とはどんな時代か
 安齋 正人
 縄文の至宝にみる祈りと美の発信
 力―棚畑遺跡の土偶と勝坂式土

器の逸品 鶴飼 幸雄
 火の山の麓に眠る縄文文化
 一川原田遺跡・焼町土器 堤 隆
 「火焰型土器のクニ」から―笹山
 遺跡の土器、土製品や石器類 石原 正敏
 二つの土偶の物語―風張1遺跡の
 合掌・頼杖土偶 村木 淳
 マルチ・ジェンダーな遺物を生ん
 だ縄文人の思考―著保内野遺跡
 の土偶と八木B遺跡の土器 阿部 千春
 付録 縄文時代の土偶・土器が見
 られる施設一覧(北海道・東北
 中心)
 阿武隈梁山泊外伝(5) たくきよしみつ
 吾妻連峰で活躍する民間救助隊―
 福島市山岳遭難救助隊の現状と
 未来 羽根田 治
 ホンのひとこと―地霊の歌を聴く
 地に深く突き刺さる写真と言葉
 の記録
 フィールドノート(4)
 一考古見聞録 私と考古学 長井 謙治
 アートフルワンダーランド(5)
 一土と炎の芸術、ものに託した
 自分の思い 謝 黎
 三陸沿岸、今―南三陸町志津川か
 ら石巻市門脇まで 2014年11月
 蛭原 一平
 復興ダイアリー(5)―新聞紙面に
 みる復興(2014.3.11~9.11)

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター
 研究紀要
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168 2002年創刊
 blog.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇14 2015.3 A4 173p
 米代川支流域、縄文時代集落に見

るシンボリズム―後期初頭、土
 器埋設立石炉に現れる「性的原
 理」 小林 克
 国宝「合掌土偶」の編年の位置―
 風張(1)遺跡第15号堅穴住居跡
 出土土器の検討を通して 小林 圭一
 大型野生動物の行動域拡大期にお
 ける都市防衛に関するノート 田口 洋美
 人里域でのツキノワグマによる被
 害発生パターン―2010年の新聞
 記事の分析 蛭原 一平
 ハニ族の色彩語彙と認識―中国雲
 南省紅河州と西双版纳州のハニ
 族を事例として 村上めぐみ

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
 須崎寛二方 TEL0238-43-5299
 ◇205 2015.2 B5 10p
 置賜三十三観音に関する一資料 須崎 寛二
 熊野山證誠寺の制札
 一熊野大社史おぼえ書43 須崎 寛二
 八幡坊が台林院と名前を変えたの
 はいつか―熊野大社史おぼえ書
 44 須崎 寛二
 第227回学習会/プチ総会から

◆山形県地域史研究
 山形県地域史研究協議会
 〒991-8501山形県寒河江市大字西根字石川
 西355 村山総合支庁西庁舎 山形県総務
 部学事文書課分室 TEL0237-83-1215
 年2000円
 ◇40 2015.2 A5 128p 1000円
 (総会・研究大会)
 講演 積雪地方農村経済調査所に
 ついて―民芸運動との関連を中
 心に 大友 義助

縄文の女神のふるさと 黒坂 雅人
 新庄盆地の発掘調査された遺跡
 一30年間の成果と課題 長澤 正機
 土佐林禅棟に関する一考察 胡 偉権
 古河城下における鮭延氏の家来た
 ちの動向について―古河藩主土
 井利隆時代の城下絵図を中心と
 して 早川 和見
 近世後期における新庄藩と富山馬
 頭観音の関わりを探る―東善院
 所蔵史料が伝える新庄藩の「武
 運長久、御馬繁昌」祈願の内容
 を中心として 伊藤 和美
 近世後期の湯殿山参詣
 一本道寺口利用を中心に 保科 文俊
 葛籠の時代について
 一嶺金太郎と小磯国昭 小野 正一
 地道な活動を続ける「新庄古文書
 の会」 大場 英一
 高橋小学校閉校記念誌を編集して
 一その背景にひそむもの 森山 洋
 第40回総会・研究大会の概要
 特集 この10年の研究の回顧と展望
 総論 地域史研究協議会10年の
 あゆみ 横山 昭男
 原始・古代 川崎 利夫
 中世 伊藤 清郎
 近世 山内 励
 近代・現代 梅津 保一
 『山形県地域史研究』第31号~第
 40号総目録

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
 〒960-8116福島市春日町5-54
 TEL024-534-9193 2002年創刊
 www.history-archives.fks.ed.jp
 ◇41 2015.2 A4 4p
 108年前の軽便鉄道機関車設計図

108年前の鉄道車両設計図 芳賀 英一
 会津藩士山内俊温が聞いた佐渡地
 震の記憶 渡邊 智裕
 江戸時代の命名書 小野孝太郎
 磐城平藩士広江永貞と『続神壁算
 法起源』 渡邊 智裕
 瓦版が報じた棚倉藩領内の敵討ち
 小野孝太郎
 軽井沢銀山の水力発電 芳賀 英一

◆福島の民俗 福島県民俗学会
 〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
 福島県立博物館内 1973年創刊
 www.geocities.jp/fukushima-folklore/
 ◇43 2015.3 A5 115p
 『会津農書』にみるタバコ栽培と
 民俗 佐々木長生
 明治大正期の二本松神社例大祭 嘉古 康浩
 近世から近代初頭にかけての福島
 地域の屋敷林—明治期の林野調
 査資料から 岩崎 真幸
 カラカイ・カスベと呼ばれる郷土
 料理 小沢 弘道
 「白河提灯祭り」について—壮者
 組織の内側から見た「儀式祭り」
 鍵水 実
 会津の無尽 富田 陽介
 四国八十八ヶ所霊場 福島から行
 くお遍路4159kmの旅 相原 達郎
 学位授与事業における民俗学の位
 置 菅野 拓
 書評・書誌紹介
 鈴木清『文久元年・ある城下町
 の一年—記録でたどる奥州相
 馬中村の幕末—』 大里 正樹
 『福島地域の無形民俗文化財被
 災調査報告書二〇一一～二〇
 一三—平成二三年度～二五年

度文化庁文化芸術振興費補助
 金「文化遺産を活かした地域
 活性化事業—」
 鈴木克彦・聞き書き『只見町
 川と人の物語—平成二三年七
 月の水害後に行った聞き書き
 を通して—』 大里 正樹

関 東

◆茨城県史研究 茨城県立歴史館
 〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15
 TEL029-225-4425 1965年創刊
 www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp
 ◇99 2015.3 A5 98p
 常陸大宮市梶巾遺跡の旧石器時代
 石器群(下) 石川太郎／川口武彦／
 窪田恵一／小杉山大輔
 六地藏寺本『神皇正統記』の調査
 所見 糸賀 茂男
 水戸徳川家と宇和島伊達家—公益
 財団法人宇和島伊達文化保存会
 所蔵史料から 仙波ひとみ
 歴史随想 密勅三題 青山 忠正
 新登録文化財紹介 茨城県北部の
 紙漉用具とコンニャク栽培用具
 菊池 健策
 書評 『茨城県立歴史館史料叢書
 17 一橋徳川家文書 覚了院様
 御実録Ⅱ』 畑 尚子
 県史関係文献目録(38)
 ◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
 〒320-0865宇都宮市睦町2-2
 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 年4000円 1991年創刊
 ◇94 2015.1 A4 4p
 《特集 下野の水運》
 江戸とつながる川の道 飯塚 真史

小貝川・五行川流域を考える 北島 隆行
 石灰から見た、近世近代の下野水
 運 山本 訓志
 新刊紹介 竹末広美著『下野狂歌
 の歌びと—ヒ盛が戯れ鳳鳴が詠
 う—』 青木 義朗

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
 ◇321 2015.1 A5 92p
 《特集 世界遺産決定》
 世界文化遺産の学術的検討 丑木 幸男
 富岡製糸場と絹産業遺産群の軌跡
 —世界遺産登録への道程 田中 修
 「富岡製糸場と絹産業遺産群」世
 界遺産としての価値 松浦 利隆
 新町屑糸紡績所の意義及び現況と
 課題 温井 眞一
 本多氏の沼田藩政と農民の抵抗 藤井 茂樹
 葦塚直次郎と葦塚製糸場の建築遺
 構 町田 睦
 口絵 上野国ゆかりの木簡(木製
 品)—群馬県立歴史博物館蔵品
 資料(122) 小池 浩平

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇237 2015.1 A5 56p
 みどり市大間々町世音寺子育地藏
 尊と造られた背景 高橋 久敬
 楯取素彦に関係する県内の歴史散
 歩 続き 井野 修二
 山崎一『群馬県城館址調査の手引
 き』(7) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付

高山彦九郎日記による歴史散歩
 (46) 『北行日記』(5) 正田 喜久
 スケッチによる私感 輿水 泉
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 謎の大王 継体天皇と越前一福
 井・大野・勝山・越前 山崎 正
 長岡と柏崎を訪ねて 山崎 正
 長岡・柏崎の見学そのつづき
 渡辺 雄一
 モスリンに寄せて 新井 通代
 ◇238 2015.3 A5 56p
 絹産業遺産と養蚕信仰 金井竹徳／高山正
 山崎一『群馬県城館址調査の手引
 き』(8) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
 第5回上野国分寺まつり(平成26年
 10月26日)開催 東国文化中心
 地より102名の天平衣裳行列
 色鮮やかに発進! 富所洋一郎
 高山彦九郎日記による歴史散歩
 (47) 『北行日記』(6) 正田 喜久
 中国東北地方の旅
 東宮鐵男ゆかりの地を訪ねて 東宮 春生
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 江戸を歩く(18) 日比谷界限 山崎 正
 抵抗の島天草と城下町熊本 山崎 正
 高山彦九郎の足跡と武州中山道
 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊
 ◇141 2015.3 B5 4p
 白山信仰の形態 清水 亨桐
 これが昔の蒺藜だ—川場村の初午 板橋 春夫
 ◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5
 大圖口承方 TEL049-281-4983

年4000円 1929年創刊
 ◇319 (61-3) 2015.1 A5 46p
 秩父郡皆野町採集の製塩土器につ
 いて 富田 靖雄
 畑時能と関係古文書(1)
 一主に三つの古文書を中心に 村田 嘉行
 鉢形北條家・着到異聞(1)
 一在家百姓達への着到 大墅 鴻風
 大宮郷の郷名について 栗原 一夫
 庚申塔(三戸塔)の一例 高柳 茂
 消防井戸(非常井戸)の紹介 赤石 光資
 表紙写真解説 延宝三年金剛界五
 佛日待石塔 小鹿野町伊豆沢西
 平路傍 (四方田記)
 口絵写真解説 中島歌子短冊 一
 寸光陰不可視(会員 内野勝裕
 氏蔵) 内田 勝裕

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房)
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
 www3.onc.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
 ◇153 2015.3 A5 64p 2000円
 巻頭随想 “かなわな心”をもつ
 て、これからも 坂口 和子
 特集 折口信夫と石神研究(第36
 回石仏公開講座より) 小川 直之
 解き明かされつつある板碑の謎—
 「埼玉県内の板碑関連情報」から
 門間 勇
 下総地方の十九夜塔 石田 年子
 コラム 栃木・八ヶヶ原に「移し
 出羽三山」 田中 英雄
 あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
 笛吹谷の丸石神 岡田 均
 安養院の身代わり地藏 初田 瑞宏
 誌上講座

石仏入門(8) 弥勒菩薩 門間 勇
 名号塔の知識(19)
 東京近辺の名号塔 岡村 庄造
 「石」を知る(42) 山梨の「石」 小松 光衛
 石仏写真と私(42) 石仏の魅力
 を写真表現に極めて… ゲスト
 高橋俊昭さん 杉本 康希
 日本石仏協会主催 一泊石仏見学
 会報告 松本市・山辺地区道祖
 神巡り 中森 勝之
 会員の広場
 Ω型異形六地藏 岡田 徳弘
 摩利支天の像容について 井戸 寛
 つくば市の石造ザカマタ(犬塔
 婆) 近江 礼子
 日参供養塔について 南川 光一
 第39回総会報告 (大野)
 日本石仏教会主催「石仏写真展20
 15」報告 中森 勝之

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
 津山方 TEL048-976-9387 1973年創刊
 ◇99 2015.1 B5 102p
 《兵庫県豊岡市但東町高橋地区合同調査特集》
 山に抱かれた兵庫県北部の居住習
 俗—豊岡市但東町高橋地区 津山 正幹
 但馬・豊岡市但東町高橋地区の合
 同調査を終えて 森 隆男
 大兵庫開拓団 西尾 嘉美
 昭和初期の兵庫県但東町高橋地区
 の衣と食 丸山 久子
 「食」を通して見た但東町の昔と今
 茶谷まりえ
 但東町の食・東中地区の禁漁区と
 暮らし 久保 沙織
 但東町の電気と水道 谷川 隼也
 古民家「なかや」 椿原佳恵/出口絵莉子

兵庫県豊岡市但東町一産婆さんは
 村に一人ずついた むらき数子
 戦争中の体験、葬送儀礼と板講に
 ついての聞き書き—兵庫県豊岡
 市但東町高橋地区の事例から 佐志原圭子
 豊岡市但東町の芝居と舞台 北河 直子
 兵庫県豊岡市但東町の信仰行事と
 伝説 村山 章
 大生部兵主神社 國吉 絵奈
 祭り雑感 本城 志乃
 庚申講 関井 春佳
 但東町の道から—京街道の残る町
 下境 芳典
 初めて古々路の会に参加して養蚕
 を聞く 林 奈菜子
 但馬牛の里 森 隆男
 豊岡市但東町の民具探訪 五十嵐 稔
 ニュースから(1)~(12)
 明治の小学校(8) 教科書に絡む三
 大事件—その3 南北朝正閏問題
 古川 修文

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
 岡本方 TEL04-7149-6404
 www.geocities.jp/abikosisiken/
 ◇155 2015.2 A4 10p
 我孫子市市制45周年記念行事 H
 26年歴史講演会 佐藤敬一郎先
 生「我孫子の城館跡あれこれ」
 歴史探訪部会座学 「我孫子での
 白樺派三人衆」所感 三谷 和夫
 我孫子市の武州三峯山信仰(2) 近江 礼子
 『千葉のへんろ道』の寄贈を受け
 ました 中澤 雅夫
 井上家文書研究部会1月の活動 長谷川 一
 井上基家文書の研究 質地証文(14)
 (7) 年季中の負担について 清水 紀夫

歴史部会『字誌』12月の活動 飯白 和子
 歴史探訪部会1月の活動 長谷川秀也
 合同部会12月の活動 中澤 雅夫
 古文書火曜部会1月の活動 佐藤 順
 ◇156 2015.3 A4 10p
 歴史講演会「我孫子の城館跡あれ
 これ」を聴いて 白神 正光
 歴史探訪部会2月の活動 長谷川秀也
 『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
 ねる』出版記念 歴史探訪部会
 主催 相馬霊場の札所参り6
 古文書日曜部会レポート 山崎 章藏
 古文書火曜部会2月の活動 中嶋 正義
 井上家文書研究部会2月の活動 長谷川 一
 井上基家文書の研究 質地証文
 (15) (8) 契約保障の文言につ
 いて 清水 紀夫
 合同部会2月の活動 中澤 雅夫
 お寺めぐりの見どころと楽しみ方
 のひとつ 吉田 茂寿
 中里薬師堂 薬師三尊と十二神将
 の修復 中澤 雅夫
 歴史部会『字誌』1月の活動 飯白 和子

◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報

〒270-1516千葉県印旛郡栄町安食938-1
 栄町教育委員会生涯学習課文化財班
 TEL0476-95-1112
 ◇18 2014.3 A4 4p
 平成25年度第1回研修会 「藤沢市
 における評価選別と評価選別基
 準について」(講師 山田之恵
 氏)を聞いて 戸谷 教司
 平成25年度第3回研修会 公文書
 の保存・選別収集とその課題—
 公文書に求められるもの 佐藤 勝巳
 平成25年度第4回研修会 いま、
 地域の古文書の取り扱いを見直

すー所在調査、整理、保存、利用
白井 哲哉
平成25年度第2回研修会 印旛沼
周辺の漁業に係る近代行政の動
きと漁撈絵図 榎 美香

◆佐倉市史研究

佐倉市総務部総務課市史編さん担当
〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
TEL043-486-3478 1983年創刊
◇28 2015.3 A5 123p
講演録
佐倉藩政改革とその思想—佐倉
藩士向藤左衛門と上杉鷹山の
改革 小関悠一郎
考古学からみる佐倉—総括 近森 正
佐倉市内採集の旧石器時代資料の
再評価—伊藤彦・小野良弘コレ
クションを中心として 橋本 勝雄
新興武家地と近代一飯野町熊谷家
文書の分析を中心に 戸石 七生
依田学海と小谷金十郎
一文事と武事と友情と 三浦 茂一
佐倉藩出身の漢学者田那村謙輔と
その一族 樋口 雄彦
旧制佐倉中学校滑空部史話(後) 小暮 達夫
佐倉藩御用達の石工佐久間市郎右
衛門「御用達日記」について 土佐 博文
刀剣類の刀銘、特に添銘について
の一考察—佐倉藩の刀工が鍛え
た刀剣をもとに 井原 重之

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方 TEL043-487-1033
年2000円 2012年創刊
◇9 2015.1 A4 12p
地名に学ぶ(8)

臼井城址周辺の地名 野村 忠男
新しい街西ユーカー・地名とその
由来 志津公民館祭出展報告 小坂 義弘
佐倉市の小字について 滝口 昭二
佐野藩(佐倉藩の支藩)(2) 東光寺
(臨済宗建長寺派)(佐野市寺中
町) 田中 征志
コラム 「鮭」
「戦時中」の質問について 武藤 敏子
臼井文化懇話会30周年記念講演会
「いすみ鉄道再生」の話 伊藤 清
酒々井の石仏 前田 國廣
「訪ねる会」平成26年度 上杉謙信
の足跡・生谷を訪ねる／大蛇・
弥勒を歩く／古い大蛇を歩く／
小竹を訪ねる／佐倉道の臼井を
訪ねる／井野周辺を歩く

◆成田市史研究 成田市教育委員会
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市
立図書館 TEL0476-27-2000 1972年創刊
◇39 2015.3 A5 141p
行方沼東と成田自動車 矢嶋 毅之
聞き取り 元大栄町長・元下総町
長に聞く 第10代大栄町長・佐
藤末勝氏に聞く 話し手：佐藤
末勝・堀越慎一／聞き手：中村
政弘
三橋鷹女の「年譜」の書き替え—
資料「遠藤家、東家、及三橋家
の家系大略」『成田市史叢書』(第
2集・第3集) 川名 大
成田市立図書館 市史講座 講演
録『門前町成田の変遷と祇園祭』
小倉 博
成田ニュータウンの遺跡(3) 二
千年の歴史の上に建つ中台小学
校—山口遺跡 高木 博彦

門前町の記憶をたどる—成田山門
前町調査研究事業の特徴と方向
性 久保田滋子
『成田の地名と歴史—大字別地域
の事典—』編集余話3
東京国立博物館の成田市域出土
の古墳時代資料 高木 博彦
新勝寺・木造薬師如来坐像と寺
台馬場氏 木村 修
弘化4年の出産一件と佐倉藩の
「間引き」禁止 鍋木 行廣
下金山村の神葬祭について 神尾 武則
鳥居に刻まれた祭神の碑文 島田 七夫
県会議員としての石川甚兵衛 矢嶋 毅之
成田市史年表稿 中村 政弘
2012(平成24)年
成田市関係新聞記事目録
2012(平成24)年

◆房総石造文化財研究会会報

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1980年創刊
◇124 2015.1 B5 16p
木更津の石造物(6)
庚申塔と石工 稲木 章宏
「野田駅周辺の石仏」見学会に参
加して 入谷 雄二
調査概報
君津市六手の車地藏を読む 早川 正司
石造文化財見学記
上総地方の石造物探訪 藤 由美
会員寄稿 宇賀神について 渡邊 昌之
「一ヶヶ寺参詣」を支えた行者 木原 律子
資料紹介 小見川の石造物—増補
編、史談八千代 特集 旧吉橋
村の総合研究その1

◆松戸市立博物館紀要

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181 1994年創刊
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇22 2015.3 A4 45+11p
縄文時代における土器内蔵の磨製
石斧—松戸市河原塚遺跡例の検
討 大森隆志／須賀博子
土器に埋納された磨製石斧の使用
痕分析 千葉県松戸市河原塚遺
跡を事例に 岩瀬 彬
千葉県松戸市小金1号墳出土埴輪
の再検討 小林孝秀／村木真由／水野華菜
史料紹介 本土寺過去帳天正本の
紙背記事 中山 文人

◆まつどミュージアム 松戸市立博物館

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇23 2015.3 A4 4p
コレクション紹介 破風形浮彫
館蔵資料展「シルクロードとガン
ダーラ」／館蔵資料展「松戸市
平和祈念展」
Next Exhibition 「よみがえる画
家—板倉鼎・須美子展」

◆アーカイブズ

独立行政法人国立公文書館
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp
◇55 2015.2 A4 66p
〈特集 国際交流〉
2014年国際公文書館会議に出席し
て 齋藤 敦
イギリス国立公文書館視察報告 村上 由佳
2014年 EASTICA 理事会及びセ

ミナー「アーカイブズ専門職が直面する課題—危機か好機か—」参加報告 吉田 敏也

SARBICA 国際セミナー「電子記録の真正性」参加報告 風間 吉之

相模原市公文書管理条例制定と公文書館設置への取組 佐藤 正五

常陸大宮市文書館の開館 高村 恵美

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館の開館 田川良太／栗野一浩

松本市文書館の新館開館 小松 芳郎

市民の知的共有資源としての公文書館等管理のあり方について—藤沢市文書館開館40周年を迎えて— 櫛原 直樹

大仙市における公文書館設置へ向けた取組 森川 悌一

◆あしなか 山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇302 2015.2 B5 20p
偽文書「日光山天狗立退令」の謎—その民俗性と政治性をめぐって— 時枝 務

第二次大戦中避難場所に使われた「やぐら」—横浜市金沢区釜利谷郷 大喜多紀明

東海道「富士の人穴」安置
大日如来像 小山 一成

旅の草ぐさ(16)
秩父オオカミ神社を巡る 高橋 修
伊豆三峰社とオオカミ像
—熱海・来宮神社 邑科 久乃
山里だより(21)
マメフジの種子まきと花まつり
—丹波美山町 西浦 左門

“貧乏山”と“徳山”—富士山北麓 杉崎満寿雄

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊
◇107 (41-2) 2014.12 A5 102p 1000円
《特集 人権宣言》
座談会 フランスの移民教育と日本の人権教育—フランスの移民の子どもたちとして日本の外国につながる子どもたち— 池田賢市／木川恭／角田仁／吉田浩司／松浦利貞(司会)

第5回東日本同和教育実践交流会の報告 教育部会

第28回研究・交流集会教育分科会報告 教育部会

生徒たちが教えてくれたこと
—問われ続けている自分— 小黒 英昭
A町を取り上げた人権教育 吉田 浩司
大磯の「さざれ石」と白山宮の守り石 久保田 宏

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇563 2015.1 A4 4p
疎開先の長野の寺 上高井郡高山村高井寺 元疎開児童の制作した模型 郷土博物館

足立区の廃寺余話(2) 竹塚葉王寺と安政三年の大風災 柴田 英治

縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(25) 鹿浜の子どもの生活(7) 小川誠一郎

江戸消防記念会加入30周年 生ま

れ変わった西新井大師の木遣塚 鈴木 志乃

◇564 2015.2 A4 4p
浮世絵展「歌川派と歌舞伎一勇壮なる役者絵の世界—」
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(26) 鹿浜の子どもの生活(8) 初午と王寺の凧／凧揚げ／凧揚げと子どもの社会 小川誠一郎

次回企画展・作品展紹介 版本の世界—娯楽・教養・挿絵の美 佐藤 貴浩

◇565 2015.3 A4 4p
古記録と地域美術資料
—千住掃部宿の石出家資料— 多田 文夫

次回企画展・作品展紹介(2) 版本の世界—娯楽・教養・挿絵の美 佐藤 貴浩

浮世絵展「歌川派と歌舞伎」桜まつり期間限定展示！ 新発見の三代歌川豊国筆・肉筆浮世絵 小林 優

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇322 2015.1 A4 8p
後世に伝えたいもの残したいものを大切に 堀川 和夫

合衆国首府「ワシントンの桜」(27) 昭和35年・東京都公園協会 ワシントンの桜

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形民俗文化財 六面地藏幡 1基、供養塔 3基、西光院手水鉢 1基、吉田家絵馬資料 12面

江戸の売り声
講師：宮田章司師匠

映画「望郷の鐘・満蒙開拓団の落日」を観て 唐沢 邦子

聖蹟桜ヶ丘拓魂公苑(上) 竹内 秀夫
聖蹟桜ヶ丘拓魂公苑(下) 竹内 秀夫

◇323 2015.2 A4 8p
合衆国首府「ワシントンの桜」(27) 昭和26年・東京都公園協会

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形民俗文化財 獅子頭 1対、刷袈裟版木 1面、興野神社祭礼のほり 2旒／新登録文化財公開 関原不動大聖寺

七福神詣り／新春詠草／郷土博物館企画展 浮世絵展「歌川派と歌舞伎」—勇壮なる役者絵の世界—
調べてみました 「カゴメの歌」 赤田 直繁
—ふるさと先人譚— 清亮寺解剖人墓の大久保適斎 矢沢幸一朗

◇324 2015.3 A4 8p
史談会行事への参加について 村岡征四郎

合衆国首府「ワシントンの桜」(29) 昭和26年・東京都公園協会

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形民俗文化財 柳原稻荷神社富士塚 1基、千住神社富士塚 1基、大川町水川神社富士塚 1基、足立三丁目西宮稲荷神社富士塚 1基、小右衛門稲荷神社富士塚 1基

足立史談カルタ こ「甲良屋敷は今学校」、え「江戸を出て日光道中初宿場」

2月探訪東京大仏 東道 鈴木道夫氏
赤塚城址 田辺弥太郎(「葛飾史談」23号 昭和38年から)
葛飾史談23号から(昭和38年5月)
又木の卒塔婆について—東京都

内に見る犬卒塔婆
伊興小学校発掘調査見学会

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇111 2015.3 A4 8p
新展示「宿場のにぎわい」コーナ

ー
常設展示リニューアル！(4)
「宿場のにぎわい」 花木 知子
企画展 府中のごشوウギーむか
しの結婚式ー 佐藤 智敬

NOTE
「八講」の墨書土器をめぐって 深澤 靖幸
多摩川おさかな考(4)

春を呼ぶマルタウグイ 中村 武史
最近の発掘調査 再び出土した
「神」の墨書土器 寿町三丁目 野田憲一郎

連載 天文・宇宙の最新動向(8)
金星探査機「あかつき」金星軌
道へ インタビュー：今村剛氏

本間 隆幸

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

◇283 2015.2 B5 32p
赤塚郷領主春屋妙葩の師無窓疎石

の事 大井 眸
国民栄誉賞受賞者 渥美清氏 石塚 輝雄
「板橋史談会古代の部」に参加して

加藤 健

ひろば
都電から地下鉄三田線へ 渡部 環
板橋区立紅梅小学校 開校一四

○周年記念式典に参加して 中村 正宏
表紙写真解説

「赤塚諏訪社田遊び」(大門) 井上 富夫

◆縁 集いの広場 縁フォーラム

〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-
603 武蔵野エイトマンション
倉石美都方 2012年創刊

◇8 2015.1 A4 50p

《性文化特集》

性文化特集にあたって 倉石 美都
身体部位伝承と性器形態物 倉石 忠彦
観光資源としてのセクシュアリテ

ィー沖縄と観光における男根信
仰の活用を中心に 塩月 亮子
韓国における性文化を考える 倉石 美都

伝統芸能継承者の意識からみる女
性差別構造要因—大分県豊後大
野市清川町に伝わる御獄流神楽

後藤 弥有

韓国紀行—2014年版 東西移動 鳥竹軒蓮花
東京生活史(1)—子どもの頃のあ
そびと年中行事 高久 舞

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒350-1301埼玉県狭山市青柳63
新佐山ハイイツ4-504 藤本一美方

◇401 2015.1 B5 34p

再び百山考について 藤本 一美
『湯ヶ天 思いで帳』に拾う
ユガテを訪れたハイカー達 町田 尚夫

『湯ヶ天 思いで帳』回想 成川 茂雄
子ノ権現の万能丸 酒井 昌樹
奥武蔵・秩父の獅子舞(55)

一戸宮の陸稲ざさら 関口 洋介
野生からのメッセージ—奥多摩発
矢口 益男

14年度 河田賞／14年度 山行賞／

14年度 集会賞

山行報告

秩父事件130周年山行(2)

腰ノ根山と小鹿野宿 飯塚 孝雄
秩父札所巡り(7) 西東 昭夫

秩父事件130周年山行(3)

十二天山と皆野周辺 飯塚 孝雄
高山社跡と古城跡めぐり 成川 茂雄
鎌倉獅子舞の道 吉田 修

◇402 2015.3 B5 30p

「春日賞」の復活 藤本 一美
奥武蔵の魅力—『会報奥武蔵総目
録』に寄せて 小泉 重光

奥武蔵・秩父百山考について 加藤 恒彦
「奥武蔵研究会」の活性化を考える
酒井 昌樹

奥武蔵・秩父の獅子舞(56)
一滑川町、熊野神社 関口 洋介
安全対策班において学んでいる事
村木 悦子

2014年 奥武蔵・秩父地域に於け
る山岳遭難 町田 尚夫
安全対策班だより 吉田美知子

山行報告

『奥武蔵』会報400号記念ユガテ

集中 事 業 部
Aコース・高麗駅から 藤本 一美
Bコース・東吾野駅から 成川 茂雄
Cコース・東毛呂駅から 飯沼 巳好

与野七福神巡り 斉藤 慶広
竹寺から子ノ権現初詣 飯沼 巳好

円福寺だるま市と五大樹 関口 洋介
高麗神社と聖天院 斉藤 慶広
津久井城址 岡野 守

もう一つの札所巡り(1) 西東 昭夫

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002東京都北区王子1-1-3

TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇17 2015.3 B5 123p

景観テキストの形成と名所の表象

詩人室生犀星と山の文学—登山家
冠松次郎へのオマージュの関わ
りの中で 石倉 孝祐
中野 守久

火打ち道具と切り火の習俗
—北区内の事例を中心として 領塚 正浩
赤羽台4号墳の研究(1)

—墳丘・周溝・横穴式石室 安武由利子
資料紹介 御殿前遺跡出土鉄剣—
北区上中里1-46地点方形周溝墓

出土資料 杉山和徳／牛山英昭
平成26年度文化財調査・保護事業
の概要と実績

平成26年度古文書調査報告(概報)
田中 葉子
平成26年度民俗調査報告(概報) 田中 葉子

報告 「旧醸造試験場第一工場」
の国文化財指定について 山口隆太郎

追補 区画整理碑資料紹介 山口隆太郎
文化財展示紹介 「北区のレンガ、
明治の都市をつくる—堀船地区

田中煉瓦文書にみる北区の近代
産業—」
指定・台帳登載文化財一覧／文化
財説明板一覧

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇115 2015.2 B5 14p

第33回定期総会 林 健一
第385回 講演 2・3世紀におけ
る南関東の動向 熊野 正也

第384回 月例研究会
滝野川と帝国種苗殖産 有馬 純雄

第383回 月例研究会
赤羽発電所と引込み線—第30回
赤羽文化センター祭展示報告 川上 明

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会
〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9
車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇36 2015.2 B5 16p
歴史と道 瀬沼 秀雄
平成26年度総会・新年会 大雪の
中部会館、郷土史研究会は馳せ
る 宮田 治三
句集『祭笛』を上梓して
面涼し一管の笛添えたれば 久保 喜一
平成26年 春の見て歩き
片倉城址周辺を散策 吉田 待江
市民自由講座 八王子市生涯学習
センター川口分館共催 「片倉
城と栲田城」—中世城郭の縄張
り 畠山 博行
五味元氏の講座を聞いて 川口で
活躍した千人同心・牛尾善十郎
岩本 行雄
八王子城跡オフィシャルガイド
三ッ鱗会がNPO法人に認定 金子 信一
旅窓の夢 『民の旗—五日市憲法
誕生』会報へのあとがき 岡村 繁雄
双蝶舞う—第二十一回透谷祭 齋藤 三男
元八王子北條氏照まつり
武者行列で戦国絵巻を実感 伊藤 勝之
比叡山延暦寺と八王子 車田 勝彦
聞書 川口・少し昔の暮らし(6)
黒八丈と藍染—上川町 秋山勝
男さん 岡村繁雄／伊藤勝之
平成26年度川口中学校での総合的
な学習 生徒たちに空襲の歴史
と自然を語る 瀬沼 秀雄
秋の史跡めぐり

五日市憲法の起草に思う 伊藤 弘一

◆儀礼文化ニュース
一般社団法人儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188

◇197 2015.3 A4 8p
催事スケッチ 博多どんたく 初
夏を代表するにぎやかなお祭り
春季大会は4月開催 弓馬術礼法
小笠原教場 出陣の式／創立35
周年記念 伊勢神宮特別参拝
催しものレポート 第24回関西支
部 秋季学術大会
平成27年度 儀礼文化学会催し物
ご案内 儀礼文化講座／儀礼文
化セミナー
レポート
生活芸術講座 香道
練香を学ぶ 講師：畑正高 塩澤以知子
儀礼文化セミナー(第5回) 儒教
足利学校釋奠見学 飯塚 好
儀礼文化講座(第6回) 修験道
修験道の峰入りと祭り 講師
：宮家準 佐々木 寛
儀礼文化講座(第7回) 華道
天地人の花 講師：由水幸平
佐々木 寛

◆じゃんびん NPO法人歴史資料継承機構
NEWS LETTER
〒198-0063東京都青梅市3-863-2
西村慎太郎方 rekishishiryō.com

◇16 2014.4 A4 4p
「第6回 南伊豆を知ろう会」に参
加して 望月 保宏
南伊豆町上賀茂渡辺家文書保存・
調査活動に参加して

上岡史拓・幡谷芽以子
東京都杉並区蒲生家文書保存・調
査活動報告 西村慎太郎
常州長谷密蔵院について 藤井 達也
活動報告
「被災した歴史資料が語る北茨城
の歴史」参加記 高増 慧
第12回例会 参加記 伊藤 久美

◇17 2014.8 A4 4p
常陸太田市武子家文書の保存・調
査 西潟 滯
「佐橋冠左の数寄の世界」 井上 智
民間所在資料の保存・調査活動後
のカビに対する対応 西村慎太郎
活動報告
南伊豆における資料保存の現在と
これから 藍原 怜
野口雨情生家・資料館特別展示
「長久保紅堂—雨情との友情」 栗原 佳

◇18 2015.2 A4 4p
「村役場日誌」のおもしろさ 今村 直樹
川村竹坡宛猪飼敬所書簡を読む 梅田 千尋
我孫子市安島家文書の中の水戸徳
川家 武子 裕美
活動報告
杉並区蒲生家文書における概要調
査について 西村慎太郎
神城断層地震(長野県北部地震)に
伴う歴史資料保全について(お
願い)

◆城郭史研究
日本城郭史学会(発売：東京堂出版)
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1968年創刊

◇34 2015.3 B5 158p 2700円
黒田孝高(如水)の戦略と築城 丸山 雍成

戦国城郭の守備員数 西ヶ谷恭弘
宮城、大手石橋新造に伴う石材受
容に関する一考察—宮内庁宮内
公文書館所蔵史料から 野中 和夫
静岡県戦国城郭の再検討
—丸子城編 小高巳季彦
徳川御三家・紀伊和歌山城「白と
黒」の天守 水島 大二
砕玉類題
広島城に見る黒田官兵衛の面影
—広島城東小天守の復元再考
大竹 正芳
大坂城真田丸—絵図・地形図・
空中写真によって考察する位
置と形状 坂井 尚登
城郭史関係論文目録 阿部 和彦

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇88 2015.1 A4 8p
福岡城・中津城・唐津城にそれぞ
れ天守の実在を実証—丸山雍成
博士が『城郭史研究』34号で発
表
「江戸城天守閣再建の夢」に思う 小高巳季彦
江戸城天守の幻想 大竹 正芳
「江戸城天守閣再建運動」について
三ツ股正明
最近の注目される城郭関係図書か
ら／最近の城郭ニュースから／
各地の城郭研究会活動から／日
本城郭史学会活動から

◆常民文化 成城大学常民文化研究会
〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇38 2015.3 A5 208p

血液型人間分類における受容と持続の解釈について 小山 由
 ピノキオのための試論
 一物語を持つ人形の考察 三井 寛文
 柴又帝釈天の庚申信仰—柴又型庚申塔の分布に関する一考察 綿谷 翔太
 超越的か超越論的か—柄谷行人の交換様式論をめぐる 木下 聖三
 ドイツ語圏における民俗学的・文化的メディア研究の方法—映画とテレビ
 ウーテ・ベッヒドルフ／及川祥平、クリスチャン・ゲーラット共訳
 近世における奄美遠島—「公儀流人」と「鳴之口騒動」の史料検討から 箕輪 優
 吉原における客の身分
 一遊女評判記を中心に 高木まどか
 『吾妻鏡』の動物怪異と動乱予兆
 一黄蝶群飛と鷲怪に与えられた意味付け 池田 浩貴

◆書籍文化史 鈴木俊幸
 〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
 中央大学文学部3833号室
 TEL042-674-3789 2000年創刊
 ◇16 2015.1 A5 265+12p
 寛永二十年版系『録内御書』の一部再刻をめぐる 堀部 正円
 版本の文字と書の視点 岩坪 充雄
 熱田文庫の概略と「旧蔵目録抄」太田 正弘
 村上忠順の図書購入
 一『寶貨記』に見える書店 中澤 伸弘
 共同研究 広告でたどる兎屋誠の「商法」
 鈴木俊幸／中央大学F L P 鈴木ゼミ
 古活字版悉皆調査目録稿(6) 高木 浩明
 『近世・近代初期 書籍研究文献目録』補遺(1) 鈴木 俊幸

表紙紹介 『商売往来』

◆杉並郷土史会史報
 〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
 新村康敏方 1973年創刊
 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
 ◇249 2015.1 A4 10p 400円
 高円寺耕地整理組合 騒動顛末記(2) 新村 康敏
 第516回例会記
 日光御成街道から白山神社・駒込六義園を訪ねて 服部 建人
 第512回例会記
 “小倉百人一首の謎”を語る
 羊の謎 新村 康敏
 ◇250 2015.3 A4 10p 400円
 高円寺耕地整理組合 騒動顛末記(完) 新村 康敏
 郷土博物館 二つの特別展 分館：荻窪の昭和—井伏・太宰、荻外荘／本館：有吉佐和子没後三〇年記念特別展 荒井 泰樹
 東京新聞が取り上げた碧雲荘
 NHK大河ドラマ「八重の桜」余談 佐藤 高志
 私の本棚から(48) 短編集「半分コ」出久根達郎著 三月書房

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円 1957年創刊
 www11.ocn.ne.jp/~oinari/
 ◇230 2015.3 B5 35p
 茨城県下妻市無量院の大黒天縁起 近江 礼子
 野兎をめぐる民俗補遺(上) 天野 武
 一ユキサランを中心に

赤山禅院の福祿寿 大島 建彦
 ぶらんこ繩と正月行事—福島県大沼郡津美里町上平 石本 敏也
 四国の天狗像 高橋 成
 多摩の地に生きる
 一中島恵子氏追悼 大島 建彦

◆戦国史研究
 戦国史研究会(発売：吉川弘文館)
 〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
 TEL03-3813-9151 1981年創刊
 ◇69 2015.2 A5 52p 649円
 天文期細川晴元家中体制下の内衆と三好氏—本願寺との関係を通して 山下真理子
 豊臣期戸田勝隆の南伊予入封と支配—入封における役割を中心に 山内 治朋
 羅針盤
 細川高国の家督継承と奉行人 馬部 隆弘
 北条氏綱署判の新出史料 菅原 義勝
 「二月十日付大山義在書状」と天文期東国の政治情勢 安達 和人
 戦国史関係論文目録(平成26年1月～6月)
 例会報告要旨
 第415回例会 岩付衆「松野文書」の検討 黒田基樹／小室 家文書にみる近代好古家の中世史料研究 新井浩文／「中世文書の世界展Ⅱ—戦国時代の文書」見学 新井浩文・佐藤 貴浩 事務局
 第416回例会 織田・豊臣大名細川氏の丹後支配 鈴木 将典
 第417回例会 大名間和平をめぐる境目国衆の動向—尼子・毛利氏間和平と石見国衆福屋

氏の関係 浅野 友輔
 第418回例会 古河公方御連枝
 足利基頼の動向 中根 正人
 第419回例会
 シンポジウム「越前の戦国」事務局
 第420回例会 寛正六年河野氏嫡庶両家講話の理由—嫡家の動向を中心に 父田 翔一

◆全日本郷土芸能協会会報
 〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
 三河台ハイツ206 TEL03-6434-9435
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
 ◇78 2015.1 A4 24p
 板橋の田遊び 東京都板橋区徳丸北野神社／同区赤塚 諏訪神社
 国指定重要無形民俗文化財
 平成26年度文化庁事業「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」「田子神楽」「篠原踊」報告書作成業務
 「全国子ども民族芸能大会」「伝統文化継承フォーラム」
 島根県指定文化財50周年記念神楽大会を終えて 佐々木昌延
 歌舞劇団田楽座創立50周年を祝う(森下)
 シンポジウム「祭の精神性(霊性と神性)」／第8回獅子博物館表彰式
 冬～春の芸能・イベント情報2015
 東日本大震災・郷土芸能復興支援プロジェクト
 「百年後の希望」を芸能に託して 民族歌舞団荒馬座 宮河伸行
 地芝居 第24回全国地芝居サミット in 魚沼開催
 14回目を迎える かながわ伝統芸能祭 地芝居2015 開催概要／

第25回全国地芝居サミット in
あきる野市 つなごう地芝居、
郷土の心
地芝居探訪(53) 菅生歌舞伎・秋
川歌舞伎合同公演／飛騨・美濃
歌舞伎大会／小森歌舞伎／小原
歌舞伎／入谷歌舞伎／小鹿野歌
舞伎 松浦 鳥夫
地芝居見聞(16) 地歌舞伎の祭典
第29回国民文化祭あきた2014／
粟井春日歌舞伎 定期公演 北河 直子
地芝居あれこれ(17)
歌舞伎の化粧のはなし 蒲池 卓巳
地芝居公演情報 1月中旬～3月／
「羽子板展」@佐野市葛生伝承
館／トラヴェールに特集 群
馬県の地芝居と人形芝居
東北地方の一人遣い人形芝居 庄
内出羽人形芝居を受け継ぐ一多
くの人に支えられて(2) 津盛柳貳郎
民俗楽器(54) 民俗芸能の伝承方
法一唱歌で伝える太鼓踊り 山本 宏子
空白の沖縄芸能史(7)
嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
マレの会 糸島国際芸術祭2014
糸島芸農×マレの会 新美 優
BOOK良書紹介 (城井)

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北島山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
◇273 2015.1 A4 2p 100円
『香具師の全貌』
◇274 2015.2 A4 2p 100円
江戸の物売りと庶民芸 3月21日
(土・祝)開催 主催：深川江戸
資料館

『香具師の全貌』(2)
◇275 2015.3 A4 2p 100円
江戸の珍商売(生業) (2)
◇276 2015.3 A4 2p 100円
《江戸の物売りと大道芸 プログラム》
◆**多摩地域史研究会会報**
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊
tamaten.web.fc2.com
◇113 2015.1 B5 6p
第85回例会報告 多摩の中世城館
を歩くⅦ 小野路城 西股 絵生
新刊紹介 重田正夫・白井哲哉編
『「新編武蔵風土記稿」をよむ』 梶原 勝
◇114 2015.3 B5 10p
第86回例会報告 第86回例会参加
記 小平市の鈴木遺跡と旧鈴木
新田村を歩く 高田 賢治
瑞穂町郷土資料館 常設展示紹介
一平成26年11月新館開館 高木まどか
地域情報室 江戸東京たてもの園
展示会案内 下布田遺跡一武蔵
野の歴史と考古学一展

◆**多摩のあゆみ たましん地域文化財団**
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp
◇157 2015.2 A5 114p
《特集 写真でみる高度成長期の多摩》
高度成長期の立川市―「基地のま
ち」から「商業都市」へ 小川 始
写真にみる昭和30～40年代の八王
子 小林 央
調布市誕生から60年―まちづくり
の歩みは高度経済成長とともに
金井 安子

高度成長期にみる日野宿と日野市
立図書館 石嶋日出男
高度成長直前の野川周辺 多田 哲
高度成長期への眼差し
一国立の広報用写真から 佐山 淳史
昭島の風景 関野 博司
洋風建築への誘い(46)
野川段丘・国際基督教大学 伊藤 龍也
建物随想記(41) 国際基督教大学
創立時のキャンパス 酒井 哲
古文書は語る(41) 松姫尼百回忌
法要の開催―信松院文書「信松
院百回会場記」より 馬場 憲一
多摩の食文化誌(18)
多摩の名産サツマイモ 増田 昭子
多摩のみほとけ(20) 檜原村 五
社神社(1) 木造伝五大明王像 齊藤 経生
本の紹介
村山美春著・瑞穂町教育委員会
編『炬燵夜話』 山田 義高
青梅市郷土博物館編『青梅線開
通120周年』 北村 拓
日本野鳥の会奥多摩支部編『多
摩の鳥』 清水 徹男
情報 多摩の博物館だより

◆**調布市郷土博物館だより**
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1978年創刊
◇76 2015.3 A4 8p
郷土博物館が出来た頃 小野崎 満
これからの博物館の役割に関する
アンケート調査から
郷土博物館の展示記録
平成25年度事業報告

◆**調布の文化財** 調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2

TEL042-481-7656 1986年創刊
◇51 2015.3 A4 8p
第60回文化財防火デーに伴う防火
訓練 赤城 高志
講演会抄録 池上悟氏「下布田古
墳群と多摩川流域の終末期古墳」
長瀬 出
文化財の保護・普及活動 指定文
化財説明板の設置と付替え 長瀬 出
◆**東京産業考古学会 NEWSLETTER**
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 袖須絃一方 FAX048-479-7490
tias3.web.fc2.com

◇110 2015.1 A4 6p
報告 研究会「板橋区の光学産業
の歴史について―カメラを中心
に―」 多田 統一
文献紹介 『輝く技術 光る企業』
多田 統一
報告 講演会「人間と技術の観点
から鉄道の安全確保の産業考古
学的な考察」 小山 徹
第7回理事会の議事概要
博物館シリーズ(20)
日本初の事業用水力発電所 小野田良智
短信 工作機械関連博物館新設
茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(6)
関口邸長屋門及び蔵(4) 八木 司郎
◇111 2015.3 A4 6p
報告 見学会「最上 CAN 株式会
社」
報告 2015年度東京産業考古学会
研究大会
報告会員：多田統一「日本の研
究博物館・資料館と産業考古
学―東京産業考古学会の活動

の成果からー」 柚須 絃一
 報告会員：長野恭彦「はじめて
 の器械製糸を伝えたスイス人
 ミュラー」 長野 恭彦
 桂俊太郎氏を偲んで 平井 東幸
 報告 講演会「戦時下陶磁器生産
 の統制について」 柚須 絃一
 文献紹介 『板橋製品技術大賞平
 成25年度受賞製品 発掘!!いた
 ばしの新製品・新技術!!』 多田 統一
 文献紹介 『MACC プロジェクト
 新製品・新事業の創出による地
 域産業の活性化を目指して!!』
 報告 講演会「中部の産業遺産と
 中部産業遺産研究会の活動」 柚須 絃一
 第8回理事会の議事概要／第9回理
 事会の議事概要
 博物館シリーズ(21) 初期の碎パ
 ルプ製造機 ポケットグライ
 ンダー 小野田良智
 「エコプロダクツ2014」見学記 多田 統一
 新刊紹介 『遙かなる和鉄』
 茨城県北相馬郡利根町の赤煉瓦建
 築物 北用水樋門 八木 司郎

◆東京空襲・戦災資料センターニュース
 〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経
 済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net
 ◇26 2015.2 A4 8p
 大きい本と小さい本 早乙女勝元
 東京空襲を語り継ぐつどい 東
 京空襲70年・戦災資料センタ
 ー開館13周年／東京空襲・戦
 災資料センター開館要項／2015
 年第1回特別展『決定版 東京
 空襲写真集』刊行記念 戦後70
 年にふりかえる東京空襲写真展

東方社研究の成果による出版企画
 ・特別展『決定版 東京空襲写
 真集—アメリカ軍の無差別爆撃
 による被害記録』刊行 山辺 昌彦
 夏の親子企画を開催しました
 そして、2015年に向けて 二瓶 治代
 センターで体験を語って 江角 恵子
 表現活動をとおして空襲体験を継
 承する「秋の平和文化祭」を開
 催しました 山本 唯人
 語り継ぐ「平和教育の1期生」
 —印象に残った学校のこ
 資料は語る 学童集団疎開の手紙
 松田 英里
 全国空襲被害者連絡協議会は、援
 護法制定のとりくみを進めてい
 ます 高岡 岑郷
 証言映像プロジェクト 表参道の
 空襲と女子通信隊の体験を記録
 し、公開の準備を進めています
 山本 唯人
 霊名簿研究の展開 すみだ郷土文
 化資料館企画展『東京大空襲・
 70年』 田中 禎昭

◆練馬郷土史研究会会報
 〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
 吉越正博方 TEL03-3996-4454
 1956年創刊
 ◇355 2015.1 A4 4p
 豊島氏関係史料を読む(19) 天正
 十三年七月十日北条氏政朱印状
 の歴史的背景(2) 伊藤 一美
 高札場 10月例会 爽秋の鎌倉史
 跡探訪／11月例会 紅葉のいわ
 き史跡探訪
 練馬の城を往く(12) 富士見池の
 障子堀(練馬区関町北三丁目) 八巻 孝夫

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達
 (23) 真崎甚三郎(20) 鎌田 茂男
 平成26年実施報告
 ◇356 2015.3 A4 4p
 京都市養育院と彼のひとびと(後
 篇14) 放縦とフォーブの画家
 長谷川利行(3) 日向康三郎
 高札場 1月例会及び27年度総会
 昭和史雑感 昭和天皇と将軍達
 (24) 二、真崎甚三郎(21) 鎌田 茂男
 豊島氏関係史料を読む(19) 天正
 十三年七月十日北条氏政朱印状
 の歴史的背景(3) 伊藤 一美

◆練馬区地名研究会会報
 〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
 年2500円 1987年創刊
 ◇110 2015.1 B5 4p
 第110回例会 鷹場への道2 石川 敦子
 地域観察会
 上石神井村・西村の江戸道 徳川 達子
 小ヶ谷戸橋 下島 邦夫

◆東日本部落解放研究所ニュース
 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
 TEL03-5603-1863 1986年創刊
 www.hblri.org
 ◇88 2015.3 A4 12p
 報告 第28回研究・交流集会
 全体会1 地元報告 新潟県連結
 成30年、神林村裁判25周年を迎
 えて 小池武志さん 吉田 勉
 全体会2 記念講演 狭山再審と
 司法改革の現状 講師：近藤正
 道さん 小川 満
 歴史分科会 新潟の部落史 瀬尾 健
 教育分科会 差別と向き合う一人

権・同和教育の現状と課題 松浦 利貞

◆風信 在野史探究手造り個人誌
 牧野登
 〒204-0002東京都清瀬市旭が丘2-2-3-106
 TEL042-495-4111
 ◇85 2015.1 A4 60p
 表紙 会津の遺賢
 保科近恵(ほしなちかのり)
 特集 西郷家21人自刃の深層(続)
 「籠城中の重臣会議」(相田泰三
 「会津会々報」第79号)
 「松平容保と西郷頼母」(星野正
 介「生涯教育」第2号)
 井深登世子のこゝと西郷邸の焼
 跡より遺骨を拾い集めて墓地
 に埋葬した16才の少女
 重縁の沼沢家あれこれ
 長岡家の陰徳—城下屋敷図の作
 成、旧沼沢邸跡の十軒長屋の
 近恵遺墨、武井柯亭庇護
 十軒長屋期の近恵を知る歴史の
 生き証人、三浦しのさん
 「保科有隣墓」を建立された小田
 島実之輔氏
 「孤影の名臣西郷頼母」を出版さ
 れた西郷鶴夫(岩倉春之進)氏
 近恵の庇護家 森川善兵衛家
 「戊辰落日」の名著を著した綱淵
 謙錠氏との交流など
 「眉山夢物語」を読む
 西郷四郎自著の検討 その1 菊池 達哉
 朝鮮閔妃弑殺事件と佐瀬熊鑑
 誌友消息 松本紀郎(高知市)、阿
 部光(杉並)、小宮安謙(平塚市)
 ◆府中市郷土の森博物館紀要
 〒183-0026東京都府中市南町6-32

TEL042-368-7921 1988年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇28 2015.3 A4 66+44p
常設展示リニューアルの展示コン
セプト 深澤 靖幸
縄文集落模型制作に関する覚書—
武蔵台遺跡の早期集落の復元 深澤 靖幸
「防人、国府からの旅立ち」と「中
世合戦物語—ある僧の回想」—
常設展示室リニューアルにとも
なう映像ナレーションの記録
小野 一之
府中の自然と生物「過去・現在・未
来」—リニューアル常設展「都
市と緑と」のジオラマに込めた
意図 中村 武史
考古学資料の3次元計測、応用と
可能性(1)—府中市武蔵台遺跡
出土後期旧石器時代石斧(1)
野口淳/横山真/千葉史
サイノカミ展示の記録—常設展示
室リニューアルにおける市民協
働の成果 佐藤 智敬
偏無為 依田貞眞が朝廷に進上し
た著作について 野田 政和

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp
◇39 2015.3 B5 64p 2000円
「フランス横浜郵便局」研究史(1)
松本 純一
資料紹介
郵政博物館資料紹介(20) 郵便
切手改正図案(昭和切手)関連
資料について 井上 卓朗
郵政博物館所蔵 昭和切手の原

図帳について 星名 定雄
旧刊紹介(13) 『通信太平記』 鈴木 克彦
明治の新聞にみる船便による郵便
差立広告 山崎 善啓
前島密
—ロンドン滞在時の真相究明 菊地 勇治
近刊紹介
山崎善啓 住友の別子・四阪島
と電信・電話・郵便 田中 寛
山崎善啓
大正時代の軍事機密文書 田中 寛
2014年度総会・研究発表会の報告

◆厚木市史たより
〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊

◇12 2015.3 A4 4p
厚木市内出土の瓦について 高橋 香

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇240 2015.1 A4 28p

「片岡日記」の背景をさぐる 星野 和子
片岡日記 昭和編(1) 片岡永左衛門
小田原の郷土史再発見 江戸の遊
郭「吉原」開設者 庄司甚右衛
門は小田原出身! 石井 啓文
宮之前的山田呉服店(上)
話し手:山田影夫さん 青木 良一
小田原大秘録(巻一から巻三まで
の読み下し文) 第八回巻三の一
鳥居泰一郎

久所の始まり 宮原 諄二
真田氏の城下町 松代の史跡巡り
河合多美江

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
TEL045-364-4456 1994年創刊
www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/

◇32 2015.3 A4 4p
吉田松陰(寅二郎)が実兄 杉梅太
郎へ宛てた書簡

神奈川における学童疎開—アーカ
イブズ講座で取り上げた資料か
ら
歴史資料所在調査から—清川村の
資料紹介

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
1959年創刊

◇118 2015.1 A5 100p 1500円
山武市内の法衣垂下式仏像につ
いて 濱名 徳順

御成小学校内発掘調査により検出
された中世武家屋敷の建築—南
側武家屋敷について 鈴木 亘
失われた閻魔王像をめぐる 奥 健夫

鎌倉の別荘地形形成過程における
沖守固の動向について 奥山 信治
『亀谷山記録』(13) 鎌倉古文書研究会
『鹿山公私諸般留帳』(45) 三淵美恵子

神奈川の窓(35)
—「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26

◇18 2015.1 A4 2p
バヴロバ資料の整理に関する企画
書

◇19 2015.2 A4 2p
西川マリエさんと友野代三氏から
思ったこと 前田 セツ
鎌倉の近現代史資料の保存と活用
/バヴロバ資料の整理企画につ
いて

◇20 2015.3 A4 2p
旧鎌倉町立図書館の見学会
鎌倉の県立近代美術館調査報告に
ついて

◆県央史談 県央史談会
〒243-0033神奈川県厚木市温水342
内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇54 2015.1 A5 72p
鍋トロが走っていた町 千葉 弘
荻野小学校の沿革

—その源流をたずねて(2) 小池 正春
明治の二人の川村敬三
—開港の地を舞台に 小池 正春
古文書・村絵図が語る昔の恩名(2)
柳下 安行

江戸時代の旅と信仰 内藤 佳康
県下名勝史跡四十五選佳選 平本 元一
横須賀方面を訪ねて—平成26年度
バス研修旅行報告 石野 孝

◆クロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇140 2015.2 B5 6p
報告 諸塚の民俗(1)
—スズメバチ獲りのこと 湯川 洋史

◆寒川町史研究 寒川文書館
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1 TEL0467-75-3691 1988年創刊
◇27 2015.3 A5 88p

《特集 下寺尾官衙遺跡群を学ぶ》

特集にあたって

下寺尾官衙遺跡群の全体を学ぶ 大村 浩司
岡田南河内遺跡及び大曲五反田遺

跡の発掘調査の概要について 高橋 香
旗本たちの幕末維新一中瀬村領主

・春日与八郎を中心に 椿田有希子
大神塚古墳発掘資料にみる坪井正

五郎人脈 川村 伸秀
座談会 教員・井上有一の素顔

金子武茂/後藤功/蓮見保仁
資料紹介

田端村五人組帳前書 寒川古文書愛読会
展示会記録 1964 50年前の寒川

鳥養 圭美

◆寒川文書館だより

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp

◇17 2015.3 A4 8p

資料紹介 大野町との境界変更
(昭和30年・寒川町公文書) 高木 秀彰

防災講演会 阪神淡路大震災20年
記憶を伝える・記録を守る

シリーズ 寒川の先人たち 第13
回 幕末維新期の英語教師―春

田与八郎直温 椿田有希子
第17回企画展 1964 50年前の寒

川/懐かし映画上映会「50年前
の寒川」/図書館ミニ展示

「1964 東海道新幹線と東京オ
リンピック」

◆市史研究 横須賀 横須賀市総務部総務課

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
TEL046-822-8150 2002年創刊

◇14 2015.3 A5 135p 500円

近世後期浦賀の貯夫食金運用と危

機対応 神谷 大介

横須賀とキリスト教 上杉 孝良

吉井第一貝塚出土のオオヤマネコ

の歯とオオカミの骨について 鈎持 輝久
随 想

古代・中世部会の活動を振り返
って 山田 邦明

近世部会の活動を終えて 大口勇次郎
編さんを終えて 上山 和雄

『別編文化遺産』の編さんを顧
みて 上杉 孝良

新編横須賀市史の考古学 矢島 國雄
『別編民俗』で試みたこと 安室 知

市史・通史編の編さんに携わっ
て 林 公義

山中裕市史編さん委員会委員長へ
のお悔やみ

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央
図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/

◇22 2015.3 A4 12p

横浜の空襲 羽田 博昭

横浜現代史人物伝(3)

又木誠八郎 松本 洋幸

桜木町デパート根岸線高架下移転

案 百瀬 敏夫

アンケート集計結果より 川原 照美

開架資料紹介 『広報よこはま』 百瀬 敏夫

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41
TEL0463-33-5111 1977年創刊

www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/

◇38 2015.3 A4 72+36p

平塚市域の遺跡における最近1万

年間の地震履歴 森 慎一

市域における簡易的な光害調査方

法の構築 塚田健/天体観察会会員有志

2014年の流星観測 藤井 大地

2014年の太陽黒点 馬宏道/塚田健/藤井大地

平塚市内のセミのぬけがら調査
(2014年) 堀田佳之介

山梨県東部におけるアオマツムシ
の生息状況 西 教生

米軍のコロナネット作戦に対する第
53軍の本土防衛―二宮町におけ

る特殊地下壕Ⅲ 市原 誠

近世平塚周辺の石工と石材流通
―石工銘と石材による試論 早田 旅人

平塚市における石造物の造立年代
傾向 浜野 達也

日清戦争における戦没兵士遺族の
行動と心情 添田敬子・添田吉則

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169

年2000円
◇68 2015.2 B5 4p

研究例会 第95回例会 西村健

「東京空襲における人的被害拡
大要因の検討―「いのちの被災

地図」と証言記録の分析を中心
として―」、羽田博昭「空襲の

記録・日米の資料と体験記―横
浜を中心に―」、展示見学 す

みだ郷土資料館企画展示「東京
大空襲・七十年」/研究例会

第96回例会 創立20周年記念・
シンポジウム「首都と首都圏」
情報ネットワーク

展覧会情報

新刊案内 市川市史写真図録編

集委員会『市川市史 写真図

録 この街に生きる、暮らす』

松本 洋幸

展示案内 神奈川県歴史博物館

特別展「陸にあがった海軍」丹治 雄一

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方方 1980年復刊
shounankouko.jimbo.com

◇138 2015.1 B5 36p

ギリシアを旅して 伊藤 郭
藤沢の条里 岡本 孝之

心の考古学まで(9)
前方後円墳の起源を求めて(1) 古要 祐慶

さば神社を考える(25)
鉄をつくる(6) 西村堅一郎

藤沢市伊勢山辺発見の加工痕ある
礫について―藤沢市域における

旧石器時代研究前史 原信之/永山鶴一
藤沢市善然寺とその遺物 伊藤 郭

「上粕屋・石倉中遺跡」現地見学会
に参加して 矢部 智一

写真家土門拳氏と芹沢長介氏との
事 古要 祐慶

「発掘された日本列島2014」見学
記 高野 麗

かながわ考古学財団「平成26年度
発掘調査成果発表会」を聞いて

米 諄
寺田兼方会長の傘寿を祝う 澤田大多郎

13年藤沢市・隣接市町考古学関係
主要出版物一覧(補遺)

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60

青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇47 2015.3 A5 100p 500円
澤田秀三郎、紀州の南方熊楠を語る
矢野 倫子
続・ボクの映画館(1) 新・旧「オーシャン」とリメイク 平倉 正
金次郎による無利息貸付のはじまり 尾上 武
講演・丹沢周辺のオオカミと狼をめぐる習俗 杉山 博久
犬山城 岩村殿と養徳院 今川 徳子
禅文化展を参観して 井上 敬雄
まんかいのさくら 井上 敬雄
「木村民俗」管見(2)
日金山詣り 青木 良一
私は机竜之介である 茂木 光春

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇562 (47-10) 2015.1 A5 24p 350円
地蔵祭祀にみる地蔵像の彩色—青森県津軽地方と長崎県対馬市の事例から 近石 哲
民具短信
私のおしゃもじ考(9)—松尾芭蕉が“おくのほそ道”で詠った「月に輝くおしゃもじ様」4 加藤 節男
天保一二年・安政六年の紀年銘のある万石 羽毛田智幸
◇563 (47-11) 2015.2 A5 24p 350円
明治の農具絵図(9)—明治九年『山城丹波農具ノ図』 桂 眞幸
喜多方の農耕絵馬(続)—館稻荷神社明治40年奉納絵馬を中心に(3)

佐々木長生
◇564 (47-12) 2015.3 A5 24p 350円
奥能登の箕づくり—アエノコト・アテの木・人無し商いの箕 榎 美香
民具短信
「折返三重萬石麗」のチラシ 五十嵐 稔
書籍紹介
田辺悟著『民具学の歴史と方法』 鈴木 通大
高瀬助次郎著『百姓生活百年記』 佐野 賢治

第47巻総目次

◆大和市史研究

大和市役所文化スポーツ部文化振興課
市史・文化財担当
〒242-0001神奈川県大和市下鶴間1-1-1
TEL046-260-5336 1975年創刊

◇39 2015.1 A5 133p
大和市域を中心とした旧石器時代の変遷について—上草柳遺跡群大和配水池内遺跡の調査事例を基に 麻生 順司
旗本相給村落における知行と集落について 澤村 怜薫
日台交流秘話—勇敢に戦った台湾少年工に内地の人たちは優しくった 石川 公弘
講座 戦国時代の戦を生きる—深見城と村の城 藤木 久志

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇139 2015.2 A5 138p 680円
《特集 古辞書》
口絵解説 新訳華厳経音義私記 沖森 卓也

エッセイ やせ蛙 出久 達郎
古辞書とは 倉島 節尚
上代の辞書
—『新字』は存在したか 沖森 卓也
中古の辞書—倭名類聚抄 飯田 晴巳
中古の辞書—類聚名義抄 金子 彰
中古の辞書—色葉字類抄 山本 真吾
中世の辞書—下学集・和玉篇・聚分韻略・塵袋・塵添搥囊抄 中山 縁朗
近世の辞書—節用集 木村 一
近世の辞書—倭訓栞・雅言集覧・俚言集覧 木村 義之
コラム
名語記—鎌倉時代の奇書・珍書 中山 縁朗
見出し語の配列—一部首順・いろは順・五十音順 倉島 節尚
八幡宮紹介 海神神社—木坂の八幡さま(長崎県対馬市木坂)

中 部

◆鑑賞 新潟文化財鑑賞会
〒950-0852新潟市東区石山3-12-19
斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740
◇36 2015.2 A5 95p
東匠 石川雲蝶の生涯 高橋 郁丸
金工匠 無花果庵・櫛重一郎
一人・仕事・作品 さとうまさお
新潟市の民俗芸能 小田 節子
官軍に尽し天恩に報ず
—慶応四年・御用留より 中村 義隆
新潟高等女学校の誕生と柏倉一徳 杉山 節子
沼垂小学校校歴室資料 新潟市歴史文化課による目録作成について 伊藤 善隆
第7回越佐地方史談話会の報告 斎藤寿一郎
平成26年文化財鑑賞研修旅行につ

いて
長野県の文化財めぐり 小山 正春
長岡市・小千谷市の文化財を訪ねて 杉山 啓策
◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.bsnnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇394 2015.1 A5 95p
《創刊80周年記念特集》
巻頭言 『高志路』創刊80周年記念に寄せて—忘れられない先輩会員のこと 駒形 魁
親子十二にわたる会員として
父 修之助と民俗学 山本 修巳
『高志路』と共に歩んだ八〇年 平田 敬正
創刊八十周年の『高志路』と親子二代の会員 山崎 光子
『高志路』と品田定平 品田 高志
小林存と画人笠原勅 竹村城之助
小林存とその周辺
阿賀野市における小林存の足跡 岩野 笙子
遠藤武のアンギンに関する問題
提起とその意義 陳 玲
宮本常一の『高志路』寄稿と越後路の旅 鶴巻 武則
小林存翁歌碑建立除幕式の記 岩野 笙子
傘寿記念講演
海に漂う、民俗学という海に 佐藤 和彦
有志見学会報告
木津の棧俵神楽見聞記 近藤 忠造
◇395 2015.3 A5 42p
江戸深川の民俗芸能—越後共通、労働派生の競技、芸能 広井 忠男
「越後のアンギン」と「縄文の編布(アンギン)」—用語の整理か

ら見るアンギンをめぐる研究史
陳玲／宮尾亨

芭蕉と曾良、岩船を行く
芭蕉・曾良の越後入国経路考 鶴巻 武則
中村と蒲萄峠、そして城下村上
佐藤 和彦

続天敵に襲われ餌食と化している
異名一野兎の異名・特殊名(5) 天野 武

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇147 2015.1 A4 20p
良寛遺墨解説(105)
良寛筆「寒山詩」(個人蔵) 加藤 僖一
新 良寛尊像つれづれ(9) 続・銅
板打ち出し良寛像 無花果庵
櫛重一郎作 涌井 茂
折々の良寛(36)
円通寺を訪ねて 長谷川義明
平成27年度〔第38回〕全国良寛会
新潟大会(予告)
特集 全国良寛会新潟大会
見学地紹介
雪梁舎美術館「良寛と安田靱彦展」
良寛の法友 有願和尚の円通庵と
遺墨鑑賞会
大庄屋の威風残る重文・旧笹川家
住宅 良寛が生きた時代に再建
驚きと発見 新潟ふるさと村
新作品「国上」のあらすじと主役 齋藤 達也
秋の役員会開催される 加藤 僖一
「良寛の字は厳粛にして 邪道でも
ある」 秋艸道人、良寛を広く紹
介 吉井 清一
明和義人と良寛の時代 柳本 雄司
良寛 風雪のうた 素描 吉田 福恵

人生九十年に想うこと 中田 榮一
玉島から発信する良寛さま 虫明 徳二
『フランス語で聴く良寛逸話』 高原美智子
良寛の和歌—愛する人への想い 本間 明
良寛が「りょうかんさん」になっ
て 岩城 葉子
トピックス 新潟日報社所蔵品に
よる「ふるさとの作家たち」展
開催される 加藤 僖一
新刊紹介 柳本 雄司

◆高岡市万葉歴史館紀要
〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
高岡市民文化振興事業団
TEL0766-44-5511 1991年創刊
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/

◇25 2015.3 A5 95p
「共に潟に出で」 坂本 信幸
「紅」をめぐる臆見—「紅之深染之
衣」と「春苑紅尔保布桃花」 新谷 秀夫
大伴家持の「天平二十年正月歌」 井ノ口 史
展示余滴 第四高等学校教授鴻巣
盛廣の越中万葉研究 関 隆司
古代射水郡の官衙関連遺跡と墨書
土器 古代射水郡域出土の墨書
・刻書土器一覧表 大川原竜一

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊

◇299 (59-2) 2015.2 B5 64p
越前が大国になった理由 真柄 甚松
グリフィスの福井日記中の福井人
の同定について 沖 久也
越前禅宗草創期における豊原寺と
の接点—付 越前出身僧 古源
劬元について 池田 正男

元治二年(慶応元年)の橘曙覧と松
平春嶽 長野 栄俊

◆甲斐 山梨郷土研究会
〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場
1566 帝京大学山梨文化財研究所内
TEL055-263-6441 1961年創刊

◇135 2015.2 A5 65p 1000円
戦国期武田氏領での伊勢御師幸福
太夫 柴辻 俊六
甲府中学校の強行遠足とその時代
望月 詩史
古代甲斐国の中心地としての酒折
について 川崎 剛
甲州生まれの真言僧(1)—再び法
善寺教雅の流浪人生と邪教 太川 茂
資料館紹介 都留ミュージアム
森屋雅幸／知念浩生
事務局だより 史跡巡見報告 鈴木 利秋

◆郷土長坂 長坂町郷土研究会
〒408-0036山梨県北杜市長坂町中丸1996-2
北杜市郷土資料館内 TEL0551-32-6498
1977年創刊

◇11 2015.1 A5 122p
特別寄稿 北杜のホップ栽培と
「かいこがね」 植松 正江
郷土の恩人 富岡敬明 田中阿ぐり
地域の信仰 柿平愛宕さん 小尾 達朗
人神信仰 佐藤 勝廣
下日野の歴史・伝承 向井 照晃
「色幕帳」にみる五人組社会 松田 一也
次代へ引継ぐ郷土の歴史・西方寺
白倉 富弘
富岡開拓神社・神楽の面 藤森 民夫
昭和初期の少年の暮らし 清水 賢午
武田勝頼落去の道を訪ねて 内藤 和昌
正方眼蔵に会って、典座教訓よ

り 清水 伴正
幼き時代の四季の道 田中 浩
野山の食べ物と甲州弁 仲山 甲一
八ヶ岳南麓に住んで(雑感) 佐々木紀好
中央東線を走った蒸気機関車 西村 尚夫
臨地研修の記録 竹田 英雄

◆富士吉田市歴史民俗博物館研究紀要
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp

◇1 2015.3 A4 114p
創刊の辞 渡辺 公彦
富士山縁起 菊池 邦彦
富士山の信仰と「御鉢巡り」—正
福寺版「八葉九尊図」を中心に
奥脇 和男
如来寺の富士山登山案内絵図につ
いて 篠原 武



* 同館は1979年開館の富士吉田市郷土館を経て今日に至るが、2013年に富士山が世界文化遺産に登録されたことから、リニューアルし、本年4月、ふじさんミュージアム・富士吉田市歴史民俗博物館として再出発の運びとなった。
本紀要は、それを機に、これまで積み重ねてきた調査・研究成果をより広く公表することを目的に創刊されたものである。創刊の辞

で渡辺公彦館長は、世界文化遺産に登録されて富士山信仰が高い評価を得ることになったが、「一方で、変わりゆく御師町や吉田口登山道、そして富士講に代表される富士山信仰の伝統文化を次代に向けてどのように守り伝えていくのかという課題も浮き彫りになりつつあります。」と述べている。観光側面のみが注目されがちであるが、「文化」遺産であることの意味を伝えていくものとしての存在感を示して欲しいと願っている。

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7
Tel.0265-22-8118 1990年創刊
http://www.iida-museum.org
◇25 2015.3 A4 109p
資料紹介 綿五郎家コレクション
の原蓬山作品二点 榎村 洋介
近世における「善光寺如来絵伝」
の一形態—飯田市・光福寺本の
紹介を兼ねて 織田 顕行
調査報告 飯田・下伊那の煙火文
化と資料 囲いと打ち揚げ筒
中山京子/櫻井弘人
『宗徧流生花大意卷』の翻刻—市
岡家の伝えた宗徧流花道の書 西脇 藍
上川路廃寺と伊那郡衙考 市澤 英利

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
Tel.0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
◇74 2015.2 A4 4p
平成26年度文化庁文化芸術振興費
補助金（文化遺産を活かした地
域活性化事業）伊那谷の人形
芝居
資料紹介—福沢洋治家文書 千葉 拓真
報告 ワークショップ「交差する

日本近世史」を開催しました
報告「伊那谷の自然と文化」学
びあい講座 橋北まるごと博物
館めぐり

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
Tel.0265-22-6017 年5500円
◇1040 (63-1) 2015.1 A5 50p 550円
《民俗特集》
口絵 明治生まれの女性の野良着 橋都 正
思い出の天龍河原 大原千和喜
大東亜戦争下・国民学校時代あれ
これ 神村 透
伊豆木村小笠原長巨が南伊豆木を
失った話 久保田安正
忘れられた民具は語る 松上 清志
—「サネクリ」を通して
史蹟を尋ねて緑の旗は行く 岡田 正彦
神仏・神秘歴史ロマン 今牧 久
九州日豊風土記の旅 岡田 正彦
石造文化財の宝庫—豊後
「荒城の月」・岡城跡 久保田昭彦
史跡巡礼九州風土記の旅(俳句) 高見澤英治
「心の小径」と車窓の楽しみ 寺田 一雄
下伊那日録(2009年4月～10月) 寺田 一雄
◇1041 (63-2) 2015.2 A5 50p 550円
口絵 夏目歌之介 生誕125年 橋都 正
三河民権家国事犯事件と発覚地の
飯田地方(5の1) 北原 明文
「深見の池」と地域の人々の暮らし (1) 松澤 英男
市田柿を育て広めた先駆者たち 手塚 勝昭
神原村向方の事いろいろ 伊藤 尚和
ルポ「飯田線の踏切」第1回

城下町の歴史伝える踏切名 佐古 新一
◇1042 (63-3) 2015.3 A5 50p 550円
口絵 『雪岫和尚語録』萬松山龍
嶽寺所蔵(下條村鎮西) 原 董
徳本上人と真宗・飯田巡錫(上) 下原 恒男
伊那自由大学と下伊那の青年たち (2) 清水 迪夫
『下伊那郡経済更生座談会記録』を
読む 青木 隆幸
茂春ところどころ(3) 桃澤 匡行
函館の美術展覧会 松澤 英男
「深見の池」と地域の人々の暮らし (2)
第60回 年次大会/第456回 郷土
巡礼

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7
Tel.0265-78-1269 年5000円
◇696 (59-1) 2015.1 A5 48p 500円
《井月特集号》
講演「放浪の系譜を継ぐもの—惟
然・井月・山頭火・放哉—」 石 寒太
第23回信州伊那井月俳句大会 入
選句集より
井月詠新発見句
—美篤井月会50周年の成果 矢島 太郎
井月句碑を巡る 嶋田白蓮坊
江戸に出た兄弟が商人として成功
した記録(2) 松澤 努
日本の子育て(15) 人生設計 大槻 武治
文化短信 伊那谷唯一の銭湯 矢澤 静二
上伊那教育会郷土研究部発表会
会長退任のご挨拶 伊藤 一夫
◇697 (59-2) 2015.2 A5 40p 500円
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
伊那市創造館の活動を通して見え
た南アルプスジオパークの魅力

濱 慎一
重要文化財「熱田神社本殿」見学
記 三浦 孝美
「上伊那郷土研究交流の集い」に
参加して 丸田 晃
「上伊那郷土研究交流の集い」に
参加して 松村 正明
引地(ひきじ)の「ことはじめの念
仏」 中崎 隆生
思い出の人・思い出の事(18) 正
岡子規の妹 律から礼状をもら
った俳人 知久星斗 桃澤 匡行
短歌 破袋大黒柱鬼の首(6) 野溝 直人
伊那谷の亜高山の鳥
—民俗の窓を通して(22) 吉田 保晴
日本の子育て(16) なぜ? 大槻 武治
古文書の窓(120) 庚申塔建て替え
についての定め 清水 満
考古あれこれ(27)
縄文中期の焼畑農耕を考える 田中 清文
高山の植物(27) キバナシヤクナ
ゲ 南アルプスで見かけた植物
(14) 田中 茂
◇698 (59-3) 2015.3 A5 40p 500円
宮澤賢治の心友である詩人「縁石」
の辰野における創作について 小林 辰興
わらべ歌に使われている音につい
て 竹淵 修二
神社総代一年の仕事
—箕輪南宮神社の場合 山本 勝
思い出の人・思い出の事(19) 参
道の確認調査で発見された西岸
寺梵鐘鑄造遺跡 桃澤 匡行
日本の子育て(17) ふるさと 大槻 武治
文化短信 春まつり ひな祭り 赤羽 義洋
古文書の窓(121)
「御射山社碑」碑陰文 松澤英太郎
高山の植物(28) タカネナデシコ

南アルプスで見かけた植物(15) 田中 茂

◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhome/blogspot.jp

◇100 2015.3 B5 16p
《第100号記念号
特集 伊那谷民俗の課題と展望》
表紙 「宮人入り」の舞い初め／
向方のお潔め祭り「花のやうと
めの舞」 櫻井 弘人
民俗学—その責務の一端 野本 寛一
所報『伊那民俗』と紀要『伊那民
俗研究』 福田アジオ
これからの民俗学と伊那民俗学研
究所への期待 福澤 昭司
地域の今日的課題と民俗学 高橋 寛治
地域で民俗学がなすべきこと
—記録することの大切さ 櫻井 弘人
伊那谷から「野の学」の発信を 松上 清志
民俗学入門講座第Ⅲ期 民俗学を
築いた人びと 第2回～4回講演
要旨 第2回 岩崎清美—伊那谷
民俗学の草分け(橋都正会員)、
第3回 向山雅重—くらしを聞き
取る(寺田一雄会員)、第4回 水
野都辻生—下層の人々への思い
(松上清志会員) 今井 啓

◆市誌研究ながの 長野市公文書館
〒380-0801長野県長野市箱清水1-3-8
長野市城山分室内 総務部庶務課
TEL026-232-8050 1994年創刊
◇22 2015.3 A4 158p

平成26年度長野市公文書講演 真
田家文書の特徴について—埴科
郡東条村相沢家文書を手掛かり
として 原田 和彦
中世善光寺如来堂の東向に関する
試論 宮下 秀樹
佐久間象山の漢詩(7) 佐久間方三
「曹洞宗長野尼僧学林」小史 宮澤 政太
傷痍軍人長野療養所(現国立病院
機構東長野病院)の終戦までの
あゆみと終戦間際の県内の軍閥
係病院の動き 北條 昭吾
長野市公文書館における電子文書
の受入れとデジタルアーカイブ
ズへの道のり 松島 耕二
資料目録と解説—平成26年度移管
「長野市役所文書」 関 秀延
昭和16年(1941)長野市北東部を襲
った長沼地震 山上 茂司
長野市西部地区の池沼と湧泉の水
質とプランクトンⅢ 落合 照雄
表紙解説 「松代天王祭絵巻」
長野市 真田宝物館 山中さゆり
口絵写真解説
富岡製糸場と伝習工女
和田(横田)英 高木 寛
長野市吉田町に設置された
曹洞宗 長野尼僧学林 宮澤 政太
長野市芋井のドウロクジン・セ
イノカミ 小森 明里
長野市西部地区の池沼と湧泉の
水質とプランクトンⅢ 落合 照雄

◆信濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp
◇780 (67-1) 2015.1 A5 78p 1000円

《民俗学特集号》
祭礼的なる場における歴史表象と
偉人表象—山梨県下の祭礼・イ
ベントにおける状況を中心に 及川 祥平
森林資源をめぐる共有と分配 大楽 和正
戦後青年団の解体過程に関する一
考察—徳島県牟岐町西浦地区の
青年団を事例として 関口 知誠
筑摩郡にみる富豪層の活動 桐原 健
刻印のある「常の無尽灯」 大谷 典久
書誌紹介 塩原佳典著『名望家と
〈開化〉の時代』 小林 茂喜
◇781 (67-2) 2015.2 A5 78p 1000円
昭和四年「原始文化展覧会」の開
催と意義—茅野市・中ノ原遺跡
の初出と八ヶ岳山麓縄文研究の
大きな契機 三上 徹也
朝朝の善光寺参詣伝承を検証する
石川 勝義
明治後期の大字集落における産土
社の祭典費の推移について—長
野県安曇野市真々部諏訪神社を
中心に 黒崎八洲次良
剥片石器の製作工程における「巖
山モデル」の一考察—山形県酒
田市飛鳥・巖山遺跡出土土石鏃の
観察を通して 杉原 範美
11月例会報告 シンポジウム
基礎的自治体の文書館の現状と
課題 市川 包雄
◇782 (67-3) 2015.3 A5 84p 1000円
長野県多頭形橋場型石斧(多頭
石斧) 岡本 孝之
戦国期「境目」における人質の役
割 大貫 茂紀
上田禁酒会と旧上田藩士たち 小林 敏志
史料紹介 信州北内田村『津軽様
御金荷盗賊一件』と『弘前藩庁

日記』 荒井 裕晶
資料紹介 竹内武信の規矩術と和
算 関係資料と年譜 小林 博隆

◆辰野町資料 辰野町文化財保護審議会
〒399-0427長野県上伊那郡辰野町中央1
辰野町教育委員会事務局 文化係内
TEL0266-41-1681 1951年創刊
◇111・112 2015.3 B5 519p
《辰野町誌編纂文書史料目録》
幕府領小野村関係文書
高遠領上伊那郷関係文書

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊
◇157 2015.2 A5 54p
《特集号 千曲川流域の風穴について》
千曲川流域の風穴 阿部 勇
上田周辺の風穴
上田地球を楽しむ会 塚原 吉政
榜陽地区の風穴 桂木 恵
千曲市森地区の風穴 牧 忠男
報告 全国風穴小屋サミットに参
加して 牧 忠男
連載講座
古文書解読講座 第148回 斎藤 洋一
地区だより 更埴地区 牧 忠男

◆通信上田盆地 上田民俗研究会
〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47
上田市立図書館内 TEL0268-22-5999
◇38 2015.3 B5 4p
最古の蘇民将来符の一考察 倉澤 正幸

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7

TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇299 2015.2 A5 48p 700円
 新刊 長野郷土史研究会テキスト
 ブック『絵解きで伝える善光寺
 参り一千年前から千年先へ』
 小林一郎・小林玲子著
 平成26年度長野県神城断層地震の
 記録
 長野県神城断層地震の体験
 武井久美子／東澤加代子／小林竜太郎
 幕末から明治に活躍した宮大工
 山崎儀作(山崎儀作)の系譜 草間 律
 山崎儀作、武田常蔵、北村喜代松
 の接点—蚊里田八幡宮拝殿 草間 律
 長野はなぜ「日本—古い映画館」
 がある町になったのか 小林竜太郎
 長野松竹相生座・長野ロキシーが
 上映した映画(2014年4月5日～6
 月13日)
 郷土史の視界(7)
 弥生の前の立て膝 小林 一郎
 長野と全国各地の繋がり(7) 北
 陸新幹線開通で期待される長野
 と富山の絵解き文化の交流 小林 玲子
 生きた町の歴史を知ろう(7)
 善光寺御開帳 質問と答え 小林竜太郎
 「善光寺参り絵解き図」
 銀座 NAGANO で絵解き 小林 玲子
 御開帳中の「善光寺参りの絵解き」

◆長野県民俗の会通信
 〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
 2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
 年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
 ◇246 2015.3 B5 10p
 女性と養蚕(上) 倉石あつ子
 名号塔に見る松本市域における徳

本上人の足跡(3) 木下 守

◆松本市史研究 松本市文書館紀要
 松本市総務部行政管理課松本市文書館
 〒390-1242長野県松本市和田1058-2
 TEL026-347-0040 1999年創刊
 ◇25 2015.3 B5 143p
 江戸時代の村の住まいとその空間
 構造 田中 薫
 松本城天守閣から撮影された明治
 古写真について 丸山 哲治
 旧陸軍松本飛行場の証言を追って
 —銃後の市民生活と飛行場周辺
 の戦中・戦後を掘り起こす 川村 修
 松本の礎を築いた人たち 小松 芳郎
 松本市文書館収蔵史料目録

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
 〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
 年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
 ◇123 2015.3 B5 28p
 長良川鉄道終点北濃駅に保存展示
 された転車台 高橋伊佐夫
 岐阜市歴史博物館と学校との連携
 春日井恵子
 郷土(岐阜)歴史小説—白眉の三絶
 高井 泉
 下呂市金山町内の地名由来 土屋 一
 明治・大正期の岐阜県の養兔 中尾喜代美
 宝暦治水低効果・虚像論への反論
 序説 丸山幸太郎
 書窓の風
 岐阜 岐阜城信長居館跡A地区
 の庭園遺構 内堀 信雄
 加茂 『おばあちゃんちのおか
 って』 みのかも文化の森・

伝承料理の会出版活動 可児 光生
 東濃 瑞浪陶磁資料館と『研究
 紀要』 桃井 勝
 郷土関係新刊書目録(108)
 郷土関係逐次刊行物文献目録(107)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
 民俗文化研究所
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532
 TEL0538-32-3546 2007年創刊 年2000円
www.4tokai.or.jp/child-c.j/
 ◇92 2015.1 A4 4p 300円
 知恩院の試し撞きと秀吉の豊国神
 社 吉川 祐子
 静岡で開催
 菊池玉さんの遠野がたり
 ◇93 2015.2 A4 4p 300円
 春はやっぱり万歳だ! 吉川 祐子
 ◇94 2015.3 A4 4p 300円
 子供クラブが担う道祖神行事—山
 梨県甲州市塩山のドンヤッセ 高橋 健一

◆静岡県近代史研究会会報
 〒422-8529静岡市駿河区大谷836
 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
 年4000円
 ◇436 2015.1 B5 4p 100円
 1月例会レジュメ フィリピン映
 画にみる近代植民地主義 岡田 泰平
 書籍紹介 浜松藩と沼津藩の二人
 のシゲル 樋口 雄彦
 公文書管理と情報公開についての
 小考察—「公文書管理法5年見
 直しについての合同研究集会」
 への参加を踏まえて 川上 努
 ◇437 2015.2 B5 4p 100円
 2月例会レジュメ
 「航空軍都浜松の成立と変遷」を

執筆して 村瀬 隆彦
 伊豆における国会開設請願署名
 運動—南豆を中心として 高橋 廣明
 書籍紹介 足立洋一郎著『愛盲—
 小杉あさと静岡県の盲教育』 川上 努
 ◇438 2015.3 B5 4p 100円
 3月例会レジュメ
 都市の原発反対運動—1970～80
 年代の『反原発仙台の会』を
 めぐって 上野 裕也
 危機における言説と談話闘争—
 欧米経済危機の言説を中心に 清水 習

◆静岡県民俗学会会報
 〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
 ◇154 2015.1 A4 4p
 平成27年 年頭のご挨拶 中山 正典
 第1回例会報告 富士山見学会 大嶋 善孝
 静岡の民俗語彙・方言短信 ヒネ
 /カシクル、カシル/サガシイ
 外立ますみ

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会
 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
 篠原旭方 TEL054-286-8659
 ◇142 2015.2 B5 16p
 第106回研究会 雨宮清子女史の
 「力石・ちからいし—明治の力
 持ち神田川徳蔵を中心にその歴
 史をたどる—」の概要/須山忠
 治氏の「出雲について」の概要
 /佐藤吉男氏の「墓石の文字と
 紋—烏八白を中心に」の概要
 第107回研究会 鶴藤満夫氏の「水
 見色村の話」の概要/大川誠一
 氏の「玄界灘の[玄]の真実」

の概要／鈴木康弘氏の「東学農民戦争と日本軍」の概要

◆富士市立博物館だより

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
TEL0545-21-3380
http://museum.city.fuji.shizuoka.jp

◇号外 2015.2 A3 2p

《富士市立博物館NEWS(号外)》

富士市立博物館がリニューアル!

富士山とかぐや姫新目玉にオープン
は来年初夏の見通し

博物館の今昔

お待たせしました! 木ノ内義昭

富士市立博物館 30年の歩みとこ

れから展／ほんの少しですが、
お見せします! 富士市立博物館
リニューアルの全貌

◆愛知県史研究

愛知県総務部法務文書課県史編さん室

〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2

愛知県自治センター 8階 TEL052-972-9171
1996年創刊

http://www.pref.aichi.jp/kenshi/

◇19 2015.3 A4 184p

明治・大正期の愛知県における貯

蓄銀行の展開と再編—貯蓄銀行

条例から貯蓄銀行法へ 早川 大介

尾張国所在寺院の開創時期につい

て 伊藤 真昭

信長在世期の御次秀勝をめぐって

尾下 成敏

知多郡亀崎村梶川権左衛門の肴問

屋営業とその展開—梶川家文書

の紹介を兼ねて 松田 憲治

尾張藩「正保の四ツ概」について

伊藤 孝治

資(史)料紹介

炭焼平28号墳出土の製塩土器 森田 亮子

「拾山人名録」 岸野 俊彦

名古屋俘虜収容所「独逸人北海

道移住ニ関スル趣意書」一九

一九九年 西 秀成

杉浦明平が敗戦前後に記した日

記(下) 三田村博史

愛知の初期社会主義者

鈴木楯夫 伊藤 英一

東栄町小林地区花太夫所蔵の近

世陰陽師資料について 松山由布子

『三州宝飯郡古宿村松鷲山龍源

教院花井禅寺由来』小林吉光・野澤則幸

調査報告 尾州材木株式会社史

料について 曲田 浩和

特別企画 インタビュー 私の研

究者人生—新行紀一氏に聞く 中世史部会

愛知県史を語る会抄録 「こころ

の原点」にふれる—愛知の仏

像・円空仏・仮面類: 県史調

査の成果から

県内仏像調査の成果と愛知県史

の刊行 伊藤 史朗

愛知県の円空仏—『荒子観音寺』

を中心として 小島 梯次

尾張・三河の仮面類 田邊三郎助

近刊市町村史誌紹介 『新修豊田

市史』、『小牧の神社 資料編』、

稲沢市史資料第四十八編『長福

寺文書II』

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中区熱田区神宮1-1-1

TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇245 2015.1 A5 33p

熱田雑集一

太田 正弘

創祀千九百年記念造営事業の回顧

小久保雅広

教化だより(静岡巡回講座) ヤマ

トタケルノミコトと熱田神宮

日本武尊の筆のあと

中澤 伸弘

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155

名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇223 (69-2) 2015.2 A4 128p 1500円

桶狭間合戦の実態

太田 輝夫

桶狭間合戦考証(4)

尾畑 太三

熱田社と桶狭間合戦伝承

辻村 全弘

犬山城主織田信清の活躍と終焉

横山 住雄

『朝林』にみる貞享・元禄期の献上

儀礼

福田 花子

大森寺領について—大森寺覚書(3)

小林 元

図絵に見る尾張の街道風景(15)

櫻井 芳昭

細野要斎のみた野々垣源兵衛家と

その周辺

松井 雅文

名古屋城本丸御殿復元第二期棟札

について

仙石 聖子

会員著作紹介 柳田國男賞受賞

蒲池勢至氏『真宗民俗史論』

津田 豊彦

見学会報告「せとものまぢ・瀬

戸を訪ねて」

名古屋郷土文化会事務局

◆新城市設楽原歴史資料館・

新城市長篠城址史跡保存館研究紀要

新城市設楽原歴史資料館

〒411-1305愛知県新城市竹広字信玄原552

新城市長篠城址史跡保存館

〒411-1634愛知県新城市長篠字市場22-1

◇19 2015.3 A5 63p

長篠・設楽原報告

戦国の礎 届けたかった無念・

奪われた「あした」

小林 芳春

『長篠日記』写本群の立ち位置

—江戸期に成立した写本を中

心にして

丸山 俊治

戦国の奥三河を俯瞰する

湯浅 大司

『信玄堤』と『菅沼家譜』との

関係における一考察 岩山 欣司

新城市設楽原歴史資料館年報

新城市長篠城址史跡保存館年報

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒285-0831千葉県佐倉市染井野5-67-15

宇田川武久方 年10000円 1968年創刊

◇380 2015.2 A4 69p 1000円

幕末壬生藩における西洋砲術覚書

—その受容と実態、そしてテク

ノクラート友平榮

中野 正人

中国における元明清火砲研究文献

の整理と紹介

鄭 巍巍

銃器・弾薬類の発達

磯村 照明

文久二年 米澤藩鉄砲用黒色火薬

の成分分析について 瀧上昭治／峯田元治

焰硝甕について—火薬製造と収納

小西 雅徳

◆新修名古屋市史だより

新修名古屋市史編さん事務局

〒461-0011名古屋市中区白壁1-3

名古屋市政資料館 TEL052-953-0051

1992年創刊

◇33 2015.3 A4 16p *終刊

《最終号》

新修名古屋市史全21巻の刊行が完

了しました

新修名古屋市史刊行完了にあつ

て

河村たかし

〈第30回「新修名古屋市史を語る集い」から〉

基調報告

塩澤 君夫

各編集委員報告

考古部会 加藤 安信
 近世第一部会 林 董一
 近世第二部会 吉永 昭
 近代部会 笠井 雅直
 現代部会 松尾 博雄
 自然部会 海津 正倫
 民俗部会 津田 豊彦

新修名古屋市史刊行完了記念式から
 「新修名古屋市史刊行完了記念式」
 あいさつ 河村たかし
 公文書等の公開について 「公文書」の公開、「行政資料」の公開、「市史資料」の公開



*1991年度から開始された『新修名古屋市史』編さん事業が、2014年3月に全21巻の刊行をもって完了したことから、本誌も終刊となった。最終号は、第300回「新修名古屋市史を語る集い」と、「新修名古屋市史刊行完了記念式」の様子を伝える。

市史編さん過程で収集された資料は、市政資料館に保存され、整理のついたものから順次公開利用に供されている。2015年度からは、本誌を引き継ぐ形で、年刊の「名古屋市政資料館だより」(仮称)が予定されている。資料の保存と利用、機関誌の刊行など、自治体史編纂事業終了後の体制を評価したい。

◆**豊田市史研究** 豊田市
 〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
 豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
 TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇6 2015.3 A4 186p
 南北朝期の中条氏について 松島 周一
 稲武地域における学区制の確立 吉川 卓治
 人為の変化と生物相 林 進
 気候変動に伴う豊田市の暑さの現状と課題 大和田道雄
 豊田市川原遺跡出土打製石鏃について—西三河地域における弥生時代打製石鏃の様相 川添 和暁
 近世の在家・出家と朝廷文書の所持 斎藤 夏来
 有畜農家創設事業とその展開—1950年代後半の東加茂郡足助町を事例に 高木 秀和
 郷上遺跡の再検討—掘立柱建物跡の復元を中心に 鈴木 正貴
 資料紹介 半ノ木遺跡群とその縄文時代遺物 川合 剛

◆**まつり通信** まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円

◇575 (55-1) 2015.1 B5 8p 600円
 新刊紹介 海女、海神に願う 志摩半島の海女祭—祈り、魔除け海の博物館編集
 えびす信仰の世界(2)—漂着神・鯛にまつわる民存文化を中心に 大森 恵子
 南伊勢町の浅間祭 関根 健夫
 いざなぎ流舞神楽見学記 鷺野 正昭
 表紙写真のことは 鬼夜 福岡県久留米市大善寺 1月7日夜 渡辺 良正
 民俗芸能情報 神への舞 南川神楽(宮崎県諸塚村)来演

◇576 (55-2) 2015.3 B5 8p 600円
 新刊紹介 岡山民俗 第235号
 岡山民俗学会
 群馬・浜川獅子舞 石川 博司
 えびす信仰の世界(2)—鯛とえびすにまつわる民存文化を中心に 大森 恵子
 新国指定・登録・選択の民俗文化財—平成27年1月16日文化審議会答申/民俗芸能情報
 表紙写真のことは 日高日防祭 奥州市水沢区 渡辺 良正

◆**もりやま** 守山郷土史研究会
 〒463-0075名古屋守山区市場15-12
 道木正信方 TEL052-791-2304
 年3000円 1982年創刊

◇34 2015.1 B5 208p
 尾張国守山城に関する考察 楠 昌明
 小幡ヶ原名古屋飛行学校(3) 伊東 重光
 守山区の高射砲陣地—空中写真に見る守山の現代史 加藤 智啓
 続 山田郡彷徨 徳田百合子
 “イタ”事始め 西尾 春子
 資料紹介

小幡村御觸留(26)—明治八年御用留(2) 守山古文書の会
 下志段味村加藤公生家文書(4)完 道木 正信
 守山郷土史研究会の歩み(34) 守山郷土史研究会
 変貌する瀬戸線(6) 荒川 康彦

◆**皇學館史学** 皇學館大学史学会
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 皇學館大学文学部国史学科研究室
 TEL0596-22-6456 1986年創刊
 kokushi.kogakkan-u.ac.jp

◇30 2015.3 A5 80p
 上野秀治教授ご退任にあたって 岡野 友彦
 上野秀治教授略歴及び研究業績
 大正期の度会郡公報に関するノート 谷口 裕信
 16世紀の宗教と武家社会について—立花道雪による見解
 クリストファー・メイヨー

◆**三重県史研究**
 三重県環境生活部文化振興課県史編さん班
 〒514-0006三重県津市広明町13
 TEL059-224-2057 1985年創刊

◇30 2015.3 A5 76p
 戦国期織田政権の津湊支配について 柴辻 俊六
 聆涛閣集古帖の編成と古鏡、瓦経 小玉 道明
 資料紹介 歴史資料として重要な公文書の引継ぎと選別・移管に関する諸規定 県史編さん班事務局
 『三重県史研究』(第21~30号)目次

近 畿

◆**湖国と文化** (財)滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生会館 TEL077-522-8369 年2520円
 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp

◇150 (39-1) 2015.1 B5 92p 584円
 《創刊150号記念》
 特集 坂のある町
 総論 坂の町の魅力を考える 大石 義一
 第一章
 ケース1 坂の町・坂本
 ケース2 木之本地蔵坂かいわい
 ケース3 東寺道(湖西市) 障害者らと歩んできた「福祉ゾーン」の坂
 第二章 一度は訪れたい坂

第三章 坂と町
 中世の伊吹山中腹に栄える山
 寺のまち弥高寺 高橋 順之
 大津祭のハレの舞台になった
 30m道路 大津の中央大通
 り 小川 正
 インタビュー・湖と生きる 150
 号記念 文化とスポーツの10年
 で滋賀の文化力を推進する 滋
 賀県知事 三日月大造さん 植田 耕司
 鳥の目巡遊(2) 探検の殿堂と伊
 吹薬草の里文化センター 延木由起子
 元気な商店街その魅力(7) 菱屋
 町商店街、長等商店街、丸屋町
 商店街、浜大津商店街、京町未
 来園、八丁商店街、中央銀座商
 店街、大津駅前商店街(大津市)
 町田 雅子
 天下人「信長」の実像(5)
 信長と宗教 高木 敏子
 現代滋賀ブランド(15)
 湖北の観音さん 辻村琴美/辻村耕司
 滋賀文化事情
 Chapter1 魅力ある近江の祭り 木村 至宏
 Chapter2 芸術の秋・文化の秋
 近江の水をめぐる(9)
 山の水、祈りの水 石川 亮
 おもしろ近江考古学(2)
 銅剣鑄型(高島市上御殿遺跡) 松浦 俊和
 北から南から
 湖北につがいのコウノトリ飛来
 眞壁 四郎
 心身ともに癒される中山道の歌
 声カフェ 奥野寿美子
 粟津晴嵐の松を絶やさないうため
 に署名活動 井上 賢三
 小中の湖で一家総出の稲わら巻
 ロール作り 長井 泰彦

長崎を見守ってきた一本柱鳥居
 赤尾 和美
 ニュースの小箱
 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
 (15) 日野・馬見岡錦向神社・
 錦向山 加藤 賢治
 歴史文書は語る 県政史料室から
 (14) 鉄道路線構想 水島 詩乃
 シリーズ ふるさと遊彩(4)
 冬の湖北 田中陽一郎
 三角点の山と私(3)
 強者共の興亡を見守ってきた
 七尾山 大橋 俊一
 360度の大パノラマが楽しめる
 蛇谷ヶ峰 小林 守

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100 1988年創刊
 www.hikone-castle-museum.jp
 ◇108 2015.3 A4 4p
 資料紹介 弁柄塗桐紋散靴大小
 拵 江戸時代 当館蔵 古幡 昇子
 6月1日再オープン! 展示案内
 テーマ展 6/1~7/7 展示室1
 大坂の陣四〇〇年 彦根藩士た
 ちの大坂夏の陣/特集展示
 6/1~7/7 展示室2 彦根藩井
 伊家歴代の甲冑
 小連載 表御殿のみどころ(3)
 庭園 松浦 智博
 研究余録 金亀玉鶴 宿場におけ
 る彦根藩の「馳走」 松浦 智博

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
 sigaminzoku.fc2web.com

◇616 2015.1 B5 12p 400円
 舟と鼠と倭(3) 長谷川博美
 京攝の「奇縁水人石」について(2)
 一天保13年以前の史料 関 啓司
 近江中世石造美術石材ノート
 閃緑岩製石造美術(1) 兼康 保明
 庶民(近江)の生活と民俗(11)
 一びわ湖の鴨料理と鴨猟(1) 菅沼晃次郎
 「ぼかん」について 大喜多紀明
 倍返し神社について 柏測 宏昭
 一岐阜県犬山城下町
 「てんずき」で雪開け 西浦 左門
 一南丹市美山町
 人類の歴史は戦うことだけではな
 いーお互いに助け合って天寿を
 全うしよう 菅沼晃次郎
 ◇617 2015.2 B5 12p 400円
 米惣水一滋賀県彦根市 兼康 保明
 近江中世石造美術石材ノート 閃
 緑岩製石造美術(2)一いわゆる
 和泉砂岩製 兼康 保明
 庶民(近江)の生活と民俗(12)
 一びわ湖の鴨料理と鴨猟(2) 菅沼晃次郎
 スズメバチについて 柏測 宏昭
 杖について 柏測 宏昭
 「掛け金」「まるかん(丸環)」につ
 いて 柏測 宏昭
 ◇618 2015.3 B5 12p 400円
 異郷訪問譚と状況対応 リーダー
 シップ理論の構造的共通点一成
 長物語の観点から 大喜多紀明
 近江中世石造美術石材ノート(2)
 花崗岩製石造美術 兼康 保明
 庶民(近江)の生活と民俗(13)
 一山田漁師の蓑巻網漁(前) 菅沼晃次郎
 中山道 鳥居本宿名物の「西瓜糖」
 について 柏測 宏昭
 瓜切りについて 柏測 宏昭

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会
 〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
 松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
 TEL075-241-4312 1999年創刊
 http://city.kyoto.jp/somu/rekishi/
 ◇48 2015.1 A4 8p
 戦後不況と都市計画事業のゆらぎ
 一京都市の事例 1922年の事業
 延期論と運動 伊藤 之雄
 ◇49 2015.3 A4 8p *終刊
 《最終号》
 市政史編さん事業と市政史の特色
 伊藤 之雄
 京都市の財政のあゆみ 伊多波良雄
 編さん事業開始までの覚えから 山添 敏文
 自治体の歴史書を作ること 井上 満郎
 市政史編さんと近現代資料の調査
 ・研究 秋元 せき



*1999年の創刊以来、編さん事業に関わる情
 報交換、市政史執筆に向けての調査・研究の
 最新成果を発表する場として、年3回刊行し
 てきたが、市政史の完成に伴って49号をもっ
 て終刊となった。本誌に掲載された論考は87
 点に上るといふ。総目次と33号以降の記事は
 京都市情報館のホームページで見ることがで
 きる。

京都市政史編さん事業は1999年度に開始され、16年の歳月を要して、「市政の形成」「市政の展開」「財政のあゆみ 市政史年表」「資料 市政の形成」「資料 市政の展開」の全5巻を刊行した。自治体史とは別に市政史を編さんすること自体が珍しいが、京都市は戦前に『京都市政史』上・下巻を刊行した実績をもっている。井上満郎歴史資料館長は、「市政が『歴史』として描かれているところに大きな特徴がある。発信者としての京都市当局、受け手としてのその時々の市民、その両者の交流・交渉によって市政ははじめて成立する。その相互の有機関係があますところなく叙述されていて、生きた市政史になっている」と述べる。この事業の成果が、市民本位の行政を実現する基盤となることを願っている。

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊
www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/

◇79 2015.3 A5 80p 1500円

《白崎昭一郎氏追悼号》

巻頭言 横田健一の学問 上遠野浩一

白崎昭一郎先生追悼特集

白崎昭一郎先生の思い出 半沢 英一

追悼の言葉

ご冥福をお祈りします 直木孝次郎

白崎さんのこと 山尾 幸久

白崎昭一郎先生の研究姿勢 荊木 美行

ご冥福をお祈りします 尾関 章

『古代日本海文化』発刊ありがとう

とう 坂田 隆

白崎昭一郎先生を偲んで 下司 和男

古代史研究発展の功労者

白崎昭一郎氏逝く 堀口 清視

まさに至言！ 寺坂 国之

追悼の言葉 竹本 義昭

白崎先生追悼 衣斐 義之

白崎昭一郎先生 細田 燦子

白崎先生の編集後記が励みでした

た 河越 尚司

多才な人・白崎昭一郎 中村 修

白崎昭一郎著作目録（古代史関係）

会員ひろば（小休止）

「上宮記一伝」継体系譜の真偽 渡部 正路

アンデス通信(32) 市木 尚利

書評 直木孝次郎『日本古代史

と応神天皇』 西川 寿勝

会員の著作 寺坂国之『よみが

える古代』—短里・長里問題の

解決 寺坂 国之

続・諸賢の「尾張氏」論に問う 尾関 章

百済観音の飛鳥時代(2) 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊

◇851 (85-1) 2015.1 A5 36p 916円

石工の庭—史跡小田原城跡御用米

曲輪で検出された遺構をめぐつ

て 尼崎 博正

百萬塔論攷 経巻孔と舍利孔 岡 成寛

「木百年妻深井氏墓」と石工「中

雲慶」について(下) 嘉津山 清

第1000回例会 記念例会として大

徳寺の塔頭狐蓬庵ほか訪ねる 東 暲

新刊紹介 一石有響 駒澤深道 丸山 貞

◇852 (85-2) 2015.2 A5 34p 916円

元明天皇御陵碑と濱田杏堂 村上 泰昭

日本の塔百選(31) 耕三寺五重塔

中西 亨

狩野常信筆「明皇花陣図巻」に

ついて(上) 寺本 健三

第1001回例会 神戸市北区の山間
の里に育まれた文化財 八田 洋子
2014年度(秋期)「石造美術勉強会」
報告(2) 品角阿止美

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636

年3000円 2002年創刊

www.geocities.jp/Kyotochime/

◇49 2015.3 A4 8p

第39回地名フォーラム報告 退任

記念講演 浦島太郎のふるさと

(吉田金彦)／発表1 秋山郷 平

家落人伝説と地名—その構造を

さぐる(明川忠夫)／発表2 大

路・小路から通りへ(清水弘)

地名随想

定家の山荘名

—「小倉山・嵐山」考補遺 糸井 通浩

七条朱雀の月読社、西七条の月

読町、月読橋 梅谷 繁樹

連載 寺の名の付いた町名(10)

革堂町 清水 弘

随想 高齢者の多い丹後半島に活

性を期待する「夢」 小牧誠一郎

京都地名研究会 第14回総会・講

演会案内 講演1 信仰地名の応

用—民族神ダイジョコと大將軍

(金田久璋)／講演2 日本および

東アジアの禹王遺跡と地名(植

村善博)

第3回京都地名ウォーク

開催される 大野 克二

◆立命館平和研究

立命館大学国際平和ミュージアム紀要

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1

TEL075-465-8151 2000年創刊

www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/

◇16 2015.3 A4 89p

「人貴キカ、物貴キカ」—防空法制

から診る戦前の国家と社会 水島 朝穂

「大東亜共栄圏」と鉄鋼業 長島 修

沖繩—中国—日本との関係を考え

る 劉成／池尾靖志

書評 内海愛子・大沼保昭・田中

宏・加藤陽子『戦後責任—アジ

アのまなざしに込めて』 土野 瑞穂

立命館高等学校 Super Global

High School(SGH)の目指すも

の 立命館高等学校 SGH 推進機構

べ平連運動の時代から現在へ

大野光明／関谷滋

第8回国際平和博物館会議報告

「2010年代の立命館大学国際平

和ミュージアムの活動—大学立

の平和博物館としての役割—」兼清 順子

立命館大学国際平和ミュージアム

貸出教材キット・パネル運用報

告(2012~2014年度) 岸本菜穂美

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1

TEL075-465-8151 1993年創刊

www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/

◇64 22-3 2015.3 A4 20p

スポット ミュージアムの所蔵品

(61)『宝塚少女歌劇四月月組

公演』(パンフレット)

巻頭つれづれ「非力」でも「無

力」ではないという確信 安斎 育郎

館長だより「積極的平和の原点」

を辿れば 平和と民主主義にお

いて感性に訴える展示と理性に

基づく平和研究の融合の意義

ここが見どころ

「生きた記憶」の連続性 加國 尚志
運営委員リレー連載 改めて見つ
められた平和教育への思い 赤沢 真世
ミュージアムおすすめの一冊 広
瀬直子著『1分間英語で京都を
案内する』 白井 豊
ミニ企画展 開催報告(2014年10
月~2015年1月)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇325 2015.1 B5 12p

2014年夏の研修旅行(2) 勝矢 寛雄
近世前期の土地「越ス」作業(6)
一和泉国佐野村の場合 井田 寿邦
昭和初めの佐野漁業(2)

話者：小谷定雄 北山 理
たそがれの泉州弁(4) 中野 恒一

◇326 2015.2 B5 12p

熊野大道の湯屋と湯屋坊 堀内 和明
昭和初めの佐野漁業(3) 北山 理
和泉の中世城郭(34) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(5) 中野 恒一

◇327 2015.3 B5 12p

九条政基は「薙髪」したか 廣田 浩治
昭和初めの佐野漁業(4) 北山 理
2014年夏の研修旅行(3)

その3、津山 勝矢 寛雄
和泉の中世城郭(35) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(6) 中野 恒一

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081

年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇365 (32-1) 2015.1 B5 8p
年頭のご挨拶をかねて 片倉 穰

平成26年12月例会報告(第340回)
「大坂の陣400年史話」—阿波藩
人撰い史料について 渡辺武氏 (寺井)

特別寄稿 「阿豆流為 母禮之碑」
建碑二〇周年記念法要を実施
(前) 松坂 定徳

◇366 (32-2) 2015.2 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(9)

「福助」 井川 光正
平成27年1月例会報告(第341回)

「勝海舟の父、小吉の岡野知行
地 撰津御願塚村の大芝居」益
尾宏之氏 (小池)

特別寄稿 「阿豆流為 母禮之碑」
建碑二〇周年記念法要を実施
(中) 松坂 定徳

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇72 2015.2 A5 101p
大塩中斎の書幅 藪田 貫

大塩平八郎の乱—その主観的意図
と歴史的意義 有光 友學

大塩事件に対処した大坂城代土井
利位と戊午の密勅降下に関わっ
た同土屋寅直 菅 良樹

大塩平八郎建議書の謎に迫る 井上 宏
大塩ゆかりの地を訪ねて(2) 宮
脇志摩が官司を務めた泉殿宮を
訪ねる 内田 正雄

田結庄千里のこと 久保 在久
大塩家ゆかりの地、脇町で生まれ
て 二木 実

長谷川先生との思い出 内田正雄/藪田貫
洗心洞通信(60)

◆かいづか文化財だより テンブス

貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇55 2015.2 A4 8p
陶芸家 中野梧月と昭和の水間焼
文化財防火デー消防訓練を行いました

市内の古文書調査から 沢町会共
有文書・八品神社八人衆共有文
書

古文書講座—市内にのこる身近な
古文書 「江戸時代の家普請」
/古文書講座46(通算217回~

221回) 開催のお知らせ テー
マ「岸和田藩の御触書」

平成26年度の埋蔵文化財調査 堤
三宅遺跡の調査/千石堀城跡の
調査/丸山古墳の埴輪を復元

先生も学びを深めています「誇れ
る貝塚」講座/第104回かいづ
か歴史文化セミナー「春の町家
の雛めぐり」

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/
◇51 2015.1 B5 8p

2015年に思う 馬原 浩一
家系研究協議会 平成26年度 秋

の例会報告 「趣味の家系調査
から見えてきたこと」—古代日
本の軌跡としてみた家系調査

富田茂氏
家研協たより 見学会報告 黒田
官兵衛のゆかりの地を巡る
図書出版案内/受贈図書・資料

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇782 2015.1 A4 8p 300円

近鉄南大阪線の歴史をたどって 石田 成年
稲淵と栢森の綱掛け行事 武藤 康弘

◇783 2015.2 A4 10p 300円

名古屋周辺の縄文時代貝塚 松田 真一
東播州の木造洋館—内藤克雄設計
の建築と多木浜洋館 川島 智生

◇784 2015.3 A4 10p 300円

洛西の仏像(2) 関根 俊一
皇大神宮別宮・瀧原宮と熊野への
道 岡田 登

◆堺研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
TEL072-244-3833

◇37 2015.3 A5 124p 650円

表紙解説 駿河屋引札
堺市立中央図書館所蔵

与謝野晶子の生育—堺時代の家庭
環境および社会(地域)環境から
平子 恭子

清学院(寺子屋清光堂)の自筆往来
物について—幕末・維新时期の
庶民教育に関する新史料 和田 充弘

史料紹介 和泉国大島郡土師村関
係の史料について(続)
岡田光代/大久保雅央
当館蔵享保十三年『堺手鑑』の原

本と付図の発見について一たつ
の市立龍野歴史文化資料館蔵
堺奉行浅野長恒史料より 矢内 一磨

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2-10-11
佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
◇147 2015.1 B5 10p
総会後の民俗談話
花と暮らし、民話の謎解き等 下谷 佐吉
番水時計(葛城古道)一灌溉 大森 治
松茸狩り 川村 淳二
正月の飾り「ゆずり葉」 山崎 琢磨
大学教師あれこれ(2)
目立ちたがり 生駒 道弘
「昭和」の時代を生きて一特攻隊
で生き残った友のこと 森井 淳吉
幼い頃の思い出 尾崎 恒夫
例会報告
9月例会報告
河内松原の古道を散策する 加藤 孜子
10月例会報告 熊野古道を歩く
Ⅸ(湯浅～紀伊内原) 佐原 浩二
例会参加者の感想 熊野古道(湯
浅～紀伊内原)を歩く 来道 綱夫
堺民俗学会の今後について 佐原 浩二

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇553 2015.1 B5 22p
平成26年度の例会(概要報告)／2
月・第616回例会のご案内／3
月・第617回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・資
料／城郭ニュース
12月・第614回例会の報告 近江

田屋城、井ノ口館、大溝城(番
外) 中西 徹
会員通信 再訪備中松山城と念願
の大松山城へ 水品 弘樹
新聞記事紹介
◇554 2015.2 B5 24p
備前 天神山城跡を探訪します(3
月・第617回例会のご案内)／4
月・第617回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・資
料／城郭ニュース
1月・第615回例会(総会・講演会)
の報告
会員通信
阿弥陀寺の木像は、美濃国守三
代・斎藤龍興像でした(お詫
びと訂正) 栢木 隆
『図解 近畿の城郭Ⅱ』が近く刊
行されます 平川 大輔
大坂城における、池田備中守長
幸の刻印の拓本 多賀 左門
新聞記事紹介
◇555 2015.3 B5 22p
美濃 松尾山城跡を探訪します(4
月・第618回例会のご案内)／5
月・第619回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・
資料／城郭ニュース
2月・第616回例会の報告
国史跡 和泉 土丸・雨山城 川端 義憲
会員通信
思いがけず沖繩グスク探訪 水品 弘樹
大坂城における 池田備中守長
幸の刻印の拓本(承前) 多賀 左門
新聞記事紹介
◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208

小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇324 2015.1 B5 20p
考古学からみた継体朝前後の葛城
とヤマト政権 藤田 和尊
向日丘陵の古墳と竹の径を訪ねる
石塚 一郎
◇325 2015.2 B5 16p
考古学からみた五世紀の三島とヤ
マト王権一「三島大溝」の開削
と富田台地の開発 森田 克行
読書室 『記紀皇統譜の基礎的研
究』 荊木美行 汲古書院
◇326 2015.3 B5 22p
小山田遺跡についての二、三の憶
測一覽書として 塚口 義信
長岡天満宮初詣と恵解山古墳周辺
の史跡を訪ねる 引田 英治

◆枚方市史年報

枚方市教育委員会文化財課市史資料室
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154
1996年創刊
◇17 2015.3 B5 42p
史料紹介
「旅籠屋并商人宿煮売屋名前書
上帳」 片山 正彦
津田村役人日記「見聞日記録」
一文政六年・文政八年・文政
十一年 稲吉 昭彦

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊
◇70 2014.12 B5 134p
《創刊70号記念特別号》

歴史考古学研究会会誌『歴史考古
学』70号記念号発刊を迎えて 奥村 隆彦
『歴史考古学』70号記念誌発刊に
よせて 尼崎 博正
『歴史考古学』誌第70号発刊を祝
して 大石 一久
庵室から山寺へ
一福島県棚倉町流廃寺の場合 時枝 務
続大阪の一石五輪塔考 奥村 隆彦
東国の初期五輪塔 磯部 淳一
『風姿花伝』と「秦河勝五輪塔」の
刻銘 松永 修輔
奉籠孔を持つ木製卒塔婆 狭川 真一
石風呂の古遺品 嘉津山 清
島根県大田南八幡宮の六十六部資
料の再検討(1) 鳥谷 芳雄
清澄寺石幢と六十六部廻国聖 早川 正司
日本庭園の年代観 尼崎 博正
大阪府下最古の石造桁橋
一龍泉寺弁財天社参道橋 多田 準二
檀国大学校石宙善記念博物館所蔵
の梵字資料 高 正龍
韓国の貼相袈裟に記された梵字 小林 和美
斑鳩法輪寺三重塔の相輪史料 小山 正文
歴史考古学研究所大阪支部の思い
出(巻頭の口絵写真を見て) 奥村 隆彦
建水分神社本殿の細部様式とその
年代 東野 良平
◆あわじ 淡路地方史研究会
〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8
TEL0799-24-1512 年6000円 1984年創刊
◇32 2015.1 B5 99p
淡路島の塩田氏の城郭について 定本 義広
猪出没に伴う入会山・野山の対処
について一幕末安乎古宮村の事
例 北山 學
大和朝廷の品部と淡路 武田 信一

廣田一族、阿波岡崎家と遊歴算家
たち 大江 恒雄
法師学者 安問了願 堀部るみ子
湖底に消えた諸国巡礼一宝暦5年
の西国巡礼遭難について 五島 清弘
私の昭和(3) 生田 静子
春の研修報告 小野市方面 堀部るみ子
秋の研修報告 かやぶきの里美山
と常照皇寺を訪ねる 武田 信一

◆こうべ空襲だより

中田政子方
◇14 2015.3 A4 8p
平成26年度 神戸市文化活動功労
賞受賞/刻銘追加式/第44回空
襲・戦災を記録する会全国連絡
会議 神戸大会/訃報 今井鎮
雄氏・陳舜臣氏

◆神戸史談 神戸史談会

〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348
年3000円 1926年創刊
◇312 2015.1 A5 112p
《創立110周年記念特集号》
年頭のあいさつ 神田兵右衛門と
嘉納治五郎 付・神田兵右衛門
宛の嘉納治五郎自筆の書状 加藤 隆久
和神田神社境内の神田兵右衛門(胤
保)の彰徳碑について一創立一
一〇周年を祝して一會誌神戸史
談復刻論文 神田 三郎
神田兵右衛門彰徳碑の案内板を作
成・和田武司氏の逝去を悼む 松本 丞治
神戸史談会10年間の足跡
神戸史談会会誌第296号以降の総
目録
「神戸学」歴史検定問題

第四回～第七回 前田 章賀
外国人居留地の道路照明と自治運
営一長崎・横浜・神戸のガス燈 西川 和機
わが県の幕末・明治の英傑
大鳥圭介の生涯(年代記) 辻 正彦
砂鉄と「務古の海」
一海人族と日神 どいかずこ
源平盛衰の時代を生き抜いてきた
公卿 中山忠親の“つぶやき” 吉原 康雄
新年例会 開港場神戸と三田藩・
福沢諭吉 奥村 弘
3月例会 兵庫津と神戸村三村の
住民名簿作成から発見されたこ
と 前田 章賀
4月例会 黒田官兵衛ゆかりの地
を訪ねるバス探訪 辻 正彦
5月例会 一遍上人について 長嶋 尚道
6月例会 寺社建築&鳥居
生活様式の変貌と住家 井上 勇

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980 1981年創刊
homepage2.nifty.com/fukae-museum/
◇43 2015.3 B5 20p
神戸市文化活動功労賞受賞と受賞
祝賀会 道谷 卓
8万人目は東灘小学校
深江の井戸と人々の暮らしの調査
深江 塾
深江物語(5) 昭和20～30年代の
深江浜を歩く(3) 森口 健一
県立歴史博物館と史料館一災害と
歴史遺産展協力を通じて 大国 正美
ひょうごミュージアムフェア二〇
一四 有吉 康徳
トライやるウィークと史料館一本

庄中学校の生徒を受け入れて 樋口 元巳
史料館刊行物に関する図書情報の
整備 高田 祐一
史料館の情報発信の動向
一 web サイトアクセス状況 高田 祐一

◆撮影歴史研究 撮影歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇66 2015.3 B5 4p
祭事の変遷過程を見る 曾根 文省

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇562 2015.1 B5 8p
1月行事 西宮神社境内 百太夫
神社祭参列と白鹿酒造記念博物
館見学
撤去放棄されたか? 極楽橋の柱石

藤田卯三郎
浜脇小学校『雄大碑』アラカルト
山本實氏大いに語る 西宮文化
講演会(スケッチ&コメント) 江崎健一郎
「西宮」保存箱、玉手箱(13)
一情報公開課資料より 豊田 みか
香櫨園今昔物語(1) 村岡 和繁
平成27年1月～3月 美術館・博物
館等展示の御紹介
◇563 2015.2 B5 8p
2月行事 文化講演会「神武神話
の信と疑を考える」平井良朋氏
イギリスの旅 オックスフォード
・ロンドンの旅3 牧野 好男
柳田國男生家見学バスツアー風景
(スケッチ&コメント) 江崎健一郎
秋の見学会に参加して 赤司 久明
「西宮」保存箱、玉手箱(14)

一情報公開課資料より 豊田 みか
香櫨園今昔物語(2) 村岡 和繁
◇564 2015.3 B5 8p
3月行事 春の見学会
古野電気株式会社本社見学
イギリスの旅 オックスフォード
・ロンドンの旅4 牧野 好男
「西宮」保存箱、玉手箱(15)
一情報公開課資料より 豊田 みか
香櫨園今昔物語(3) 村岡 和繁
西宮史談会 西宮文化協会 略史
平成26年度 会報総目次

◆年報 香寺町の歴史 香寺町史研究室

〒679-2131兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1
TEL079-280-6665
◇9 2015.3 B5 46p
香寺町の井堰
一解題『慣行水利届出書控綴』大概 守
第3回フォーラム
フォーラム「大字誌をつくる」
講演 地域の歴史調べとマップ
づくり 大村 敬通
報告
『ふるさと土師』を編集して 小原 康彦
大字史「中屋」の編集につい
て 中安 清行
コメント 地域で地域を書く
「大字誌」 高田 知和
歴史研究会報告
奥須加院の巡検を終えて 上月 義弘
研修旅行の実施一堺市を訪ねて
駒田 新安
香寺歴史研究会事業報告
展示 行重 なつかしの写真&資
料展 神崎 茂樹
レポート
須加院の防災工事 中塚 琢三

中村葉師堂と官兵衛 沼田 勝博
第13回歴史文化をめぐる地域連携
協議会に参加して 神崎 茂樹
連携協議会参加記 尾崎 恭子
大字誌をひろめる
一町史研究室事業報告
文献紹介 『八徳山八葉寺文書集』
同文書編集委員会編 八葉寺発
行・『村翁夜話集』同刊行会編・
発行 (大概)

◆ゆずるは 御影史学研究会
〒658-0046神戸市東灘区御影本町4-10-11
田中久夫方 TEL078-811-8507
◇192 2015.1 B5 6p
出版祝賀会へのお祝いの言葉 泉森 皎
御影史学研究会第四十六回年会兼
田中久夫著作集五冊出版祝への
ご挨拶 田中 久夫
御影史学研究会年会参加記 俵谷 和子
火曜会情報/月例会情報

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇308 (54-1) 2015.2 A5 48p 600円
《特集 空襲を語り続ける》
口絵写真 焼夷弾レポートで示さ
れた神戸の焼夷区画の例
空襲・戦災を記録する会全国連絡
会議第四回神戸大会一創る、
伝える 辻川 敦
空襲体験とは何か 人見佐知子
一九四五年二月四日の神戸空襲 工藤 洋三
わが神職累代の記(6) 父のこと
(1) 少年のかなしみ一出自・
貧乏・病気 上村 武男

神戸・阪神歴史講座 第12回 荒
木村重の戦いと尼崎城・花熊城
地域史卒論報告会のお知らせ
歴史資料ネットワーク設立20周年
記念 全国史料ネット研究交流
集会
地名研究や一般原稿を募集します
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事/平成26年度会計報告
表紙のことば みなと異人館 藤田 年男

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇128 2015.1 B5 76p
風土記のオオナムチ神話 橋本 雅之
三輪山セミナー講演録
三輪山と出雲 梶山 林継
三輪山セミナーイン東京講演録
椿は王の木 藤原 茂樹
神戸から見た古代の大神神社 佐々田 悠
奈良県神道青年会「青垣奉仕団」
第10回皇居勤労奉仕に参加して
大月 智

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www.l.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇17 2015.3 A5 70p 1000円
水平社博物館『研究紀要』第17号
発刊にあたって 川口 正志
全国水平社創立前後の商業新聞地
方版・地方紙の部落問題報道に
ついて 米田 哲夫
『全国水平社創立宣言』と関係資
料の世界記憶遺産登録申請を
めざして 守安 敏司

◆奈良学研究 奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇17 2015.2 A5 137p
神樹と植栽 赤田 光男
幕末大和国における特産物の調査
について—「大和国奈良町・在
方産物類其外共一ヶ年売出高取
調書付」の紹介 谷山 正道
解脫房貞慶の影響下の造像に関す
る拾穂三題—峰定寺釈迦像・福
智院地藏像・興福寺菩提院旧在
釈迦像 杉崎 貴英
御薪儀札と隼人 鷲森 浩幸
史料紹介 文久二年春日社神鏡落
御始末(3) 岡本 彰夫
公開講座記録

◆奈良県立同和問題関係史料センター
研究紀要
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488 1994年創刊
◇19 2015.3 A5 71p
奈良県編『教育参考資料』の概要
とその背景 井岡 康時
中世奈良の「河原者地」考察 山村 雅史
その後の北山十八間戸 奥本 武裕
史料紹介 『基督教新聞』に見え
る「大和廃娼会」の活動 片山 周二

◆Regional
奈良県立同和問題関係史料センター
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488 2006年創刊
◇15 2015.1 A5 32p
もう一つの『古事記』 辻本 正教
聞き取り余話—被差別部落で天理

教教祖の面影を想う 池田 士郎
嘉永元年の「小児角力」—地域史
のなかの子ども像を考えるため
に 井岡 康時

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇195 2015.1 B5 2p
熊野三山歴史講座/国際熊野学会
熊野例会/熊野川シンポジウム
/『楽学ブックス 熊野三山』/
『熊野草子』
◇196 2015.3 B5 2p
聖護院門跡の名宝/徐福講演会
/『南紀・史的雑筆』/『災害と
地名』/『修験道小事典』

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇67 2015.3 A5 82p
奉公衆湯河氏の本拠の景観
—小松原館周辺の空間構造 新谷 和之
今高制の知行取米(上) 廣本 満
城下町和歌山と国学
—一本居宣長と和歌山の人々 寺西 貞弘
紀州の御庭焼(4) 中村 貞史
隧道が語る森田庄兵衛の新和歌浦
開発事業 武内 雅人
史料紹介 三浦家文書にみる養珠
院関連の書状について 山下奈津子

中国・四国

◆郷土石見
〒697-0034鳥根県浜田市相生町2139-15

児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
 ◇97 2015.1 A5 160p 1200円
 《創立40周年記念号》
 表紙写真 J R三江線宇都井駅で
 開催されるライトアップイベ
 ン ト(邑智郡邑南町宇都井) 三上 直樹
 特報 佐毘売山神社から語る石見
 銀山発見前史(上) 長尾 英明
 「江の川」の舟運(前) 森脇 登
 中世の石見国波根郷について(中)
 池田 誠一
 佐渡島へ渡った石見の漁師たち
 (3)一それは四百年も昔 村上 英明
 浜田漁港の乾魚屋の無駄ばなし
 一魚にまつわる父のエッセイ 中川 平介
 地方記者奮闘記「古里とともに」
 (3) 小川 重文
 戦時疎開の思い出一名水(アルカ
 リ天然水)で復活した金城町と
 のご縁 吉田 豊明
 町から村から
 川越地区の「芋殿さん頌徳碑」
 一わが町の碑 中村 征雄
 石見の博物館を訪ねて(2) 森脇 晋平
 過ぐるにはやき、人の世を…。
 (歳月不待人) 闇田金次郎
 資料 島根県邑智郡邑南町矢上・
 清水屋本田植歌集・補遺(7) 田中 瑩一
 『郷土石見』総目次(ジャンル別)
 「郷土石見文化賞」年度別受賞者
 一覧
 「郷土石見」年次大会開催地記録
 平成26年度石見郷土研究懇話会
 美郷大会報告

◆宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
 光珍寺内 TEL086-222-2028

年2000円 2002年創刊
 ◇53 2015.1 A4 10p
 宇喜多直家の運 柴田 一
 関ヶ原の宇喜多勢は「兒」の旗印
 ではなかった(1) 小川 博毅
 船山城跡の追遠碑と井上通泰 矢吹 壽年
 物語直家記伝 西大寺辺の城
 第24回 自立(1) 山重十五郎
 会員サロン 岡山県立博物館「戦
 国大名宇喜多氏と長宗我部氏」
 展 編集 子

◆岡山藩研究 岡山藩研究会
 〒169-0051東京都新宿区西早稲田
 早稲田大学文学部 紙屋研究室内
 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwaseda/
 ◇75 2015.2 B5 10p
 〈第39回全体会の記録〉 2014.12.6
 報告要旨 幕末期將軍の畿内滞在
 と大坂の変容—政治・外交儀礼
 と幕府機構 篠崎 佑太
 参加記
 参加記 山本 英貴
 篠崎佑太氏のご報告を聞いて 堀 智博

◆きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813岡山市北区石関町2-1
 TEL086-233-2505
 ◇136 2015.1 A5 14p
 表紙解説 岸田劉生『ギヤマンの
 ある静物』 廣瀬 就久
 年頭にあって 波田 善夫
 随想 寮生活で学んだこと 森本 将弘
 岡山の人物 那須与一 首藤ゆきえ
 岡山の自然 親子の情景—丹頂の
 雛を迎えて 西中 章徳
 岡山の文化財 美作市立美作歴史
 資料館(旧妹尾銀行林野支店) 池田 和雄

わが町・わが村の自慢
 宝珠庵(瀬戸内市牛窓町)
 ふるさとの思い出 柳原白蓮の
 「備前焼陶板歌碑」(備前市伊部
 姑耶山)
 会員日より
 撮影ボランティアとして 笠原 始

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課
 〒710-1398岡山市倉敷市真備町箭田1141-1
 総務課歴史資料整備室
 TEL086-698-8151 1991年創刊
 www.city.kurashiki.okayama.jp
 ◇25 2015.3 A5 138p
 渾大防益三郎と漂流民音吉の動静
 一野崎武吉郎との連携による二
 世帰国作戦 太田 健一
 明治初期倉敷地域の民間信仰・習
 俗取締をめぐる一様相について
 一林孚一関連史料に見る「淫祠
 邪教」・修験の取締を中心に 笹田 健一
 明治末における犬養毅の選挙地盤
 一第一一回総選挙をとおして 久野 洋
 犬養毅と難波清人、安原太郎
 一犬養毅の支持基盤を探る 前田 昌義
 ノート
 近世倉敷と郡大工 間壁 忠彦
 倉敷市域における武術流派戸田
 流の系譜とその特徴 足立 賢二
 聞き書き倉敷の歴史 記者の目か
 ら見た経済成長期の倉敷市と高
 橋勇雄市長 吉澤 利忠
 史料紹介 林孚一の履歴と功績に
 ついて—林家の新出の史料の分
 析を通して 土岐 隆信
 史料群紹介 倉敷市所蔵備中国浅
 口郡乙島村守屋家文書 山本 太郎
 アラカルト 板倉勝静の持参金 小野 敏也

展示会記録 平成26年度資料展示
 会 倉敷ゆかりの人々の手紙
 報告 平成25年度歴史資料講座/
 平成26年度古文書解説講座
 新刊紹介 倉敷市編著『倉敷市蔵
 蒲田泣菫宛書簡集 作家編』、
 『川田甕江資料集 四』、大森久
 雄『倉敷伝建地区の歩み』、『倉
 敷・総社今昔写真集』

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
 大学大学院文学研究科日本史学研究室内
 TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
 ◇292 2015.2 A5 48p 600円
 安芸国の国司神拝 渡邊 誠
 動向
 福山市瀬戸町の損壊「木造阿弥
 陀如来坐像」(県重文)の現
 状
 「旧広大理工学部一号館の保存
 活用についての要望」の提出
 について
 広島県の地方史研究
 新聞記事から(2011年1月~6月)
 伊予史談会交流報告 石田 雅春
 芸備掲示板
 阿弥陀さん保存修理に応援を!
 「阿弥陀さん(県重文)保
 存修理」実行委員会
 早春の展示「学校所蔵の文化財」
 ふくやま草戸千軒ミュージアム
 (広島県立歴史博物館)
 特別展「廣島缶詰物語」 広島市郷土資料館
 史跡をあるく 旧丸山商店事務所
 渡邊 誠

◇293・294 2015.2 A5 140p 1200円
 《広島県地方史研究文献目録V》

解説 平下 義記
 総記 市町村史／文化財／宗教／
 展示図録／広島県・中国地方・
 瀬戸内海／資料／その他
 考古
 古代・中世
 近現代 政治／社会・経済／教
 育・学校沿革史／人物史・伝記
 ／団体沿革史／写真集・その他

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 bingohistory.net
 ◇182 2015.2 A4 26p
 『備後古城記』を読む(2)
 山城守護代名倉泰家 田口 義之
 城下町建設前の福山平野海岸線の
 推定 瀬良 泰三
 中世石造物の調査報告
 備後史 100Photo
 P2 明王院火渡り
 山手銀山城測量調査報告
 カンタン 山城鳥瞰図 その5
 相方城を描く(2) 山岡 佑佳
 備後史談
 榎木峠(3) 宝暦の一揆 根岸 尚克
 大分便り 吉良家花岳寺十三世招
 菴師逝く 後藤 匡史
 郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
 (9) 仁井川沿いを歩く 種本 実
 例会談義 4月バス例会「備北紀
 行」に寄せて・その4 稲葉 泰造
 例会報告 初めての裏方 大場 和弘
 読者便り 会報181号の記事から
 「祖母が見た戦争」と「藪路三
 軒家」について 岡田宏一郎
 山城レポート
 越前山城 続・瓜生城跡 末森 清司

図書紹介 山田方谷の藩政改革と
 弟子たちについて 岡田宏一郎
 近世・近代史部会便り 「近世福山
 を読む」第22回～第23回要旨 高木 康彦
 総会報告 平成27年度総会

◆広島土史研究会会報
 〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
 広まちづくりセンター内 TEL0823-71-0706
 1998年創刊
 ◇123 2015.1 A4 18p
 平清盛の開削伝説が残る音戸瀬戸
 上河内良平
 万葉集に見る天平8年(736)遣新羅
 使の瀬戸内海航海録一特に呉市
 周辺の航路音戸瀬戸について 大村 一郎
 藤田家文書 第F J章(7)
 広島土史研究会古文書部会
 古文書部会の報告／例会の主な感
 想／例会報告
 ◇124 2015.3 A4 34p
 表紙 明治17年潮害
 広村荒地略絵図 上河内良平
 広村資料紹介 資料が語る明治18
 年前後の広村 小栗 康治
 藤田家文書 第F J章(8)
 広島土史研究会古文書部会
 台湾の元少年工「台湾高座會」旧
 第十一海軍航空廠(呉市広町)を
 慰霊訪問 上河内良平
 広島土史研究会 平成27年度 例
 会企画(案)
 古文書部会の報告／例会の主な感
 想／例会報告

◆広島民俗 広島民俗学会
 〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
 岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊

fs-hiroshima.net
 ◇83 2015.3 A5 104p 700円
 平成26年度総会・研究会 シンポ
 ジウム「中国山地の里山を考
 える」
 基調講演
 幕末奥出雲のたたら製鉄 相良 英輔
 パネリスト
 奥出雲のたたら製鉄と文化的
 景観 高尾 昭浩
 神楽と里山 三村 泰臣
 民具の保存と活用 原田 隆雄
 コーディネーター 岡崎環
 広島県指定無形民俗文化財「井永
 の弓神楽」 田中 律子
 手草祭文(井永八幡神社 田中宮
 司家蔵) 尾多賀晴悟
 神々に会おう弓神楽 岡崎 環
 『中国風土記』と『風土記日本』
 一宮本常一の調査ノート、写真、
 日記から読む 正本眞理子
 中学時代の恩師 石川 律子
 原田三代治先生を偲ぶ 三村 泰臣
 恩師原田先生の思い出 住貞 義量
 原田三代治先生のこと 岡崎 環

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
 福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
 ◇286 2015.1 B5 12p 100円
 今月の各地 新年のご挨拶 上田 嘉信
 H26年度総会記念 網本善光先生
 講演「三原の古墳時代をさぐる」
 (要旨6) 鈴木 健次
 三原(旧)一周藤栗毛に参加して
 (第四コース) 奥野 敏子
 三原(旧)一周藤栗毛に参加して
 (その一 第五コース) 桧山 幸三

とくじゅまる物語3
 「まるたの もと すえ」 下西 勝彦
 ◇287 2015.2 B5 12p 100円
 今月の各地
 伝統文化と文化財保護 宮原 幸司
 H26年度総会記念 網本善光先生
 講演「三原の古墳時代をさぐる」
 (要旨 完結編) 鈴木 健次
 三原(旧)一周藤栗毛に参加して
 (その2 第七コース) 桧山 幸三
 若丸山城の謎(1) 大谷 和弘
 とくじゅまる物語5 「からかさ・
 れんぱんの、こころ」 下西 勝彦
 ◇288 2015.3 B5 12p 100円
 今月の各地
 「お大師さん」「お地藏さん」 西村 雅幸
 春のハイキング「佛通寺方面の散
 策」のご案内 大谷 和弘
 広島県三原市磨崖和霊石地藏(1)
 一小早川茂遠と念心 福井 万千
 黒田官兵衛と三原 上田 茂
 とくじゅまる物語6
 「竹は弓 笹は矢に」 下西 勝彦

◆徳島県立博物館ニュース
 〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1990年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇98 2015.3 A4 8p
 鬼面文鬼瓦(吉野川市大目寺跡出
 土 平安時代) 岡本 治代
 Culture Club 南ドイツのジュラ
 紀の化石産地 辻野 泰之
 平成27年度企画展 瓦から見る古
 代の阿波一寺院と役所
 館蔵品紹介 狩野典信筆 袖折枝
 図粉本 1枚 大橋 俊雄

新着資料紹介

中川健氏の徳島県産昆虫標本 山田 量崇
Q & A 徳島にも厚い火山灰層が
あると聞いたのですが、いつ、
どこから降ってきたのですか？
中尾 賢一

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇376 2015.1 A5 53p 750円
《特集 近世—近代の松山》
加藤嘉明の石垣構築技術 楠 寛輝
『坊っちゃん』の時代の松山—「森
次太郎日記」を素材として 井上 淳
近代松山における道路整備の展開
と背景 岡本 訓明
書評 『松山城下図屏風の世界』 西村 直人
新刊紹介 編集部
郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)
例会記事 第1192回～第1194回
コラム 加藤嘉明の名前の変遷に
ついて (井上)

◆小松史談 小松史談会

〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲
3007-1 西条市立小松温芳図書館郷土資料
室 TEL0898-72-5634
◇141 2015.1 A5 125p
発掘された小松の歴史と東アジア
柴田 昌児
黒田官兵衛を訪ねて 伊藤 敏昭
保内町の近代化遺産を歩く 事務局
〈篤山遺稿〉の漢詩を読む(3)
温芳漢文学習会
妙雲寺・大儀寺の先師と横峰寺と
の関係について 越智 恒善
寛政5年の吉田藩、小松藩の農民

騒動の明暗から学ぶもの 吉田
藩の家老は農民の面前で何故切
腹しなければならなかったか 加藤 康明
大正・昭和期における農民運動と
新宮部落 玉井 公一
千足山の葬送習俗 渡邊 裕二
「青野原新田」の開拓について 松木 守一
西園寺と河野の伊予支配 竹内 真人
綱付山の昔と今(登頂の記録) 渡部 正継
与八・おさだ 心中未遂一件
古文書シリーズ(8) 石丸 敏信
コラム
『小松邑志』の成立について 友澤 明
故伊藤隆志氏を偲んで 石丸 敏信
小松史談会表彰のお知らせ 事務局
平成26年度会務報告 事務局

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより

〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26
TEL088-873-0406 2000年創刊
www10.ocn.ne.jp/~yamauchi/
◇45 2015.1 A4 10p
三福神 河田小龍画・賛 明治21
年(1888) 縦134、横66.7cm 尾本 師子
県立高知城歴史博物館 渡部 淳
特設展紹介 「山内家のひな道具」
尾本 師子
事業報告 寄贈・寄託資料の紹介
高橋家資料、武政家資料、田村
家資料、森氏旧蔵資料 田井東浩平
特設展関連行事報告 「わき出づ
る歴史—長帳の世界—」関連行
事 特別講座「日本の大家家資
料」、工作講座「紙を綴る—和
綴じ帳づくり」 富井 優
御道具根居をよむ(6) 「カエサル
のものはカエサルに」 尾本 師子
新 研究の手引 土佐藩の藩札や

私札を調べるには 古賀 康士
整理と保存(45)
文化財の輸送と梱包 田井東浩平
古文書への招待 藩主のお正月
土佐史の人々
寺村左膳道成(1834~96) 藤田 雅子
古文書基礎知識 起請文 片岡 剛
土佐の〇 地域とともに 連携と
協力、博物館の事業展開の可能
性—企画課の活動から見えてき
たもの 横山 和弘
お世話になった人々
—宮コミュニティの皆さん 筒井 聡史
山内資料館のホームページ・プロ
グ 村崎加奈子
まなびのひろば 中屋 真理
受付だより アンケートに見る様
々なご意見 大平 悦子
路傍の歴史 安政南海地震の玉垣
仁井田神社 高知市仁井田 富井 優

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇181 2015.2 B5 61p
表紙説明
未・十二支土鈴によせて 松下 政司
お龍さん雑録(4)
西村松兵衛と結婚 岩崎 義郎
三十二番・禅師峰寺(俳句) 溝渕 匠史
羊神社と秦地区の愛宕神社 広谷喜十郎
江戸幕藩体制を考える 笹原 保晴
所感雑感 都市計画と思想(『高知
新聞』より) 吉沢文治郎
楠瀬大枝の周辺「十津川」 和田 豊子
秦・史跡めぐり余滴(12)—盤持石 (松本)
戦史23 七三一部隊の終焉(3)
—赤い夕日が靈魂を鎮める 毛利 俊男

物部村 岡内京吾幸盛 鍋島 静一
土佐路の野口雨情(11) 溝渕 匠
近江屋事件百五十年に向かつて(3)
(五)二人の公用人 山路 洋
そのむかし 拍手喝采 大宮館 千頭 将宏
「ローカルジャーナル 秦史談」
(『高知新聞』より)
秦の昔話(42) 秦の巻 最後の嫁
かたぎ(『こうち童話』から) 永野美智子
伝承・寺社伝・実証 松本 紀郎
(平成二十六年=二十三士没後一
五〇年) 野根山事件の概略 原田 英祐
秦・史跡めぐり余滴(13)
—秦泉寺斧鍛冶 (松本)
岡村庄造氏拓本集から(34)
土佐史談会・平成26年度 市内歴
史散歩[秦泉寺地区]／平成26年
度ふれあいセンター市民講座
秦の史跡めぐり／第10回秦ふれ
あいセンター文化祭出展作品目
録

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
◇124 2015.1 A5 208p 1250円
巻頭言 邪馬台国問題と STAP
細胞問題
邪馬台国全面戦争勃発！ 連載
古代船艦ヤマト撃爆 第1波
売られた論争、買いました。
「纏向学」は「解釈捏造学」の
別名なのか？ 寺沢薫氏説徹底
批判。安本美典説批判に答える
安本 美典
書評 竹岡俊樹『考古学崩壊』/
上原善広『石の虚塔』 難波 紘二

〈小特集
水城・大野城・基肆城築城1350年記念〉
古代九州に形成された防衛網—水
城・大野城・基肆城築城1350年
を迎えて 赤司 善彦
大宰府防衛の南の要、熊本県・鞠
智城跡 矢野 裕介
隋の煬帝の墓か 沼野 英久
全国邪馬台国連絡協議会
第1回全国大会報告 内野 勝弘
世界遺産跡(6) 井上 修一
ブッダへの道(10)—法顕が見た五
世紀初頭のアジア 河村 哲夫

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇201 2015.3 B5 20p
唐津市重要文化財 木造如来坐像
志佐 惲彦
旧大島邸の復元保存への尽力者
元日本建築史学会 西和夫会長
中里 紀元
上場とレヴァント ヨルダンのペ
トラで見つけた三稜尖頭器 堀川 義英
夢よもう一度甦れ
歴史ある馬渡島 熊本 典宏
七瀬の淀について想う 佐々木道正
松浦史談会 秋の旅 伊勢・桜
井・明日香・豊前探訪記 松本 和典
川柳が見た 秋の史談会旅行
高田藩士 今井家系図 寺沢 光世
「旧高取家住宅」記録ノートから(1)
田島 龍太

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会
〒880-0951宮崎県宮崎市大塚町西ノ後3376

-1 土岐宗春方 TEL0985-52-5014
年2000円
◇95 2015.2 A4 8p
石の証言 須知武士道邦人団 閃
緑岩 45×60 カナダ・バンク
ーバー「スティブストン魚者慈
善団体」
新年を迎えて 税田啓一郎
「八紘一字」の塔と戦争責任・戦
後責任… 野崎 眞公
「八紘一字」の歴史(2) 税田啓一郎
映画「バンクーバーの朝日」
トピックス 朝日川柳に「八紘一
字」の語句 矢野 勝敏

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎県宮崎市船塚1-1-2
宮崎公立大学 大賀研究室気付
TEL0985-20-2000 年3000円 1993年創刊
◇30 2015.3 B5 85p
島津久直の北郷家家督相続につい
て—近世初期における北郷家と
島津本宗家との政治的関係 米澤 英昭
近世郷村における災害救済と復興
—享保元年霧島噴火を中心に 山下 真一
南九州における私設鉄道の形成と
地域社会—宮崎軽便鉄道の成立
をめぐって 初木 郁朗
総目録 『宮崎県地域史研究』総
目録 創刊号・1993年～第30号
・2015年

◆みやざき民俗 宮崎県民俗学会
〒880-0837宮崎県宮崎市月見ヶ丘1-14-11
年3000円 1955年創刊
blog.goo.ne.jp/mzfolklore/
◇67 2015.3 B5 135p 2000円
出会いと発見、そして継続 原田 解

《特集 未来へ伝えるみやざきの行事・祭礼》
「語ろう残そう ふるさと赤江」
赤江ふるさと塾のこと 佐藤 正信
延岡市北川町における「村社会の
中の若者たち」 児玉 剛誠
近世後期における日向延岡藩の修
験道 前田 博仁
宮崎の龍神伝説に関する一考察 清水 芳見
破壊された仁王像—宮崎県内の破
損像に廃仏毀釈をみる 高木 道弘
鳥の民俗—鳥が薬であったころ 押川 周弘
日向木炭と福瀬炭 図師 睦
故郷の記憶(3)—神仏への畏敬 那賀 教史
新別府川流域の神社と寺院 「石
に聴く」櫛の歴史散歩(2) 長宗我部光義
秋月左都夫と吉田茂の終戦工作 黒岩 昭彦
平成二十五・二十六年度
宮崎県民俗学会事業報告 崎田 一郎
宮崎県民俗学会会誌目録「みやざ
き民俗」50～66号目録

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会
〒895-0011鹿児島県薩摩川内市天辰町2365
鹿児島純心女子大学附属博物館内
年2500円 1980年創刊
◇27 2015.3 B5 100p
《颯娃特集号》
序文—南九州市颯娃町の民具調査
によせて 橋口 尚武
颯娃地域のウマゴヤに残る農具 坂元 恒太
颯娃町の手もみ茶づくり 牧島 知子
石垣柘植について 牧 洋一郎
海村と里山の交易
—魚売りダウイの伝承 井上 賢一
御領地区の納屋にあった鱈籠 高山 良政
颯娃町の薩摩芋文化
—その利用と保存方法 對馬 秀子
颯娃の石垣と馬小屋の土手石・石

工・石切道具 渡山 恵子
文献整理・颯娃町の石材文化を訪
ねて 徳留 秋輝
颯娃町の伝説・民話・伝承につい
て 中島 俊郎
颯娃町の一古老からの聞き取り 高山真一郎
颯娃山伏と民具・民俗研究の先輩
たち 下野 敏見
調査ノート
絵巻を祀るウッガン祭り—南さ
つま市金峰町松田北櫛木家の
内神祭り 井上 賢一
徳之島での日待ち・聖地の願覚
書 本田 碩孝
颯娃地区民具共同調査に参加して
小島 摩文
民具カードを活かすフィールドワ
ーク 井上 賢一
颯娃(エイ)語にふれて 有村 澄子
鹿児島民具学会例会研究発表要旨
隠れキリシタンの隠れ墓碑につ
いて 徳留 秋輝
大隅半島と薩摩半島の春祭り比
較 中島 俊郎
ジャンボタニシの民具学—ジャ
ンボタニシは生きた除草剤 徳留 秋輝
始良市加治木町の竹自慢二〇 濱田 甫

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇206 2015.1 B5 8p
1月定例会レジュメ
村々の百姓役目について 下地 和宏
2月定例会レジュメ 新発見され
た戦争遺跡の中間報告—長南陣
地壕群・村越陣地壕群を中心に

久貝 弥嗣
 11月のまとめ 琉球大学史学会宮
 古島大会を終えて 久貝 弥嗣
 12月定例会のまとめ 宮古島市総
 合博物館 第28回企画展「クバ
 ものがたり」調査研究中間報告
 アジアファイバーアート展を終え
 て 仲間 伸恵
 第9回博物館講座「発掘調査速報
 ②」金志川豊見親屋敷跡・与那
 覇遺跡の調査報告 久貝 弥嗣
 宮古島市 neo 歴史文化ロードの
 新たな拠点一忠導氏仲宗根家土
 地公有化 新城 宗史
 宮古島市総合博物館 平成26年度
 子ども博物館の紹介 與那覇史香
 平良図書館北分館『郷土の歴史と
 文化』講座を終えて 根間 郁乃
 2014年忘年会開かれる／「宮古研
 究」第13号原稿募集
 田中政子著『風まかせ』 仲宗根將二
 ◇207 2015.3 B5 8p
 3月定例会レジュメ 宮国村を考
 える一宮国元島とトゥクル元島
 下地 和宏
 百姓役目と階層分化
 一1月定例会を終えて 下地 和宏
 2月のまとめ 戦争遺跡の調査と
 課題について 久貝 弥嗣
 第28回企画展関連行事
 座談会「クバから広げる」 與那覇史香
 第10回博物館講座・講演会「ゲノ
 ムから考える琉球列島の先史」與那覇史香
 宮古島市文化協会主催 みや
 く・ワークショップ(文化体験型
 講座) 温故知新一島の自然と
 文化を味わう 大城 裕子
 沖繩考古学会宮古島大会の開催

著書紹介 佐渡山正吉著『狩俣方
 言の世界』 下地 和宏
 大河ドラマ「琉球の風」
 原作者 陳舜臣 逝く 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆地名から知る先人の暮らしと歴史—東北地
 方に残るアイヌ語地名 東北アイヌ語地名
 研究会叢書 I
 東北アイヌ語地名研究会編・刊 (〒989-4104
 宮城県大崎市鹿島台広長字鹿島71-5 太宰
 幸子方 TEL0229-56-9459) 2014年10月 A5
 111頁 1200円
 2002年6月30日に発足した東北アイヌ語地名
 研究会の研究成果をまとめた研究叢書第1集。
 発刊にあたって(太宰幸子)／谷川健一先生の
 鶴の一声で始まった「村崎アイヌ語塾」(村崎
 恭子)／エンルム由来のアイヌ語地名 北海
 道襟裳と岩手県小友(村崎恭子)／三陸海岸に
 残るアイヌ語地名を歩く(太宰幸子)／マタギ
 の里阿仁地方に残るアイヌ語地名(新谷正隆)
 ／盛岡のアイヌ語古地名を探る(小林紘一)／
 八戸周辺に残るアイヌ語地名(嶋脇芳勝)／最
 上・村山地方に残るアイヌ語地名(鈴木聖雄)
 ／北上川流域のアイヌ語地名(太宰幸子)／平
 鹿・雄勝地方に残るアイヌ語地名(土肥稔)／
 津軽半島のアイヌ語地名を探る(太宰幸子)／
 山形県内陸地方のアイヌ語地名(清野春樹)
 ◆瀧山川 石碑と信仰
 東北一万年のフィールドワーク10
 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・
 刊 (〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168) 2014年9月 B5 51頁
 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援
 事業「環境動態を視点とした地域社会と集落
 形成に関する総合的研究」プロジェクトの一
 環として行われた山形県滝山地区の石碑調査

の成果をまとめる。石碑を訪ねて瀧山川を遡
 る／調査地概要(調査地地図、御立の石鳥居、
 東青田若松墓前、小立延命地藏堂、東青田
 千手観音堂、瀧山神社(瀧山寺)、上桜田月山
 神社、小立石碑・太子堂、岩波姥神、石行、
 八森山ノ神神社、八森八幡神社、八森中山之
 神社、土坂入口馬頭観音・土坂地藏堂脇、
 阿弥陀清水、土坂観音堂)／瀧山研究報告(蔵
 王と瀧山信仰の関わり、請雨塔、庚申塔、出
 羽三山碑、畜魂碑、瀧山塔(瀧山信仰)、蔵王
 塔(蔵王山)、十八夜塔・廿三夜塔)／年表／
 棟札／瀧山略図
 ◆本寺 山間に息づくむらの暮らし
 東北一万年のフィールドワーク11
 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・
 刊(同上)2014年10月 B5 59頁
 岩手県一関市本寺地区の調査成果。本寺の概
 要、コラム 近世・近代の古文書／絵図から
 みる(中世の絵図—陸奥国骨寺村絵図、コラ
 ム 骨寺村鬮傳伝説、近世の絵図—磐井郡西
 岩井絵図、近代の絵図—宇津絵図)／空からみ
 る(集落図、空中写真、コラム 本寺と向き
 合って)／ここで暮らす(本寺の生業、養蚕
 と炭焼き、須川温泉と強力、コラム ある家の
 生活空間)／知を伝える
 ◆小室小学校日誌—大正9年4月～昭和2年3月
 伊奈叢書VI
 伊奈町教育委員会編・刊(〒362-8517 埼玉
 県北足立郡伊奈町大字小室9493 TEL048-721-
 2111) 2014年3月 A5 391頁
 伊奈叢書II『小室小学校日誌—明治32年5月
 ～大正2年3月—』(2005年3月)、同V『小室
 小学校日誌—大正2年4月～大正9年3月』(2013
 年3月)に続き、「小室尋常高等小学校日誌」
 (伊奈町役場保管)の大正9年度から同15年度
 (大正9年4月～昭和2年3月)分を翻刻する。関
 東大震災以後、戦争への突き進む激動の時期

の子どもたちを取り巻く社会環境を垣間見る。
 解説(油井原均)／小室小学校日誌 大正九年
 度～大正十五(昭和元)年度／参考 埼玉県北
 足立郡小室尋常高等小学校一覧表(大正13年4
 月末日現在)
 ◆富士山
 古河歴史博物館編・刊(〒306-0033 茨城県
 古河市中央町3-10-56 TEL0280-22-5211) 2014
 年10月 A4 80頁
 古河歴史博物館で開催された特別展示の図版
 目録。土井利剛(1733～1773)「古河八景」を
 はじめとする富士山を描いた多くの作品や、
 江戸町の茶商永井八郎治(1771～1837)の不二
 道関係資料など、世界文化遺産の登録された
 富士山を多角的に紹介する。遙拝 荒ぶる神
 の山／富士山開創 登拝と山岳信仰へ／富士
 講の流行／川上開道 不二孝の誕生／禁中なら
 びに公家へのひろがり／家業精励 ボラン
 ティアのきずな／古河の不二孝 北関東の拠
 点／古河八景 古河と富士をとりもつ芸術の
 源泉／山の神 女神の住む山／不二孝・富士
 講 その後／古河の不二孝—古河城下からせ
 発見されたふたつなきおしえ(永用俊彦)
 ◆手賀沼をめぐる中世(2)—一城と水運
 手賀沼ブックレット4
 千野原靖著 たけしま出版(〒277-0005 千
 葉県柏市柏708-73 ヒルズ柏402 TEL04-7167-
 1381) 2014年6月 A5 93頁 1000円
 鎌倉幕府成立に貢献した千葉常胤の次男・師
 常に始まる相馬氏。伊勢神宮領「相馬御厨」
 の支配権を獲得。小田原城落城までの下総の
 名族・相馬氏の450年。鎌倉期の下総国相馬
 氏／下総相馬氏の在地支配／相馬氏の陸奥移
 住と建武期の動乱／下総の相馬忠重と相馬胤
 平の軍忠／十五世紀南相馬郡の相馬氏／付録
 手賀沼周辺の相馬氏伝承、相馬氏関係年表
 ◆手賀沼を開発の虚実—「千間堤伝説」と「井
 澤弥惣兵衛伝説」の謎を解く 手賀沼ブッ

クレット6

中村勝著 たけしま出版(同上)2014年6月
A5 136頁 1200円
手賀沼畔に育った著者が、可能な限り広範囲の地元史料を収集し、歴史と伝説とを選び分け、手賀沼開発の歴史につきまとうさまざまな伝説を解き明かす。手賀沼開発の研究史享保期井澤弥惣兵衛の開発はあったか/「手賀沼干拓絵図」と同時代史料による手賀沼干拓/まとめにかえて/手賀沼開発史年表/主な参考文献/付論(まえがき 吉宗の世紀 享保改革の経済政策、秣場争論と中利根川流域の流作場開発一享保改革期未耕作地開発への農民の対応)

◆明智光秀の乱

天正十年六月政変 織田政権の成立と崩壊 小林正信著 里文出版(〒160-0022 東京都新宿区新宿3-32-10 TEL03-3352-7322)2014年7月 B6 398頁 2500円
いわゆる「本能寺の変」で知られる明智光秀の謎は何を意味するのか。本書ではその実像と政変の動機に迫る。史料について/三鬼清一郎氏の学説と「室町幕府奉公衆」/室町幕府と「織田・明智体制」/明智光秀とは誰なのか/信長の政権構想と「織田・明智体制」の崩壊/おわりに では信長はどうすれば、良かったのか。

◆火山島の神話

『三宅記』現代語訳とその意味するもの 林田憲明著 未知谷(〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-9 TEL03-5281-3751)2014年7月 B6 358頁 4000円
伊豆・小笠原諸島の各神社に少しずつ形を変えて所在されていた、鎌倉・室町期の完成とされる噴火造島の神話を綴った秘本『三宅記』の全編を現代語訳。地理的・歴史的観点から詳細な解説を付す。『三宅記』の成り立ち/現代語訳『三宅記』(壬生本)全編/解説『三

宅記』/神仏の島と鏡/『三宅島』関連年表

◆画像史料論 世界史の読み方

吉田ゆり子・八尾師誠・千葉敏之編 東京外国語大学出版会(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL042-330-5559)2014年4月 A5 325頁 2800円

多彩な史料とそれらを読み解く論点を示した9つの論考と、鋭い着眼点と魅力的な発想法による10の〈イメージの芽〉を通して、世界と歴史の実相に迫る。

◆千代田の文化財で綴る 江戸・東京の歴史 平成25年度文化財企画展 千代田区文化財保護条例施行30周年企画展示

千代田区立日比谷図書文化館文化財事務室編(〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL03-3502-3348) 千代田区教育委員会刊 2014年7月 A4 61頁

昭和59年度の文化財保護条例施行から30周年。千代田区に分布する日本近世・近代史を示す多くの文化財からみえる「江戸・東京」の歴史を紐解く。巨大城下町江戸の形成/文明開化と近代都市・東京/関東大震災と帝都復興/地域の暮らし/論考編 文化財保護条例施行30周年を迎えて(泉崎幹男)、千代田のまちに残る文化財(後藤宏樹)、歴史・美術資料の収集活動と文化財(滝口正哉)、民俗・生活資料の収集活動とその意義(加藤紫織)

◆東国里山の石神・石仏系譜

田中英雄著 青娥書房(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10-27 TEL03-3264-2023)2014年8月 A5 271頁 2500円
永年にわたり著者が調査してきた東国諸山の石神・石仏を、日本石仏協会『日本の石仏』誌上の論考を中心にまとめる。信仰する人もなく、登る道もなくなってしまった石仏や、無くなってしまった石仏の姿も多数の写真とともに紹介。序 里山に描く石の曼荼羅(坂口和子)/秩父石工・黒沢三重郎/東国の山岳

にみる蔵王権現/女人結界の姥石と女人救済の姥神/東北北部・熊野三所権現と権現様が鎮まる山/北関東にみる湯殿山勧請/奥多摩・秩父のお犬様を祀る峰/石尊大権現と里山の天狗総覽/木曾御嶽の神々/戸籍なき神・風の神をめぐって/里山の虚空蔵菩薩/祠内仏は道祖神の原型か/甲斐駒嶽信仰と山田家当主たち/東国里山石神・石仏

◆特別展 品川から世界へ サムライ海を渡る―幕末明治の日本と外交使節団

品川区立品川歴史館編・刊(〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060)2014年10月 A4 181頁
品川区立品川歴史館の平成26年度特別展の図録。嘉永7年(1854)3月の日米和親条約の締結後、品川から世界に旅立った人々を中心とした足跡を、多数の写真・史料でたどる。航海への憧憬/外交使節団派遣前夜―幕末の条約締結/遣米使節、太平洋を渡る/開市・開港延期口承施設がみたヨーロッパ/その後の使節団―幕府瓦解と明治政府樹立の狭間で/江戸湾品川沖の地理的環境

◆東京史話

鷹見安次郎著 鷹見本雄刊(〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘2-28-16 TEL042-374-2950) 岩波ブックセンター(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3)2013年9月 B6 323頁 5000円

古河藩鷹見家第十代にあたる江戸学の先駆者鷹見安二郎(1905~88)が昭和15年(1940)に著した初めての江戸学本『東京史話』を完全復刻。江戸と東京の三題/江戸無二の物集/正月の行事の中から/江戸の都市美に就いて/高札場挿話/日本橋の罪人晒し場/川柳から見た家主の自治活動/縁切寺と縁切榎/江戸開城と海舟南洲の苦心/馬車鐵道の頃/浮世絵と橋の美/東京の橋名に就いて/町火消の纏の由来/消防史から見た大岡越前守忠相/

迷子しるべ石/辻番の話/寛政の町法改正・七分金・町會所・東京會議所/町奉行所の話/東京市史梗概

◆途中下車で訪ねる駅前の銅像 銅像から読む日本の歴史と人物 交通新聞社新書071 川口素生著 交通新聞社(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-11 NBF御茶ノ水ビル 03-6831-6552)2014年10月 新書 294頁 800円

全国の鉄道の駅前に建てられているさまざまな銅像のなかから110の人物や集団を取り上げ、事績や来歴をわかりやすく紹介する。神話・飛鳥・奈良・平安時代の人物/源平争乱・鎌倉・室町時代の人物/戦国・織豊(安土桃山)時代の人物/江戸時代の人物/幕末維新期の人物/明治時代の人物/大正・昭和時代の人物/「駅前の銅像・石像」一覧表

◆ネパール文化探検

寺田鎮子著(〒165-0025 東京都中野区沼袋3-29-6)2014年6月 A5 177+5頁 非売品
1964年の初訪問以来、ネパールと密接に関わってきた著者の日本ネパール協会会報の連載を中心に、ネパール文化に関する論考を集録する。ネパールの生き神・クマリ/ネパール宗教マンガラ/ネパールの女神の大祭―ダサインの考察/ネパールの面と儀礼/ネパールの伝説と祭り/ネパールの柱祭りと王権/ネパールの柱祭り/付録 暦とカレンダー、ネパールの民話の世界、ポピュラー音楽の現在

◆運慶と鎌倉仏教 霊験仏をめぐる旅

コロナブックス193 瀬谷貴之著 平凡社(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 TEL03-3230-6572)2014年6月 B5 127頁 1700円

運慶作の仏像への篤い信仰や地藏進攻の盛行をはじめ、それらの背景にあるものを解き明かしながら、鎌倉の仏像を「巡礼」し、鎌倉文化圏における仏教文化の跡をたどる。地図

時代も地域も越えて広がった鎌倉仏教／運慶と靈験をキーワードに鎌倉をめぐる／運慶仏と靈験／新興都市鎌倉で流行した靈験仏信仰／鎌倉びとの地藏信仰／鎌倉で高まった運慶伝説／鎌倉の仏像をめぐるガイド

◆ハンセン病と民俗学

内在する差別意識を読み解くために
今野大輔著 皓星社 (〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-5 TEL03-5306-2088) 2014年10月 A5 472+6頁 6500円
研究の目的と手法・方向性／民俗学の差別研究について／ハンセン病に関する基礎的情報／近代以前のハンセン病／近現代ハンセン病政策の展開と差別の強化／近現代ハンセン病医学とその影響／ハンセン病問題の新局面／ハンセン病と民間伝承／今後の問題解決に向けて

◆ろくろからコマー木地挽物と伝統こけし
調布市郷土博物館編・刊 (〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656) 2014年10月 A4 6頁
調布の木地挽物職・間橋家寄贈の職人道具と、「加藤文成郷土玩具コレクション」の中の独楽やこけしなどの木地玩具を通して、木地挽物の技術と製品について紹介する。木地挽物／木地製品の種類／木地挽物職の仕事と道具／木地挽物職の道具／加藤文成コレクションのこけし／系統別のこけし

◆資料集 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科20年のあゆみ

神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科編・刊 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2014年3月 A4 127頁
資料集『神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科20年のあゆみ』の刊行によせて(森武磨)／第1部 年表 歴史民俗資料科学研究科の20年／第2部 歴史民俗資料科学研究科参考資料 統計資料、写真資料

◆新横須賀市史 通史編 近現代

横須賀市編・刊 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150) 2014年8月

A5 1130頁 4000円
2004年から刊行が開始された新市史(全15巻)の第14回配本。別編全5巻の「年表」を残して、通史編全3巻・資料編全7巻が揃うことになる。はじめに 本書の構成と概要／軍港都市の形成(地方行政制度の確立、明治期の農漁業と商業、明治期の民間工業と交通、国内充実期と対外進出期の軍事、学校教育の開始、明治期の社会と文化)／都市化と地域社会(市政と地域社会、民間工業の展開と陸上交通の本格化、海陸軍施設の変貌、義務教育の延長と中等教育の充実、市制施行期の市民生活と文化)／恐慌・戦時期の軍港都市(昭和戦前期の市制、恐慌・戦時期の農漁業と商業、昭和戦前・戦時期の民間工業と交通、戦時色を強める市内と軍事機関、昭和戦前期の教育、恐慌・戦時期の社会と文化)／敗戦、千両から復興へ(占領と横須賀、戦後市政の展開、戦後の農漁業と商業、昭和戦前期の工業と交通、昭和戦後期の教育、戦後の社会と文化、住宅都市・基地の街横須賀)／横須賀市域人口・戸数統計／横須賀市財政統計

◆南信州の煙火一火の芸術に魅せられた男たち(「綿五」原家コレクションを中心として)
飯田市美術博物館編・刊 (〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7 TEL0265-22-8118) 2014年7月 A4 79頁

飯田市美術博物館の企画展の図録。煙火技術の向上と煙火業の発展に尽力した飯田の商家「綿五」原家の資料や蒐集品を中心に、南信州の煙火文化とその歴史を紹介する。南信州の煙火／かつての煙火／飯田「綿五」原家と煙火／南信州の伝統的な煙火／煙火を楽しむために／解説・参考資料 南信州の煙火一そ

の歴史と特徴(櫻井弘人)

◆初三郎式鳥瞰図「誕生」100年

日本パノラマ大図鑑
宇治市歴史資料館編・刊 (〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2014年9月 A4 71頁
平成26年度特別展の解説書。大正から昭和初期にかけて大流行したパノラマ地図(鳥瞰図)の第一人者であった吉田初三郎のパノラマ地図を一同に展覧し、大正2年(1913)の「京阪電車御案内」によって「誕生」した鳥瞰図の魅力を紹介する。吉田初三郎とパノラマ地図／初三郎コレクション1 観光社と広報誌「観光」／日本パノラマ大図鑑1～4／初三郎コレクション2 多彩な表紙絵・3 絵はがき日本パノラマ大図鑑5～11／昭和モダンコレクション1 スタンプ・2 煙草とマッチ・3 切符と絵はがき／皇太子の京都修学旅行

◆離宮八幡宮と中世の灯明油 第22回企画展
大山崎町歴史資料館編・刊 (〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288) 2014年10月 A4 42頁

大山崎町歴史資料館の第22回企画展の図録。平成25年12月に本殿等の建物が登録文化財に指定され、古来、油業者の崇敬も厚いことで知られる離宮八幡宮を取り上げ、離宮八幡宮祭礼と油商売との関わり、境内地の変遷について考える。離宮八幡宮と大山崎／八幡神の勧請と日使頭祭／日使頭役と油売り／油売りの拡がり／境内の拡張と維持／八幡宮境内の変遷／釈文一覧／展示品目録／参考文献

◆河内 烏帽子形城 城と陣屋シリーズ258
横山豊著 日本古城友の会 (〒577-0044 大阪府西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-451) 2014年10月 A5 56頁
城跡の概要(概要、戦略的立地、周辺の城郭との配置関係)／縄張とその遺構／瓦葺礎石

建物／遺構とその歴史的価値(城郭遺構、織豊系城郭との比較、文献に登場)／歴史(源行家と長野城、楠公築城伝承、寺社の遺物が語るもの、『名所図会』に描かれしもの、畠山氏のお家騒動、烏帽子形衆、その後の烏帽子形城、キリシタン城主とその町、秀吉の改修命令)／ゆかりの人たち(畠山義深、岩佐又兵衛)／烏帽子形城の城跡観

◆「知ったはりまっか？」河内長野

創立50周年記念
河内長野市郷土研究会編・刊 (〒586-0032 大阪府河内長野市栄町21-11 椋本進方 TEL0721-52-3394) 2014年10月 A5 126頁
昭和38年1月15日の結成以来、河内長野を中心に郷土の歴史・自然・民俗・金石文等についての研究活動をつづける河内長野市郷土研究会の創立50周年記念誌。河内長野に関するさまざまな109問の三択問題とその解答編を通して、河内長野のすべてを紹介する。問題編(河内長野の自然、河内長野の歴史、河内長野の民俗、河内長野の産業、河内長野の行政・施設、河内長野の交通、河内長野の文化財、河内長野のその他)／解答編／河内長野市の文化財一覧／河内長野市略年表

◆新版 郷土枚方の歴史

枚方市史編纂委員会編 枚方市教育委員会 (〒573-1159 大阪府枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 文化財課市史資料室 TEL050-7105-8154) 2014年3月 A5 360頁
昭和40年(1965)から開始された枚方市史編纂事業の一環として、昭和44年3月の刊行以来、小中学校の副読本や郷土史の入門書として愛読されてきた『郷土枚方の歴史』の内容を大幅に加筆訂正。先史時代の枚方(枚方の自然史、旧石器時代の遺跡、縄文時代の遺跡、弥生時代の遺跡、古墳時代の遺跡)／古代の枚方(大化前代の枚方、奈良時代の枚方、平安初期の枚方、交野禁野と楠葉牧)／中世の枚

方（鎌倉時代の枚方、南北朝・室町時代の枚方、戦国時代の枚方）／近世の枚方（近世的秩序の形成、地域社会の発展、農民の生活と文化、枚方の交通、幕藩制の動揺と崩壊）／近代の枚方（近代化の始まりと文明開化、日清・日露戦争期の枚方、大正デモクラシーの時代、恐慌から戦争へ）／現代の枚方（敗戦と復興、近郊農村から田園都市へ、開発と都市建設、多機能都市の展開、すみよいまちを目指して）／年表・索引

◆美囊郡(その1) 妙見山麓遺跡調査会紀要12
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会
(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場
294 TEL0795-35-0555) 2014年8月 B5 36頁
第二次「播磨風土記」講座の記録集。講座『播
磨風土記』第9・10回(2014.1.25/2014.3.22
於柳田國男記念館)

『播磨風土記』(美囊郡条)と語釈・注釈／『古
事記』(抜粋一オケヲケニ王伝承)の語釈・注
釈／『日本書紀』(抜粋一オケヲケニ王伝承)の
語釈・注釈

◆飾磨郡(その2) 妙見山麓遺跡調査会紀要13
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会
(同上) 2014年7月 B5 25頁

講座『播磨風土記』第8回(2013.5.25/2014.
7.26 於柳田國男記念館)

付論3 穴師神・兵主神・射楯神(穴師神、兵
主神、射楯神、射楯兵主神社の成立、まとめ)
／注・参考文献・年表

◆美囊郡(その2) 妙見山麓遺跡調査会紀要14
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会
(同上) 2014年8月 B5 36頁
講座『播磨風土記』第11回(2014.5.24 於柳
田國男記念館)

顕宗・仁賢天皇の伝承について(『古事記』と
『播磨風土記』との比較、『日本書紀』の伝承)

◆意宇郡(その5) 妙見山麓遺跡調査会紀要15
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会

(同上) 2014年8月 B5 36頁
講座『出雲風土記』第11回(2014.8.30 於的
場村公民館)

本文と語釈・注釈(つづき)／付論 意宇郡条
にみえる豪族について／地図「日置氏の分布」

◆揖保郡(その2)一語釈・注釈
妙見山麓遺跡調査会紀要16

神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会
(同上) 2014年9月 B5 30頁

講座『播磨風土記』第13回(2014.9.27 於柳
田國男記念館)

広山里・枚方里・大家里・大田里・石渡里・
浦上里・萩原里・少宅里・揖保里・出水里・
桑原里

◆摂津多田銀銅山の見学と猪瀨谷坑道群間歩
ヶ谷支群現地説明会の見学 妙見山麓遺跡
調査会紀要17

仲綾子・衣川良介・神崎勝案内 神崎恵子編
集 NPO法人妙見山麓遺跡調査会(同上)

2014年10月 A4 16頁

2014年3月2日に行われた講座「鉾山の歴史」
第41回の記録。摂津多田銀銅山の見学「悠
久の館」と銀山内の遺跡の見学／猪瀨谷坑道
群間歩ヶ谷支群現地説明会見学／猪瀨谷坑道
群間歩ヶ谷支群現地説明会資料／多田銀銅山
「悠久の館」パンフレット

◆熊野信仰の諸相

中世から近世における熊野本願所と修験道
小内潤治著 宮帯出版社(〒602-8488 京都
市上京区寺之内通下ル真倉町739-1 TEL075-
441-7747) 2014年7月 B6 234頁 2000円

熊野三山に関わる熊野信仰や、それらが織り
なす宗教文化の諸相について、日本中世史の
立場から本願所、修験道、熊野那智参詣曼荼
羅などを通してその実相に迫る。熊野信仰の
諸相(熊野本願の宗教的活動と機能、熊野三
山検校と聖護院在地支配の展開、大乗峯(伊
吹山)一宿相論の過程における聖護院門跡の

山伏支配、中世修験道における当山派、「熊
野那智参詣曼荼羅」に見える補陀落渡海の仏
教的世界観)／中世における宗教文化の諸相
(参詣曼荼羅と参詣文化、院政期国家仏事体
系における法勝寺の意義、室町殿と王権、院
政期の仏像と文化環境、王権の祭り賀茂祭)

◆歴史に灯りを 言ってきたこと、やってき
たこと、できなかったこと

小田康徳著 阿呷社(〒602-0017 京都市上
京区衣棚通上御堂前下ル上木ノ下町73-9 TEL
075-414-8951) 2014年3月 A5 371頁
3200円

現在、公害地域再生センター(あおぞら財団)
附属西淀川・公害と環境資料館(エコミュー
ズ)館長、NPO法人旧真田山陸軍墓地とそ
の保存を考える会理事長などを務める著者の
これまでの著述活動をテーマごとにまとめる。
司法資料保存でめざしたもの／史料と歴史論
の展開／地域と人間史への取り組み／自他市
史の編纂とWEBの活用／公害・環境問題史
の継続／大阪電気通信大学で 授業・教育活
動をめぐって、組合活動の中で／研究生活を
振り返る 私が取り組んできたこと／付録
著述目録、学歴および職歴、学会における活
動経歴、社会における活動経歴

◆四国遍路と世界の巡礼

一愛媛大学研究最前線
愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会編・
刊(〒790-8577 松山市文京町3 愛媛大学
法文学部胡光研究室気付 TEL089-927-9316)
2014年5月 A4 22頁

2000年夏に発足し、公開シンポジウム・研究
集会等の開催、共同研究の成果報告書や学術
論文集の刊行など活発な活動をつづけている
「四国遍路と世界の巡礼」研究会。本書はそ
れら共同研究の成果を愛媛新聞紙上で2013年
4月～2014年4月の20回にわたり紹介した連載
をまとめる。辺地修行(寺内浩)／弘法大師信

仰(川岡勉)／八十八ヵ所の成立(内田九州男)
／八十八ヵ所文明3年成立説(内田九州男)／
開創1200年(胡光)／エビダロウスの治療祭儀
(山川広司)／金草鞋(神楽岡幼子)／成尋の天
台山・五台山巡礼(高橋弘臣)／東シナ海の普
陀山(矢沢知行)／江戸時代のお参り(内田九
州男)／白装束(内田九州男)／日系人収容
所跡(加藤好文)／戦死者墓地(吉田正広)／お
参りで般若心経(内田九州男)／明治政府の神
仏分離(内田九州男)／大きな辺路と小さな辺
路(胡光)／古語「へち」(西耕生)／沖繩「東
御廻り」(胡光)／サンティアゴ大聖堂(山川
広司)／年代別遍路目的(竹川郁雄)

◆真念「四国遍路道志るべ」の変遷 書誌研
究その1 有辯真念「四国邊路道指南」貞
享四年版本について

新居正甫編・刊(〒569-1021 大阪府高槻市
弥生が丘町30-10 TEL072-689-2893) 2014年8
月 B5 72頁 非売品

四国遍路の初めての案内書となった有辯真念
「四国邊路道指南」についての書誌学的研究
第1冊。貞享四年版本の再探索／版本内容の
補修訂正の推移(序文：札はさみ板・紙札の
書き方の変更、「道指南」出す所の削除、満
願寺の修復の件削除、男女の組み合わせ・男
女共一人の渡海の禁止、本文：宗旨手形ハ生
玉新蔵院より出される、阿波屋の住所変更、
藤井寺の本尊図の訂正、焼山寺御詠歌の訂正、
井土寺への道、種間寺本尊図の補刻追加、月
山まいりの補刻追加、へんろ宿の追加、繁多
寺本尊図の補刻追加)／まとめ／附表 貞享
四年版(六行本、六版本の比較一覧表)

◆真念「四国遍路道志るべ」の変遷 書誌研
究その2 有辯真念「四国邊路道指南」貞
享四年版本について

新居正甫編・刊(〒569-1021 大阪府高槻市
弥生が丘町30-10 TEL072-689-2893) 2014年9
月 B5 68頁 非売品

前書につづく宥辯眞念「四國邊路道指南」についての書誌学的研究第2冊。大坂寺嶋と眞念／西浜町・下博労町と木屋の生業／板木屋五郎右衛門と本屋平兵衛／寂本の「四國遍礼手鑑」／「四國徧禮道指南」貞享四年再刻版本

◆備陽史探訪の会会報 備陽史探訪

復刻版5 第141号～第167号

備陽史探訪の会編・刊（〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157）

2014年10月 A4 456頁

昭和55年9月の創立以来、「備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する」備陽史探訪の会の会報『備陽史探訪』141号（2008年4月）～167号（2012年8月）の合本復刻版。103号から140号までを収録した復刻版第4集（2008年9月刊）にひきつづいての刊行であり、巻頭には今回収録号の総目次を掲載。

◆脊振山信仰の源流

西日本地域を中心として

吉田扶希子著 中国書店（〒812-0035 福岡市博多区中呉服町5-23 TEL092-271-3767）

2014年3月 B5 320頁 9500円

福岡・佐賀の県境に位置する脊振山地の主峰脊振山は古来霊山とされ、性空上人など多くの修験者が修行をした山岳信仰の根拠地であったにもかかわらず、史料の乏しさからこれまで脊振山信仰の全体像はつかめていなかった。著者は、脊振山地四周の寺社・霊場に伝わる多くの縁起・説話・伝説、祭礼・芸能の蒐集・調査などを通じて、西日本全域に広がる脊振山信仰の全容を明らかにする。序（高倉洋彰）／序論／脊振山地主峰脊振山の信仰／脊振山地の神功皇后伝承 脊振山地の西側・北川のこと／雷山と清賀上人／『宇佐託宣集』の異国合戦／筑紫の国と「朝日長者」脊振山地の東側のこと／紀氏の活躍／『八幡愚童訓』の干珠・満珠 脊振山地の南側のこと／脊振山信仰のひろがり／結論／資料

◆後記

先頃、利根川文化研究会の総会で、地方史研究文献目録編集の経験を話す機会に恵まれた。同会は1991年に、利根川とその支流を中心とする歴史・地理・民俗・文化の研究と、河川や流域地域に関心を持つ人々の情報交換の場として、川名登氏（当時千葉経済大学教授、日本経済史学・河川水運史、2011年死去）を初代会長に設立された。機関誌「利根川文化研究」は38号を数え、同号（2014.12）では流域の災害をテーマに、天明3年浅間山大噴火、明治29年利根川水害、昭和7年銚子築港台風災害、利根川流域と東日本大震災など、「災害の問題を一過性のもものとせず、さらなる認識を深めていくことが、我々に課せられた使命」（編集後記）とする意欲的な特集を組んでいる。同会で話すに当たって、『地方史文献目録 2013』（以下「年鑑」）採録誌と「国立国会図書館雑誌記事索引」（以下「雑索」）採録誌を、福島県と千葉県をサンプルに照合してみた。以下、「年鑑」採録誌数：うち「雑索」採録対象誌＝比率（％）で示すと、福島県は36：4＝11％、千葉県は70：3＝4.3％となった。「雑索」で採録対象にしているものは、わずかに県立博物館紀要や大学史学会紀要の類のみで、1931年の創刊で福島県郷土史研究の中核的存在といえる「会津史談」や、前掲の「利根川文化研究」は対象外である。「雑索」の採録誌選定基準は、国立国会図書館ホームページに公開されているので見ていただきたい。前二誌を含む「年鑑」のデータは文献単位で日外アソシエーツ「magazine plus」と、皓星社「ざっさくプラス」に提供しており、有料ではあるが検索することができる。手前味噌になるが、本誌「地方史情報」と「年鑑」の聊かの存在意義を感じた次第である。（飯澤）

地方史情報 125 2015年(平成27年)8月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757